

楽園記

コスモス

ますむら・ひろし

1

まさかこの島から帰ろうとしてんのかな?え?えっじゃないよ。一度上陸した人間が帰れるわけないよ。帰れるわけないだ。こんなすごい光景このテープさえ持ち帰れば。とにかくボートにもどらなくては。な。本日の目玉はこれ!流れついた一漕のボート。これで魚つりをすれば大漁まちがいなしだよ。2万。2万2千。オレの乗ってきたボートだ。ホラねっ逃げようと思ってみても無理なんだ。島の漂流物は早い者勝ちね。くそっ。はい。よっオキアミジュース。ささっねちねち考えないでジュースで乾杯しまっしょ。オレたちの友情に。乾杯。少しくさりかけのオキアミが入るところがニクイ味なんよ。く~~~~っ生ぐせ~~~~っそうそうこれ飲んだら市場通りへ行こうぜ。なにしろ今夜は月に一度の「呼吸の夜」だからねえ。さあさあ安いよ安いバナナ弁当。しまアジの曲芸だ。もうすぐ始まるよ。ずいぶんいろんな店があるんだなあ。お母さんホラ。人間がいるよ。ねえお母さんどうして人間にはしっぽがないの。そっそれは。ねえどうしてないのかな。知らねえよ。よう文太。よう詩猫の煙鳥。どうしたんだその男。オレの友だちの藤田光介ってんだよ。どうしたんだ。いや何だろう?君の名前も顔も知らないのになんだかドキッとしたんだ。そういえばレストランの將軍も名前を聞いておどろいてたな。オレは何も感じないけどな。どうも気になるなあ。フーム。ホラ兄ちゃんあぶねーぞーっ。わっ。こらっねんねこ商会何をいそいでんだっ。きょうは「呼吸の夜」だからいそいでるんだろう。しょうがないな。あんなに荒い息使いをしてちゃあー。何だい?呼吸の夜ってのは。月に一度島の連中は呼吸をたしかめるのさ。始まるのさ。始まるのさ。あーあっせっかくの所なのになあ。ホントねーっ。さて出かけようか諸君。オレはこのあたりが好きなんだ。ふう。あーっ。まだ終わってないんだよ。オレは今日中に仕上げないと親方にどやされるんだよなあ。いっじゃないの。親方だって来てるんだから。まいったな。ホラ見ろよ。何度見てもいいもんだね。そりゃあたしかに銀河はきれいだよ。島の連中は月に一度みんなここに集まり星空をながめながら深呼吸をくりかえすんだ。子供も年よりも働き者もなまけ者も。こうして銀河をながめながら呼吸をくりかえしているとオレたちが宇宙の中で生きていることを感じるのさ。毎日あくせくしていると目の前のことしか考えられなくなるけど。こうして猫たちと呼吸していると。オレはこの巨大な銀河系に住むひとりの宇宙人なんだなあ。

ますむら・ひろし

kosmos
コスモス

この島では

すべての現象が

不思議な光彩を放ち

驚きはいつのまにか

宇宙への憧憬となる。

✧

ロバス島へようこそ。

夢の水平線の間そこには

謎もきらめく至上の楽園。

a note of paradise "cosmos" hiroschi masumura

楽園記

1



目次

植物ポスター	3
--------	---

コスモス楽園記

その1・呼吸の夜	9
----------	---

その2・ザ・ロング・アンド・ワインディング・ロード	33
---------------------------	----

その3・ムーンライトキネマ	55
---------------	----

その4・ジプレッション設計師	73
----------------	----

その5・漂流博物館	93
-----------	----

その6・I'M THE EGG MAN	113
---------------------	-----

その7・牛肉を買いに	135
------------	-----

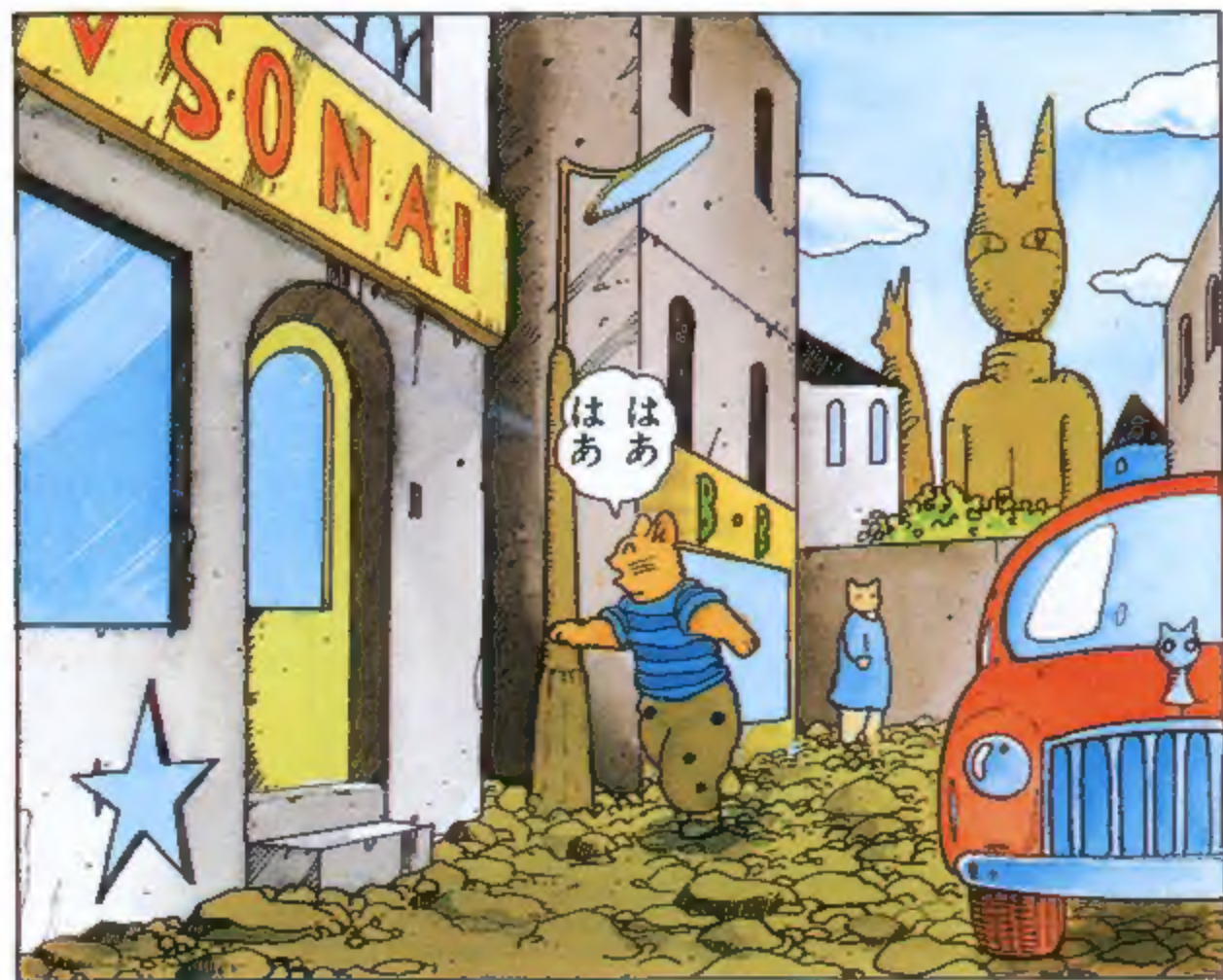
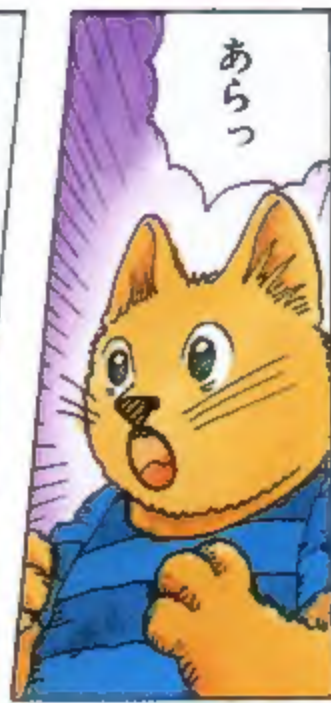
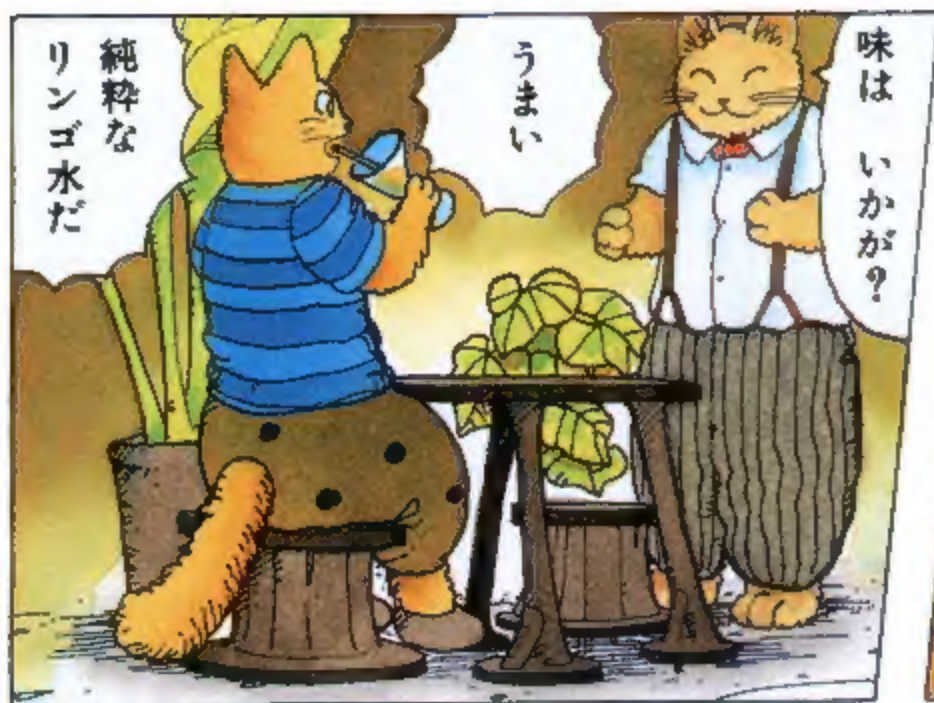
その8・硫黄谷の種	157
-----------	-----

その9・EGG MANの散歩道	179
-----------------	-----

その10・胞子	201
---------	-----

植物ポスター







コスモス楽園記

①

この作品は、コミックサーガー一九八六年二号から一九八七年九号までに連載されたものです。

呼吸の夜



南太平洋ロバス島の南



この霧の向こうに
あるんだな…

ロバス島は
1950年代に
くりかえし核実験と
植物細胞実験が行われ

以来 まわりの島民は
だれも近づかなくなった
無人島である



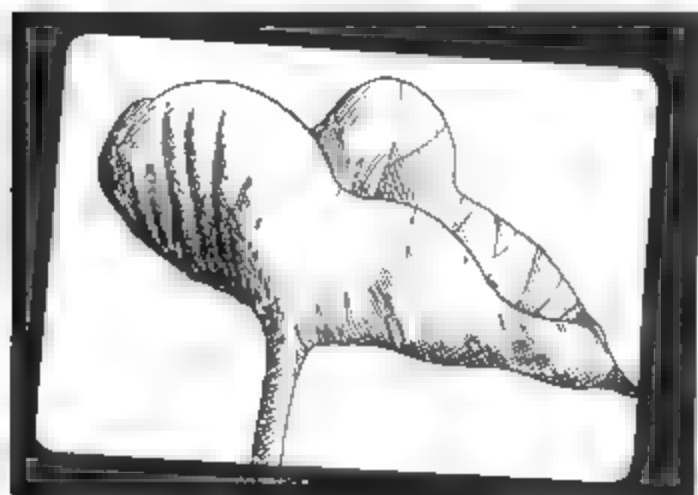
方向は
まちがいないが…

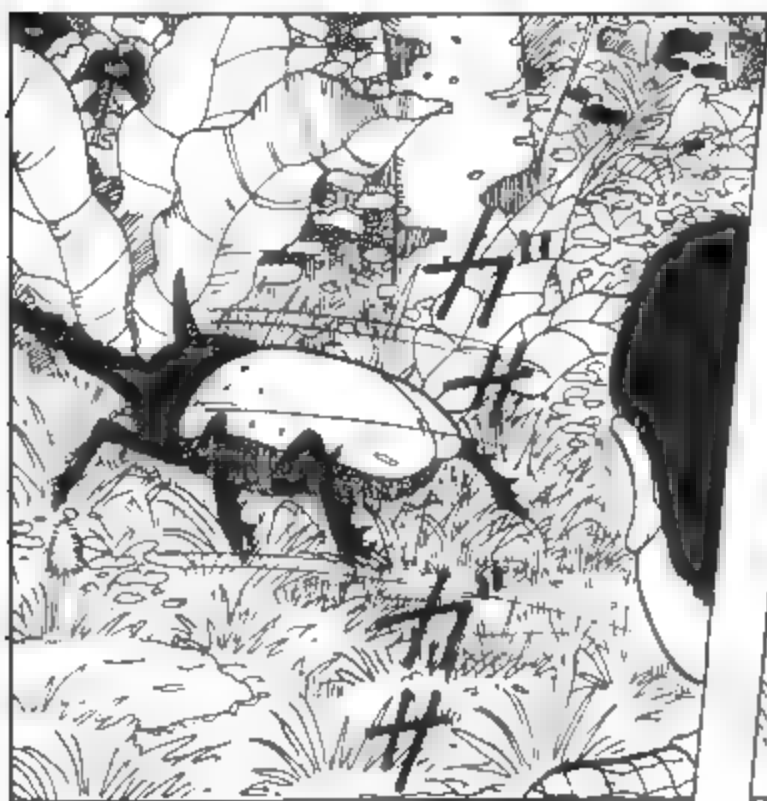
本当に……
放射能はだいじょうぶ
なのかなあ

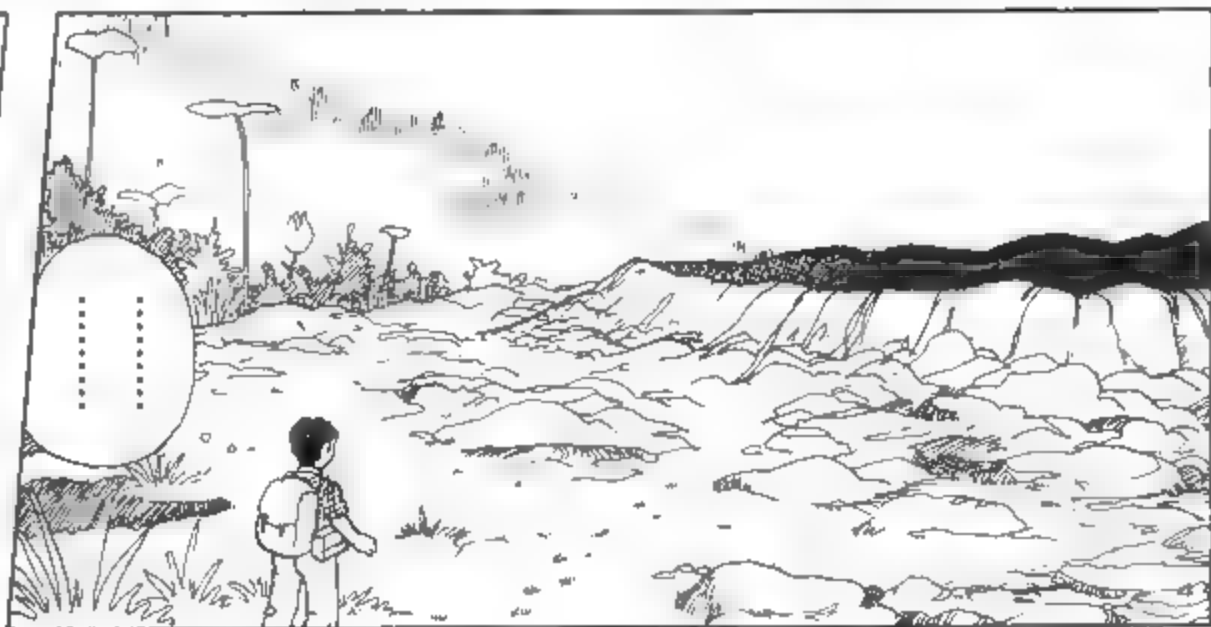
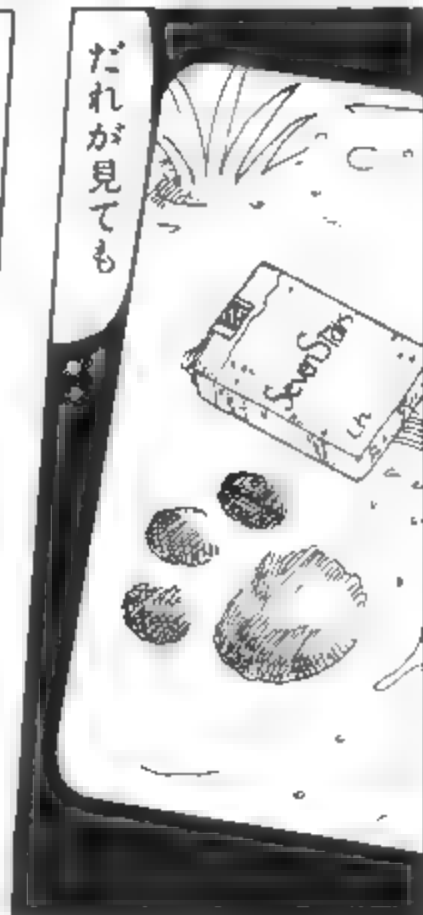


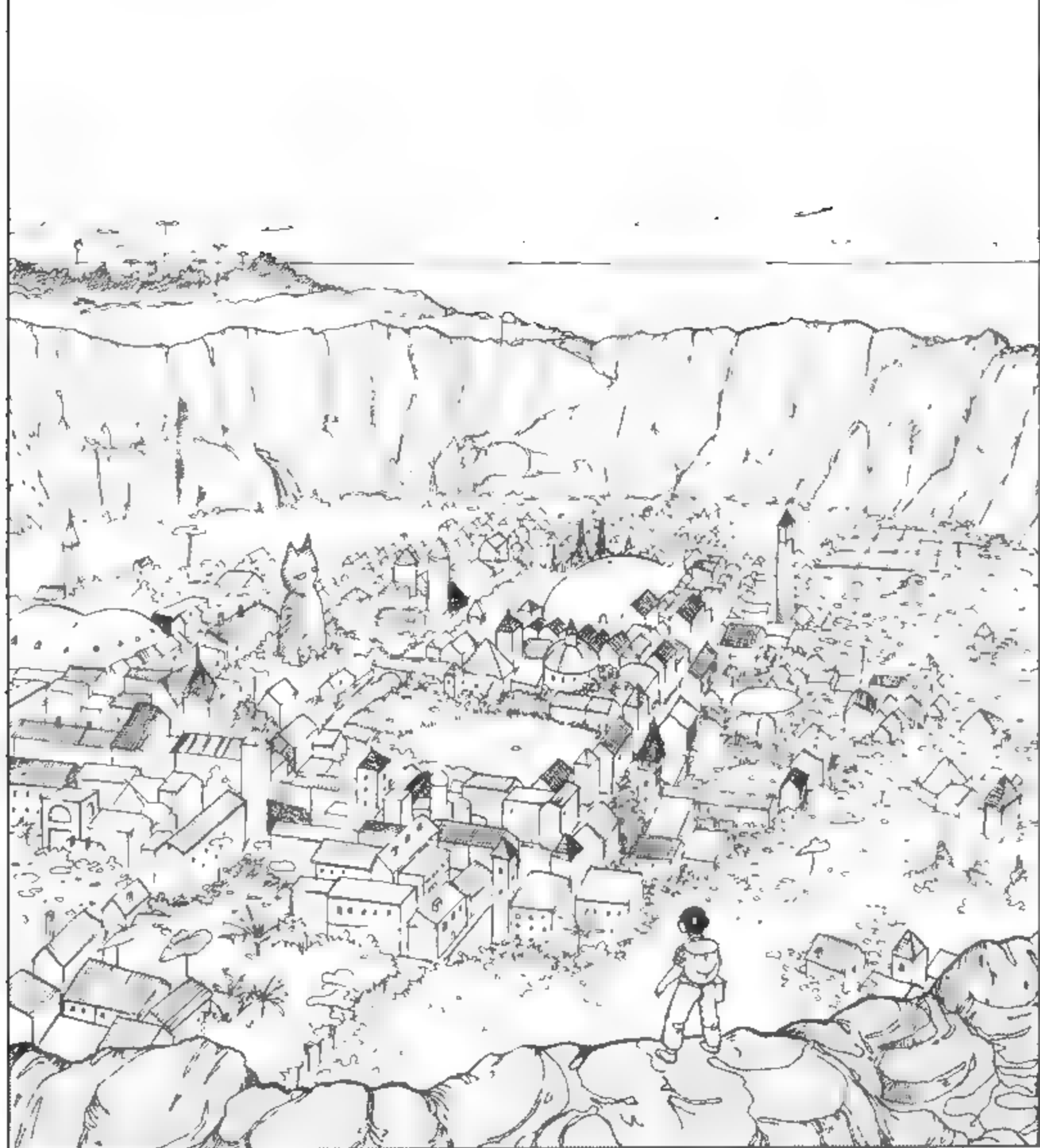
おっ

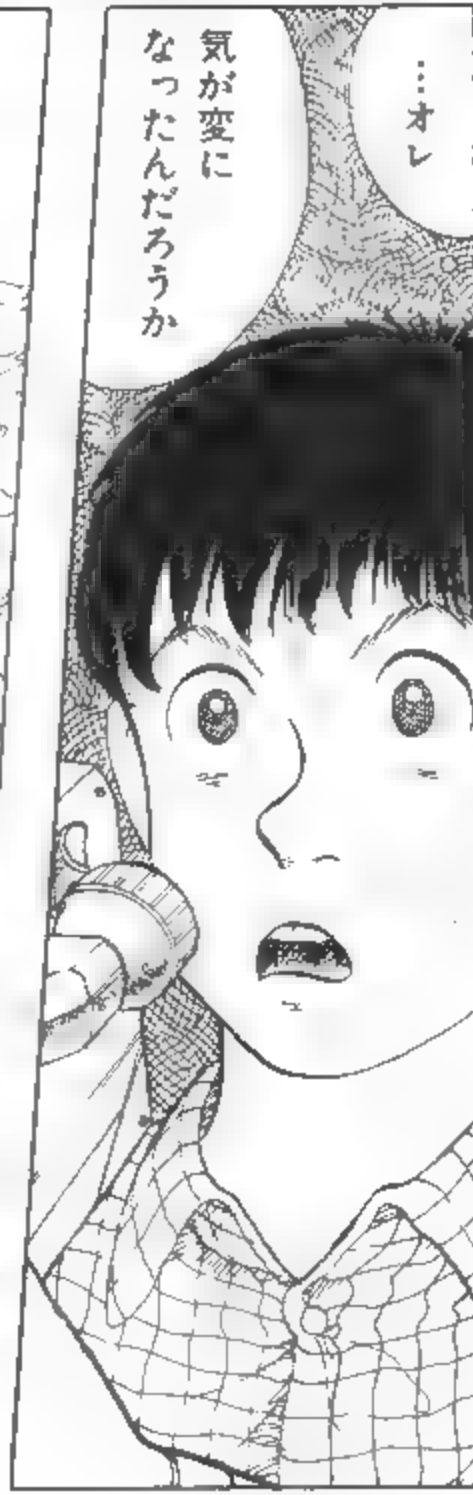
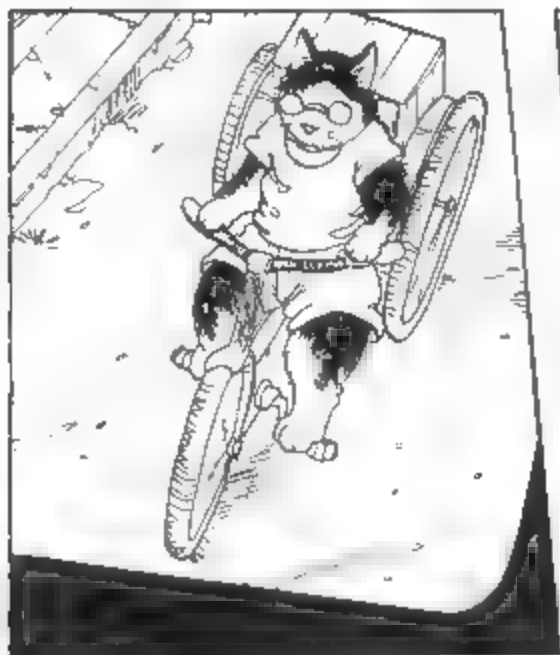
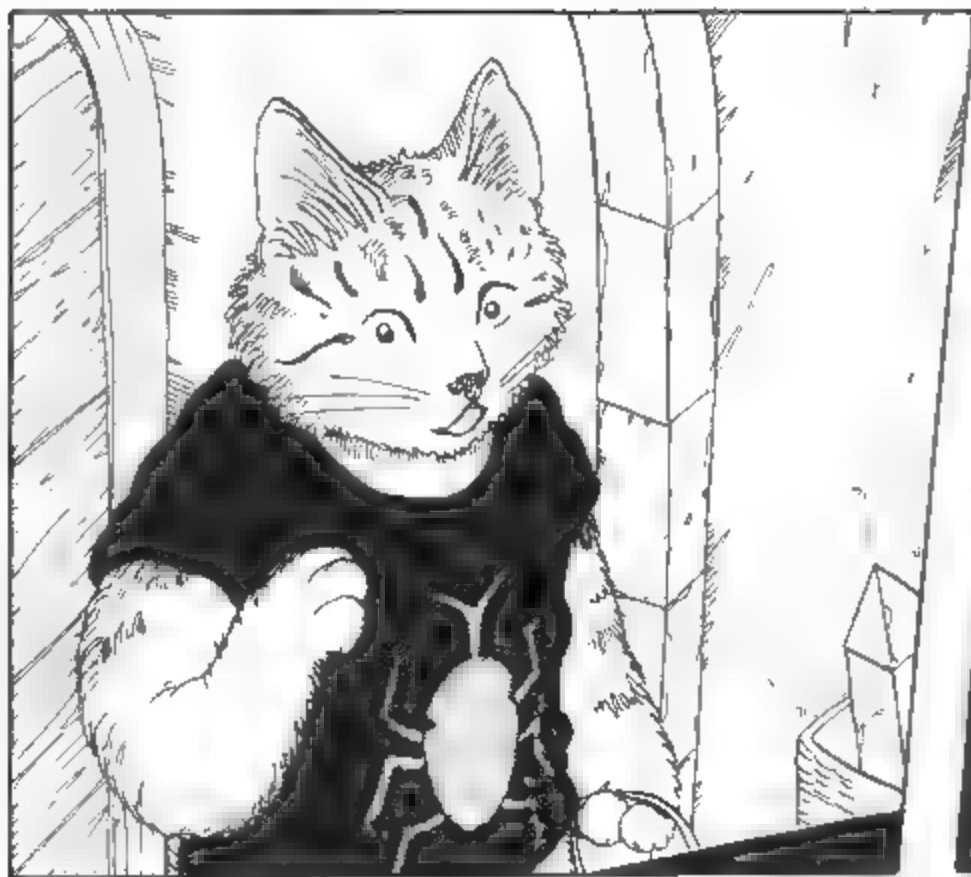
あれだ







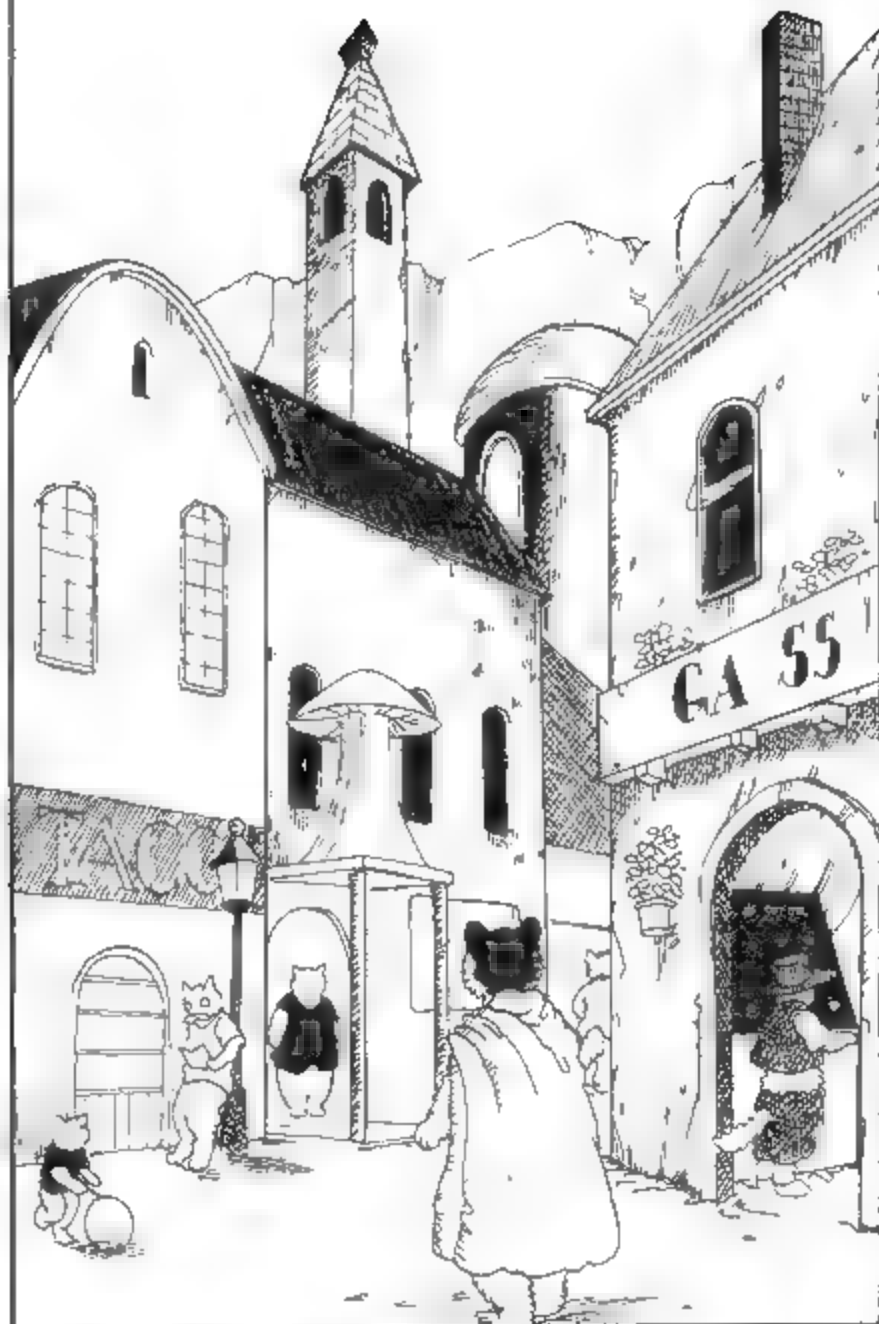


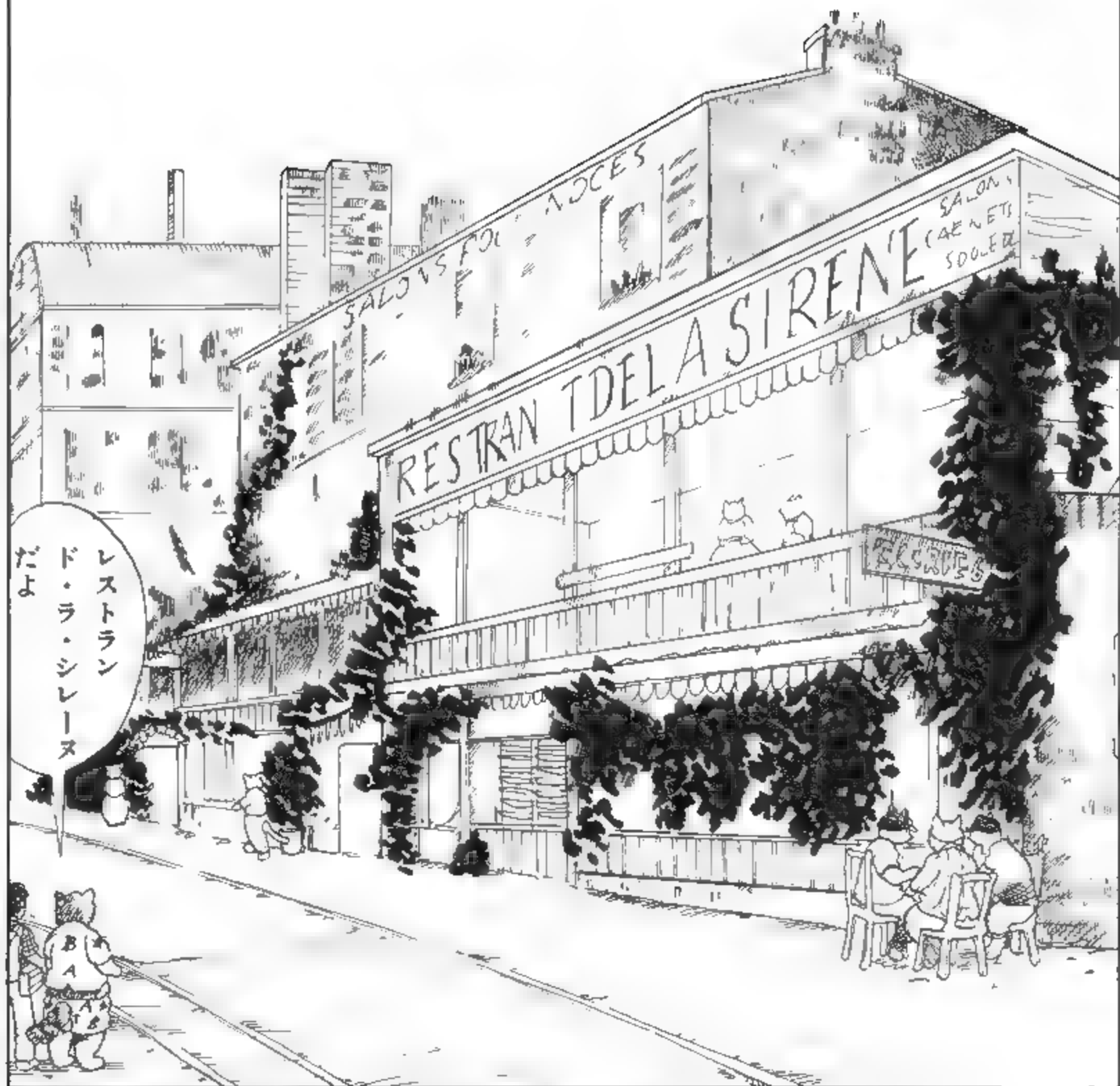


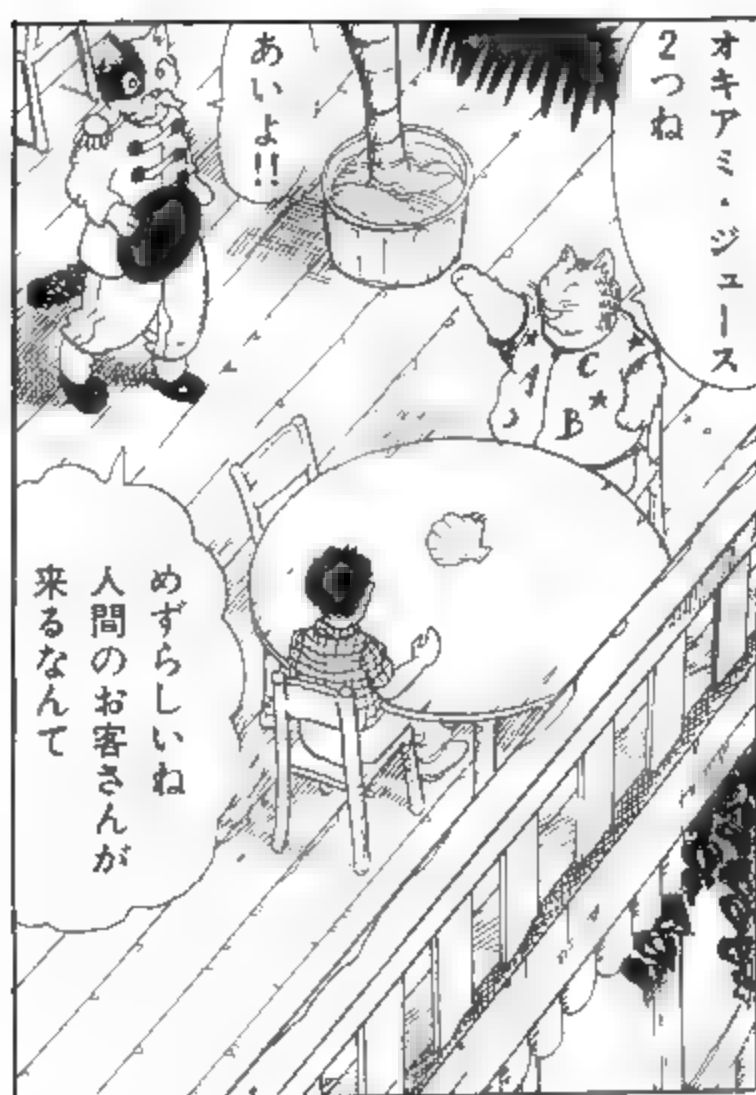


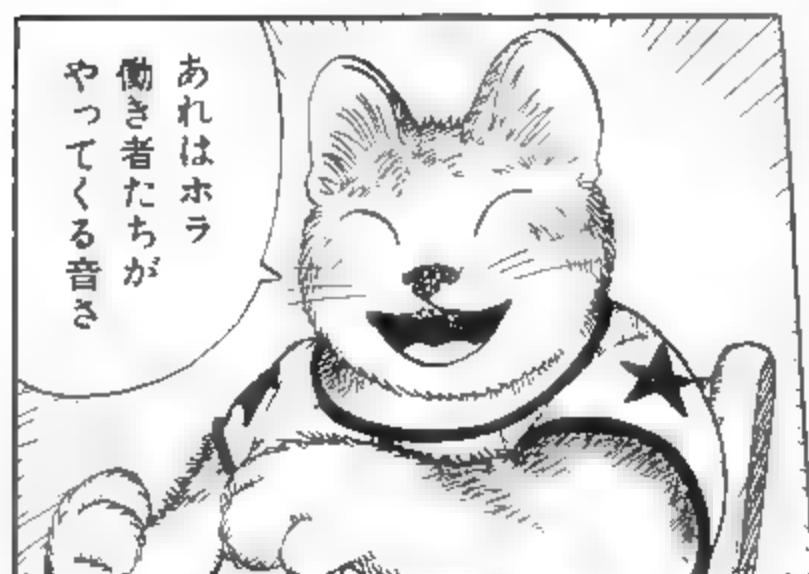


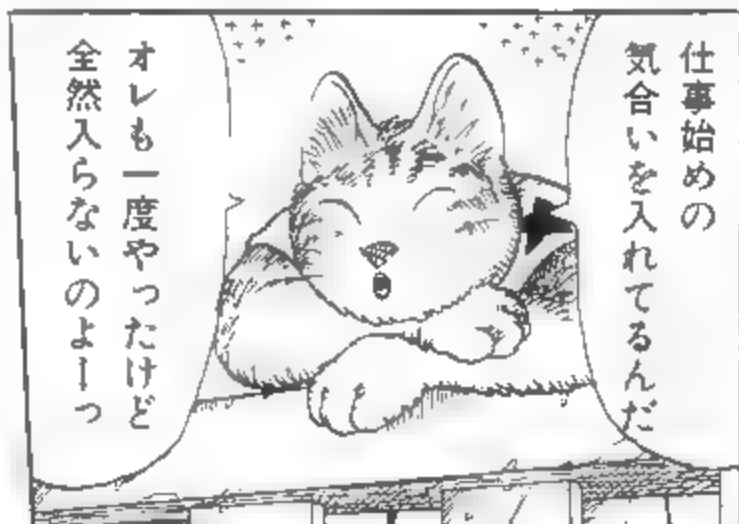
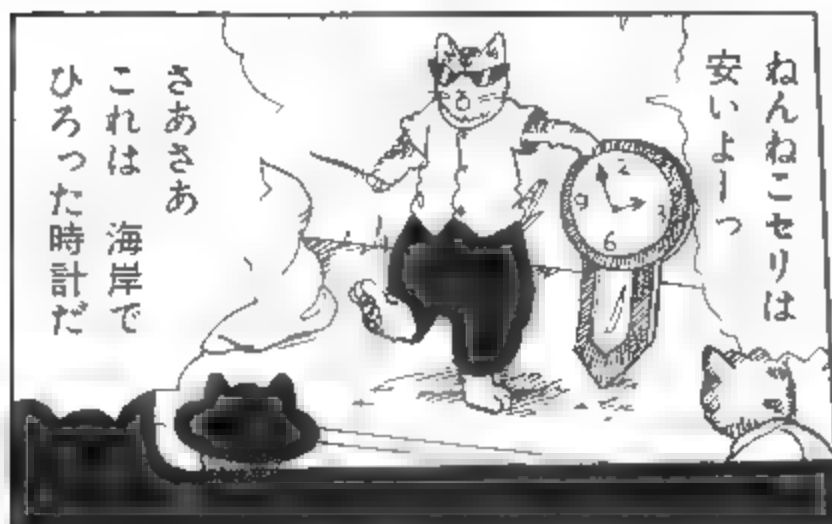








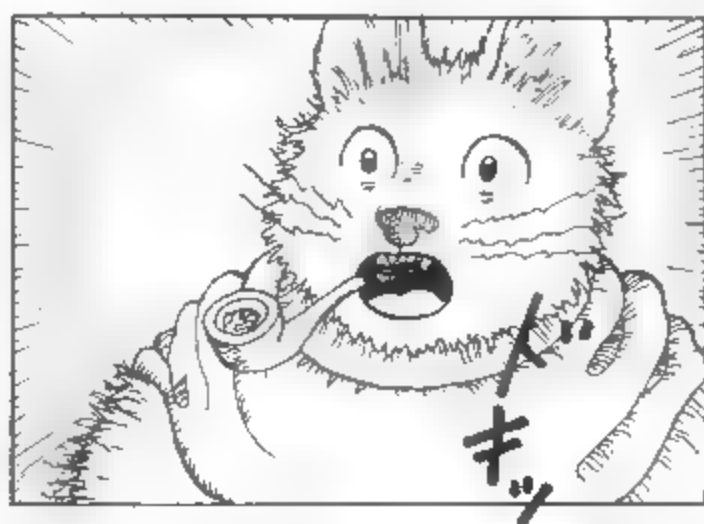


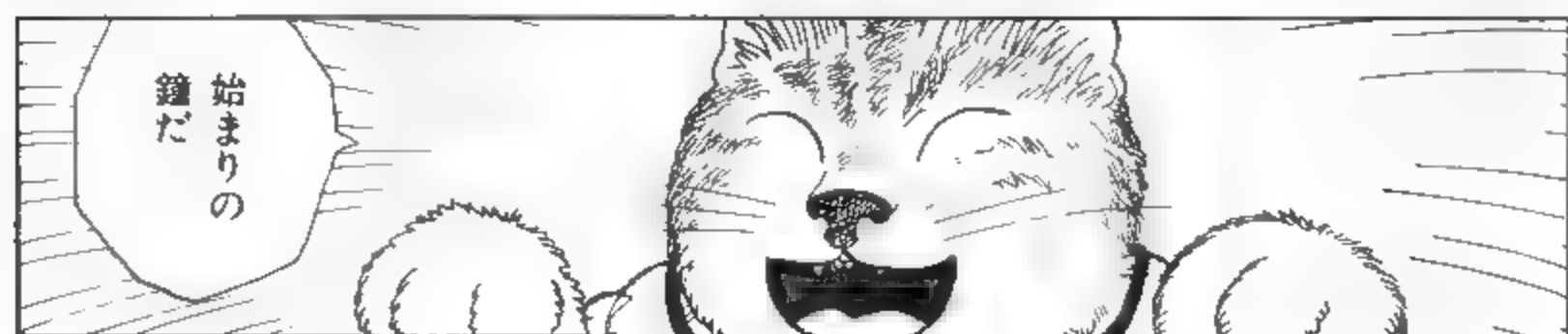
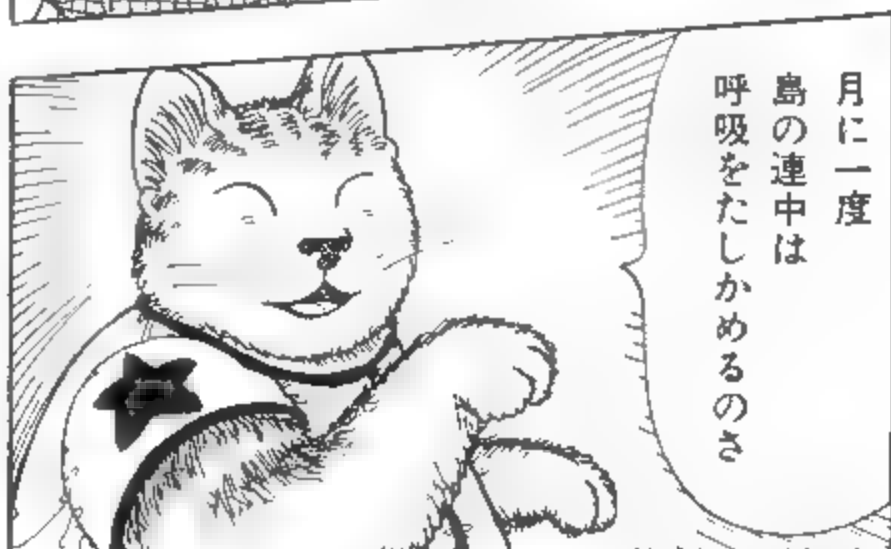
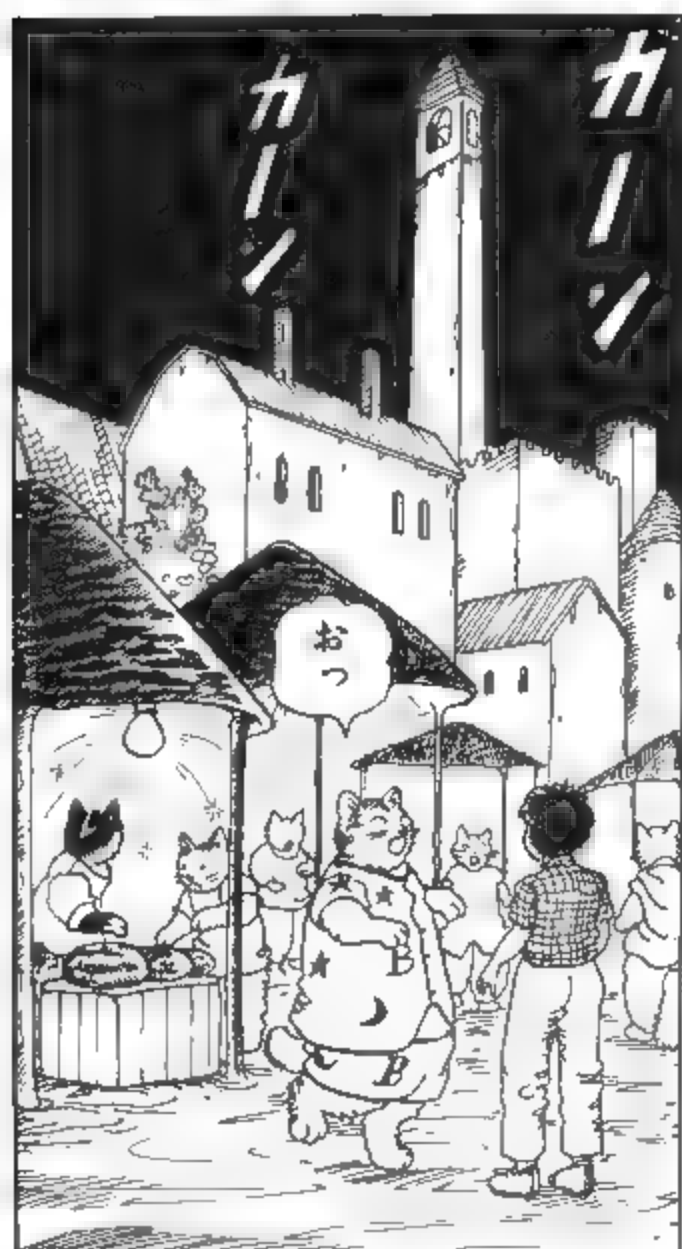


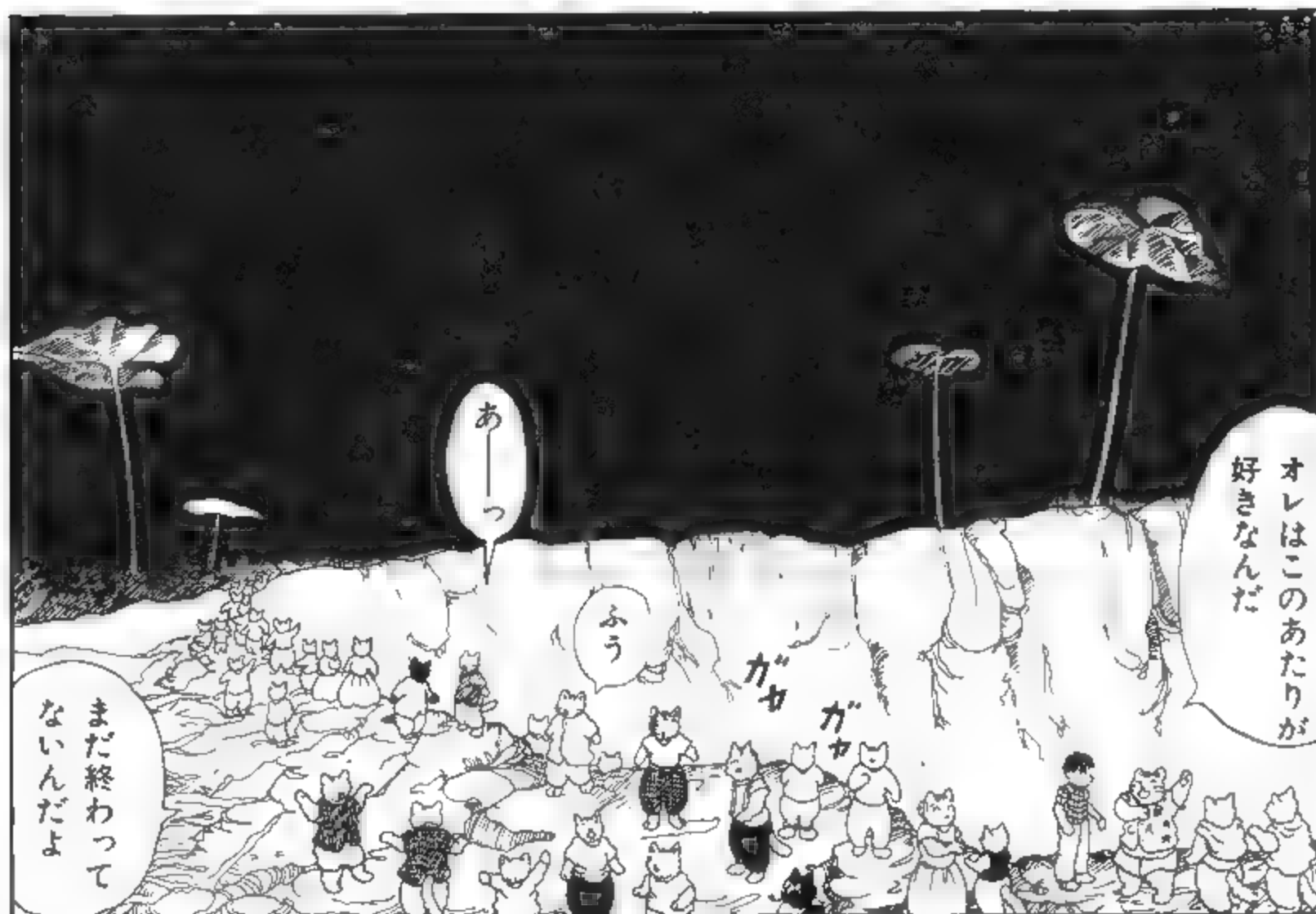


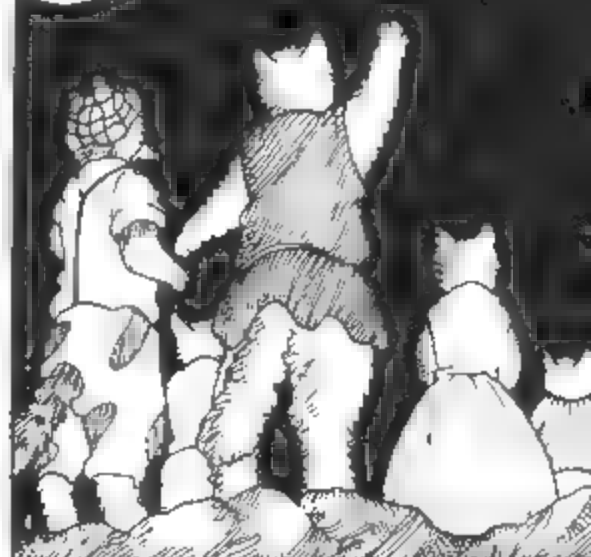
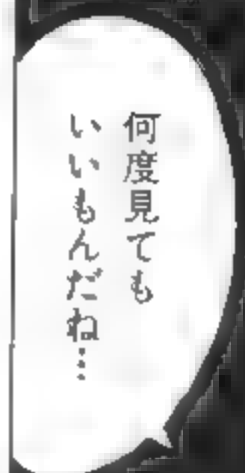












こうして……
銀河をながめながら
呼吸をくりかえしていると

オレたちが

宇宙の中で
生きていることを
感じるのさ



……毎日
あくせくして
いると……

目の前のことしか
考えられ
なくなるけど……

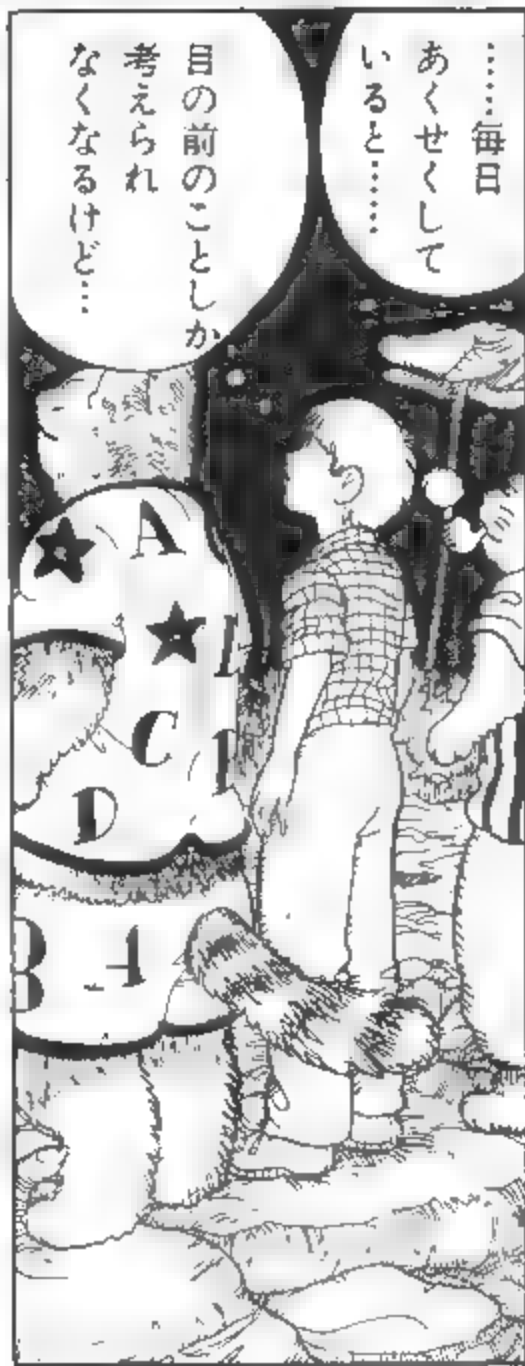
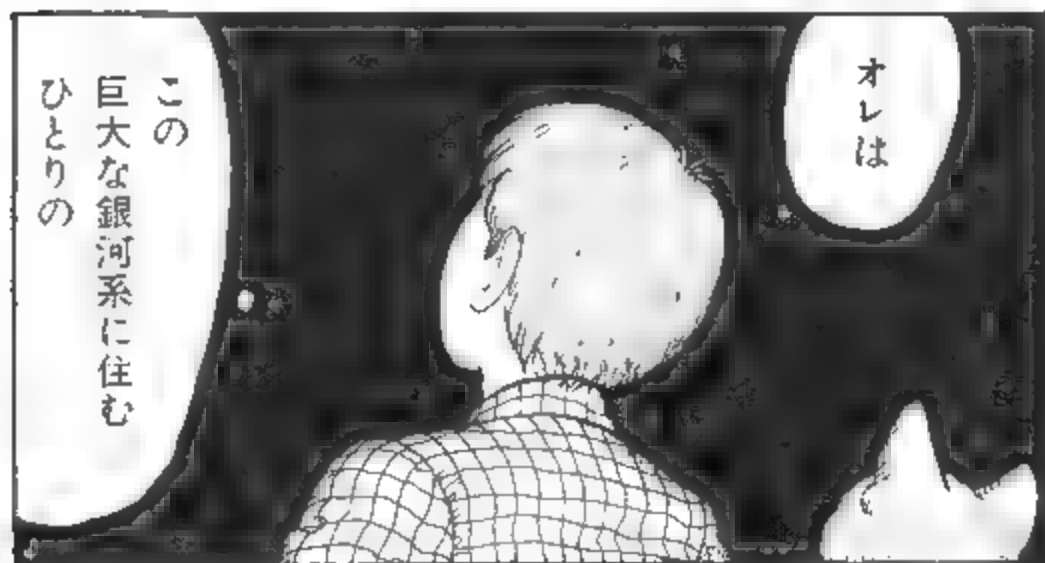
スーッ

こうして
猫たちと
呼吸していると

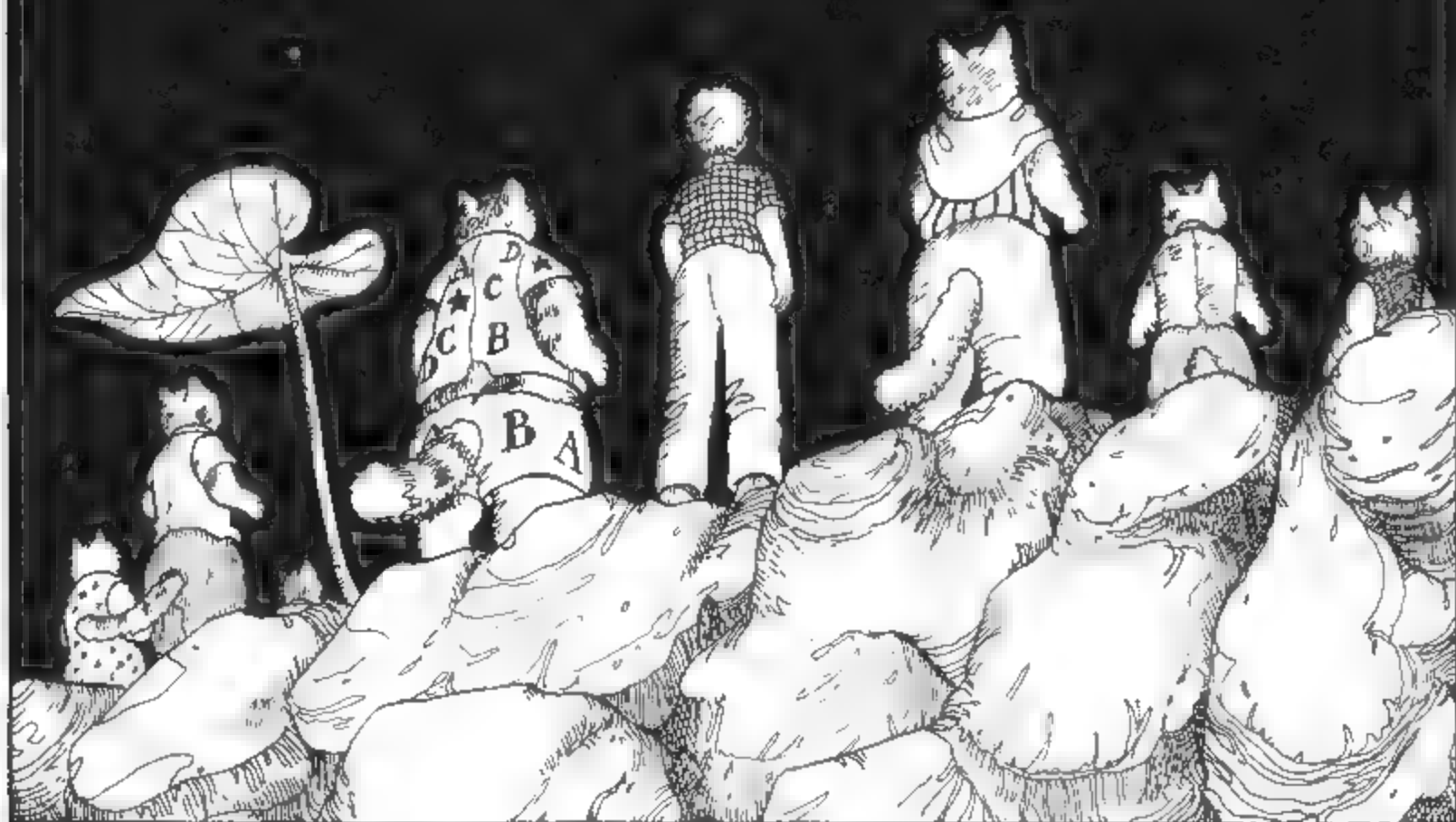


オレは

この
巨大な銀河系に住む
ひとりの

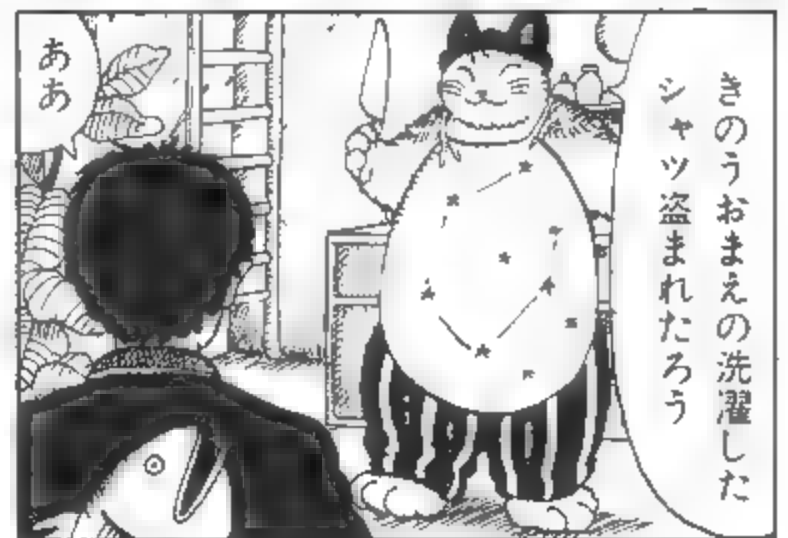
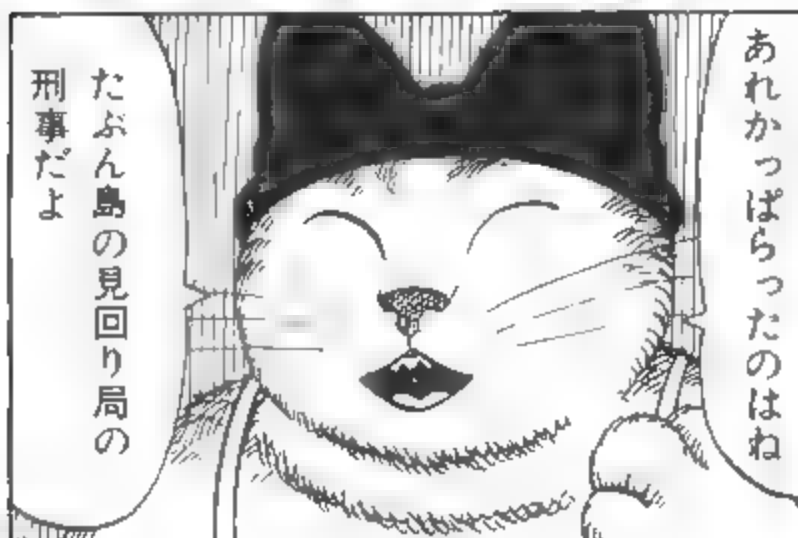


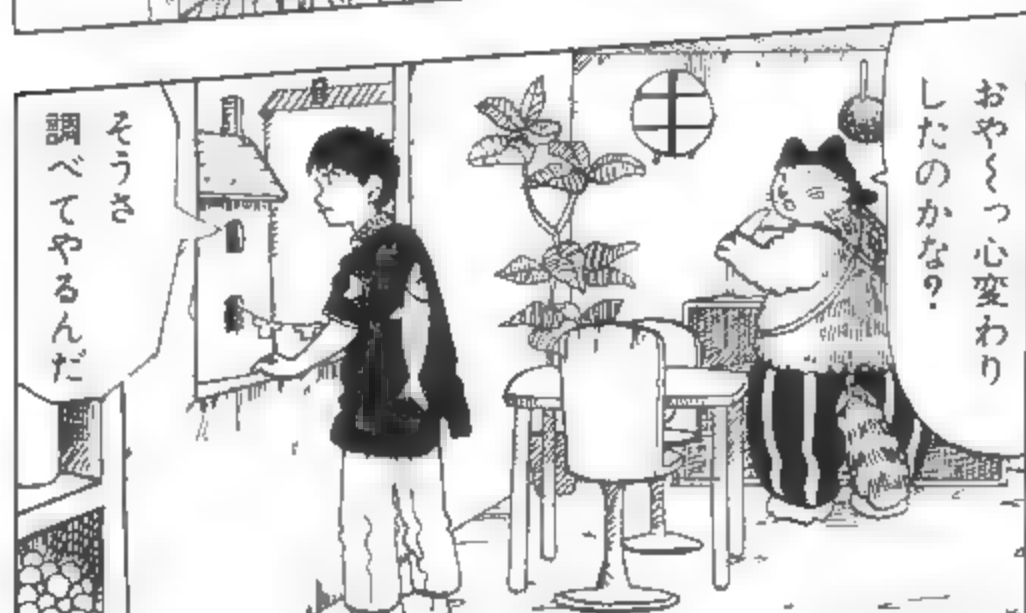
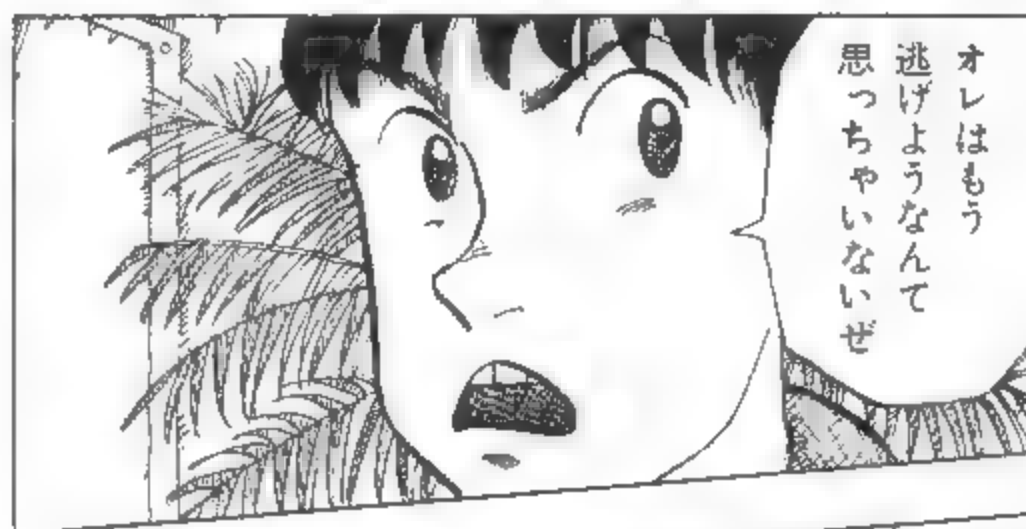
宇宙人なんだなあ

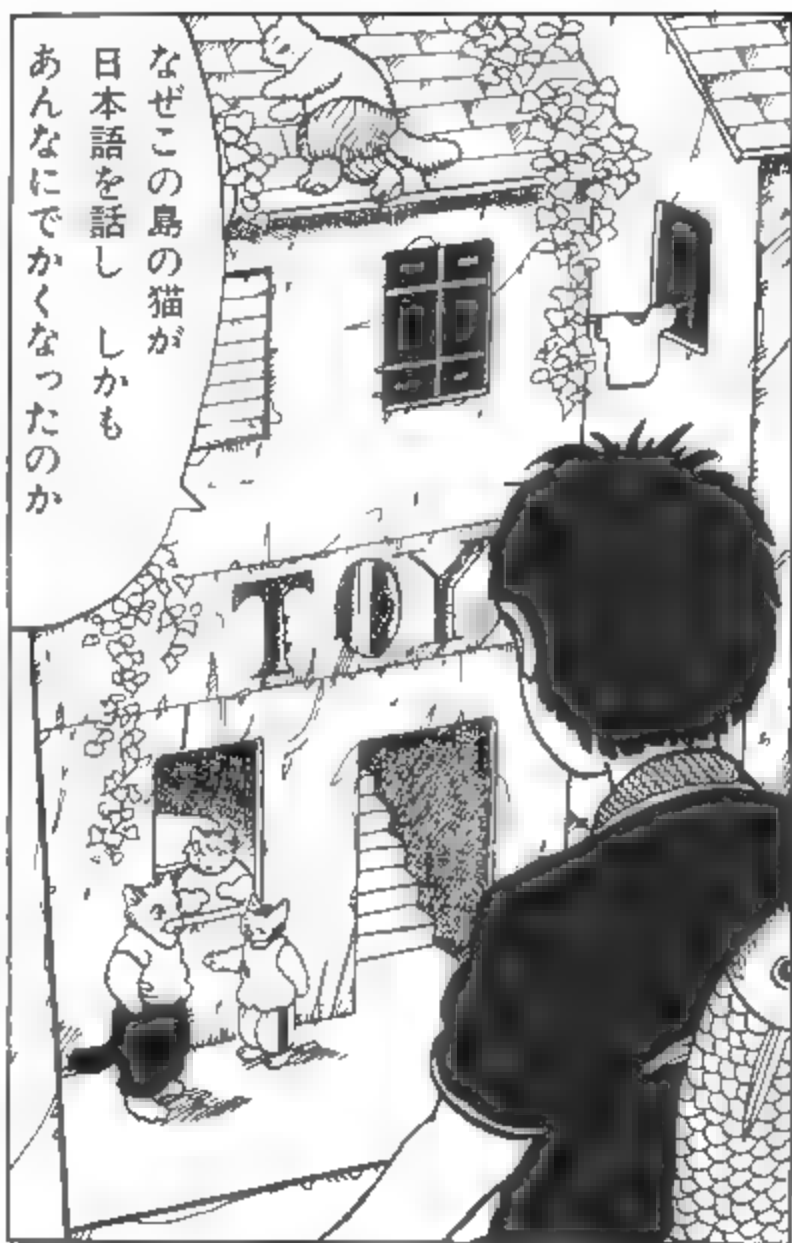


ザ・ロング・アンド・ワインディング・ロード

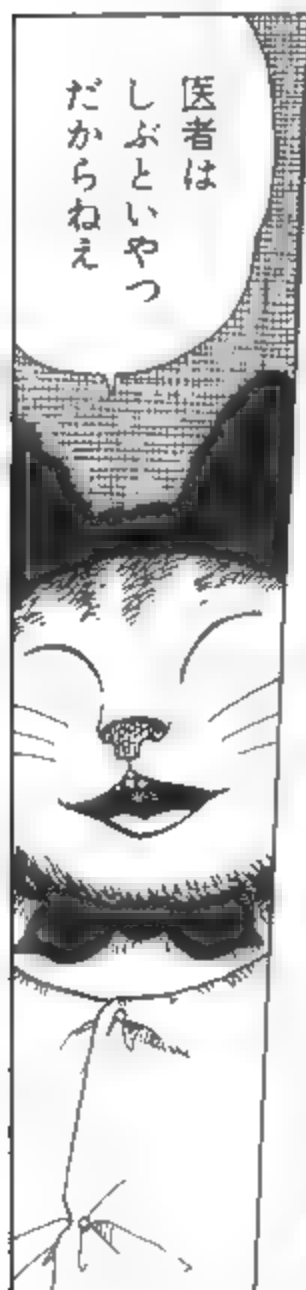
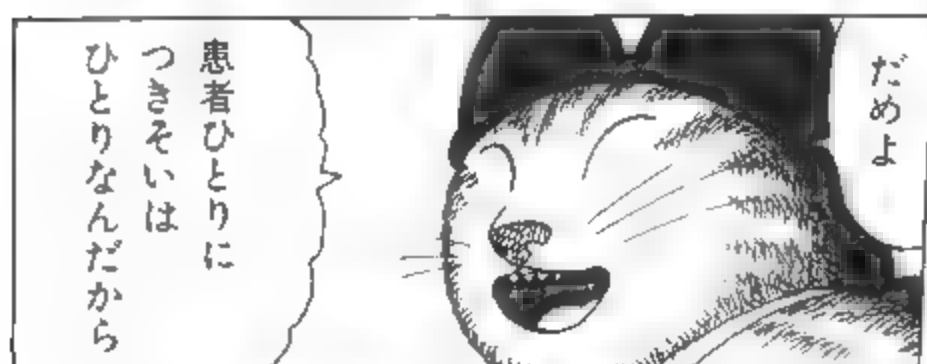




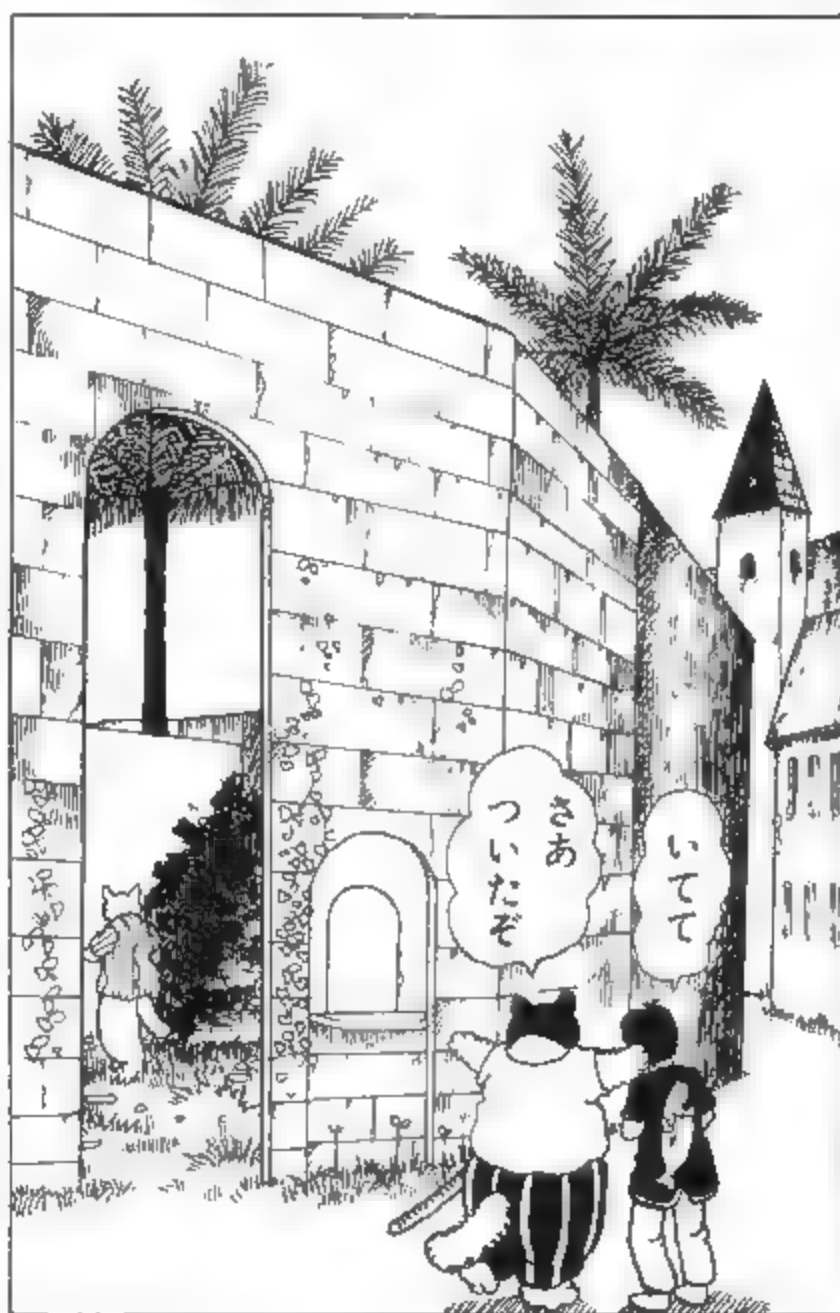
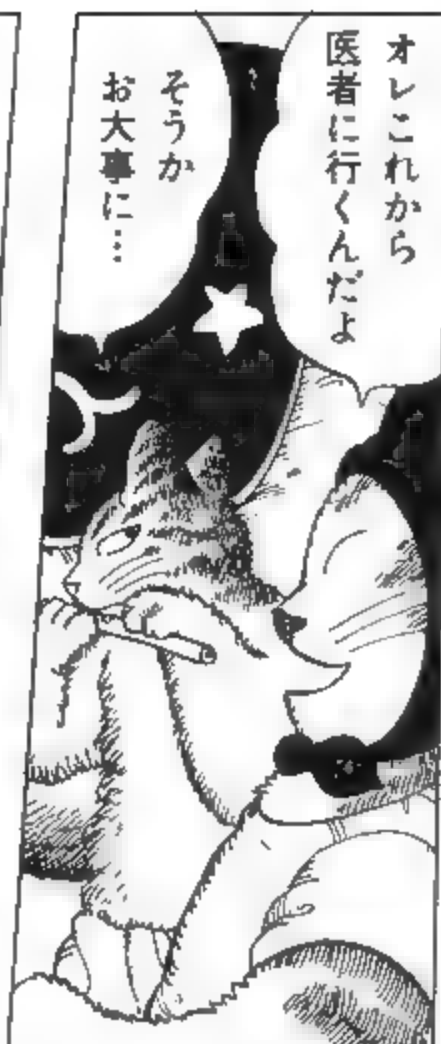


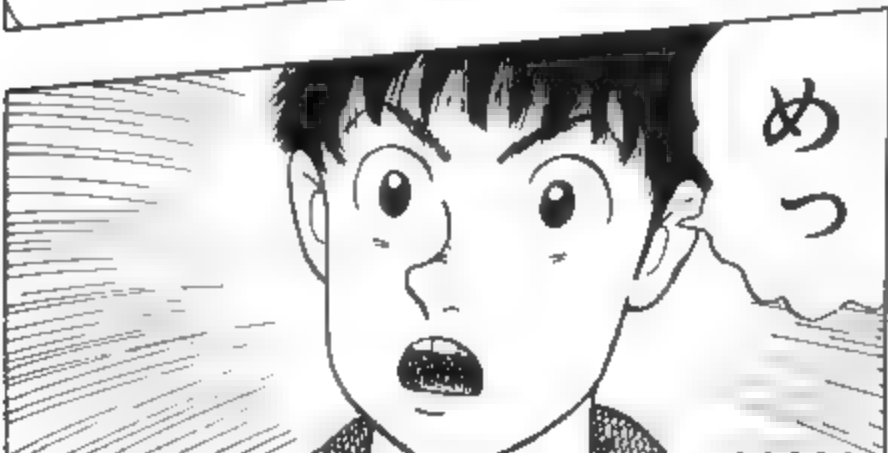
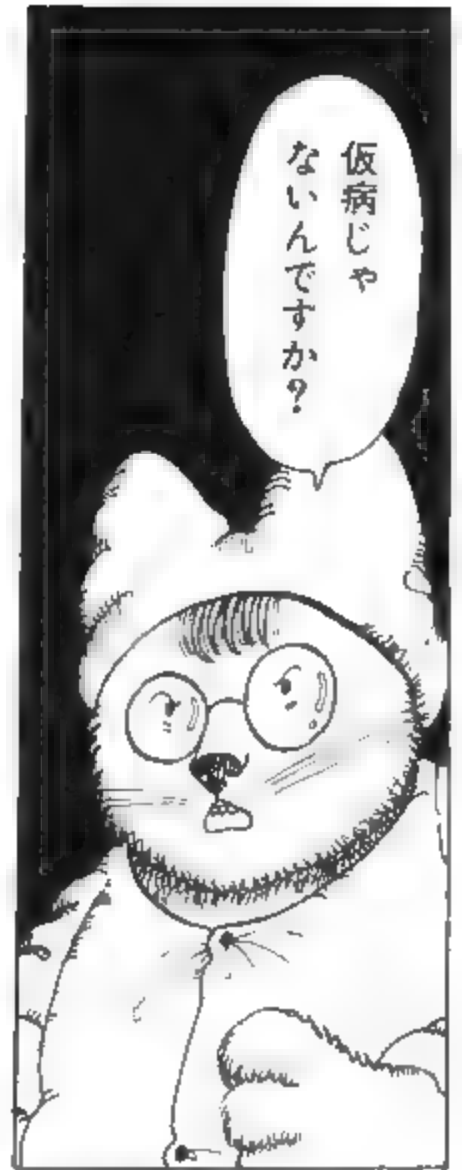


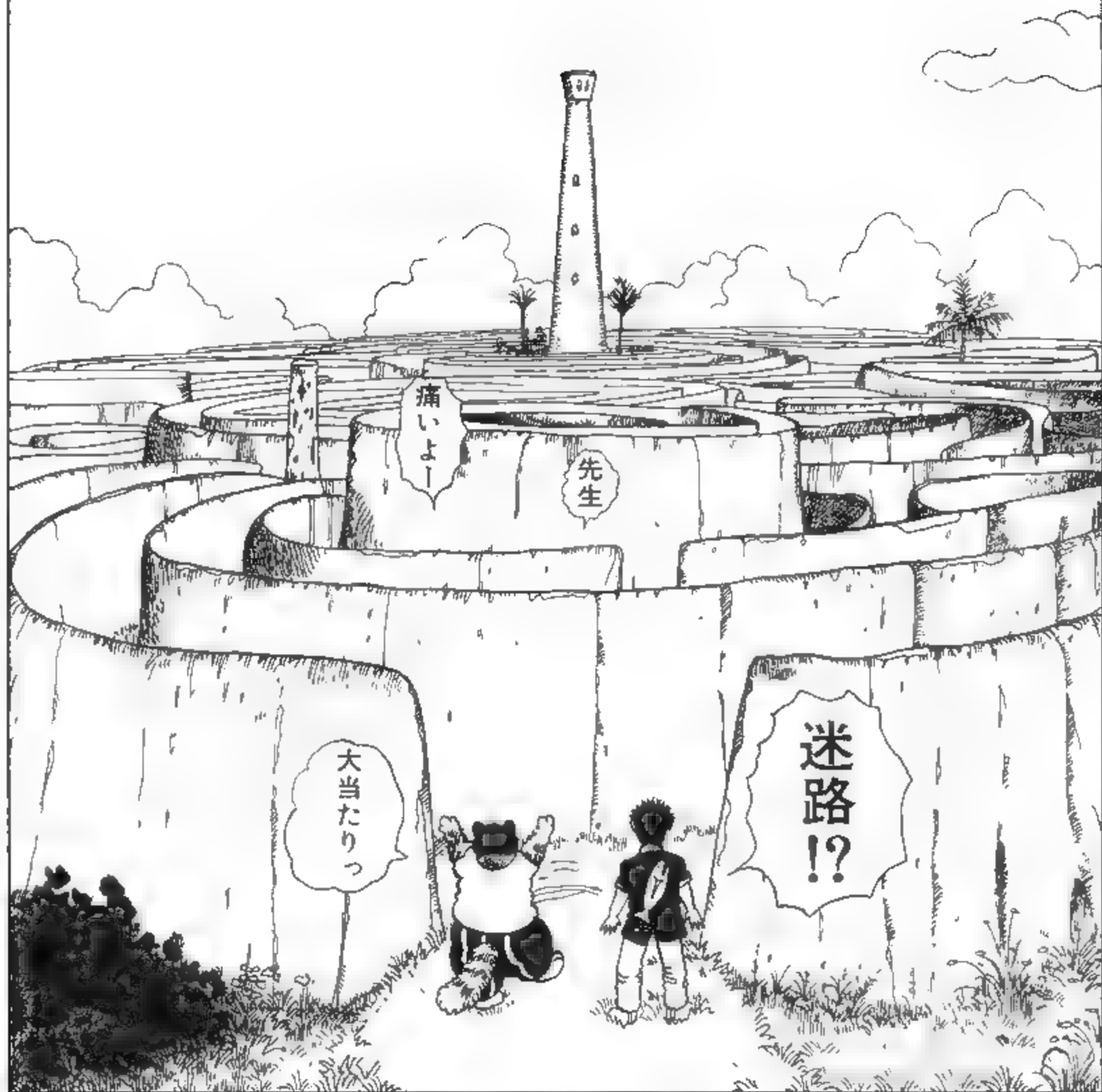












昔はやたら
病気でもないのに
年よりが来る
もんでね

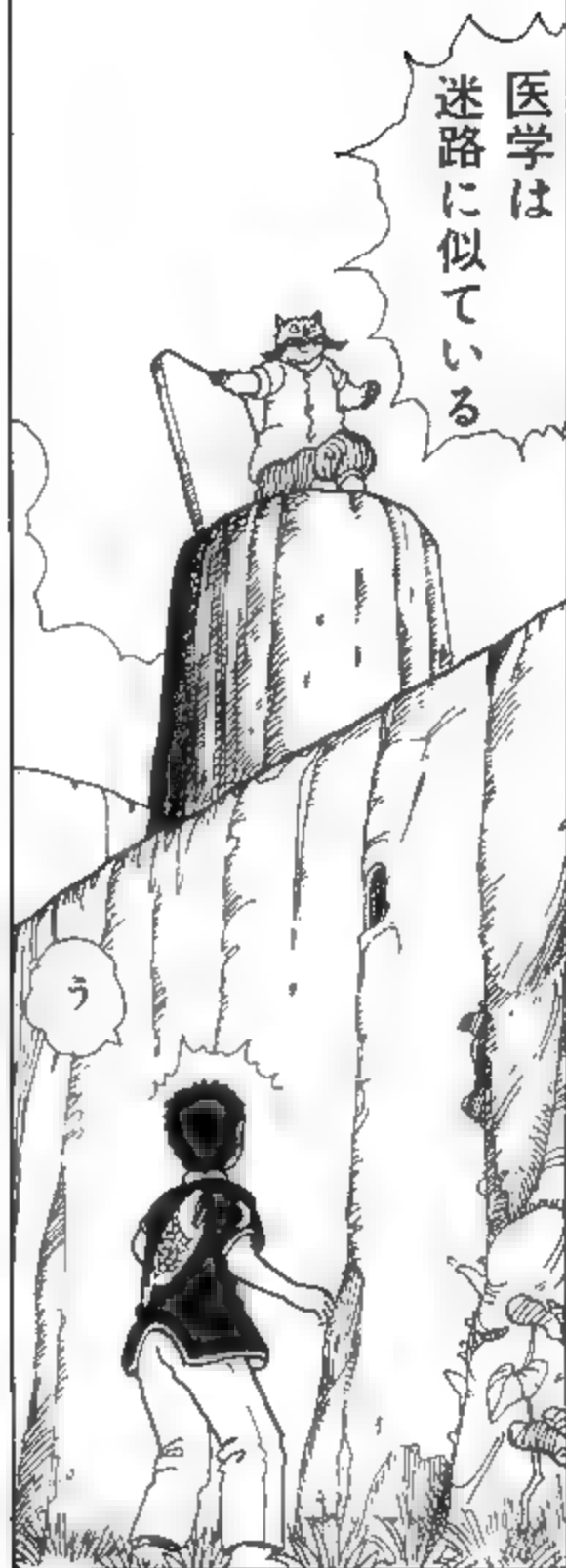
ある日院長が
簡単な迷路をつくったんだ

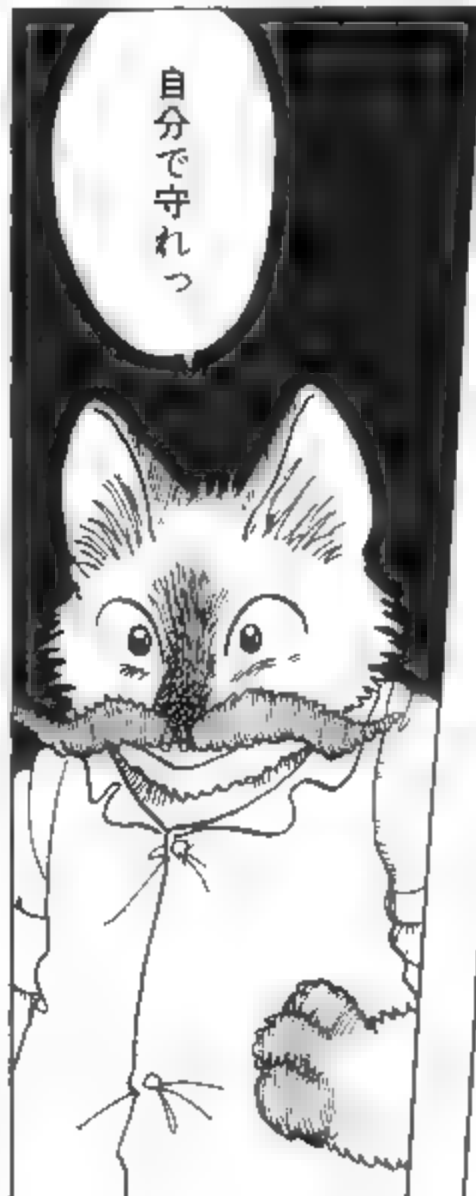
それがけっこう
患者の評判を
よんでね…

で だんだん
複雑になっていって…
最近では診療室に
たどりつく者が
ほとんどいなくなったんだ

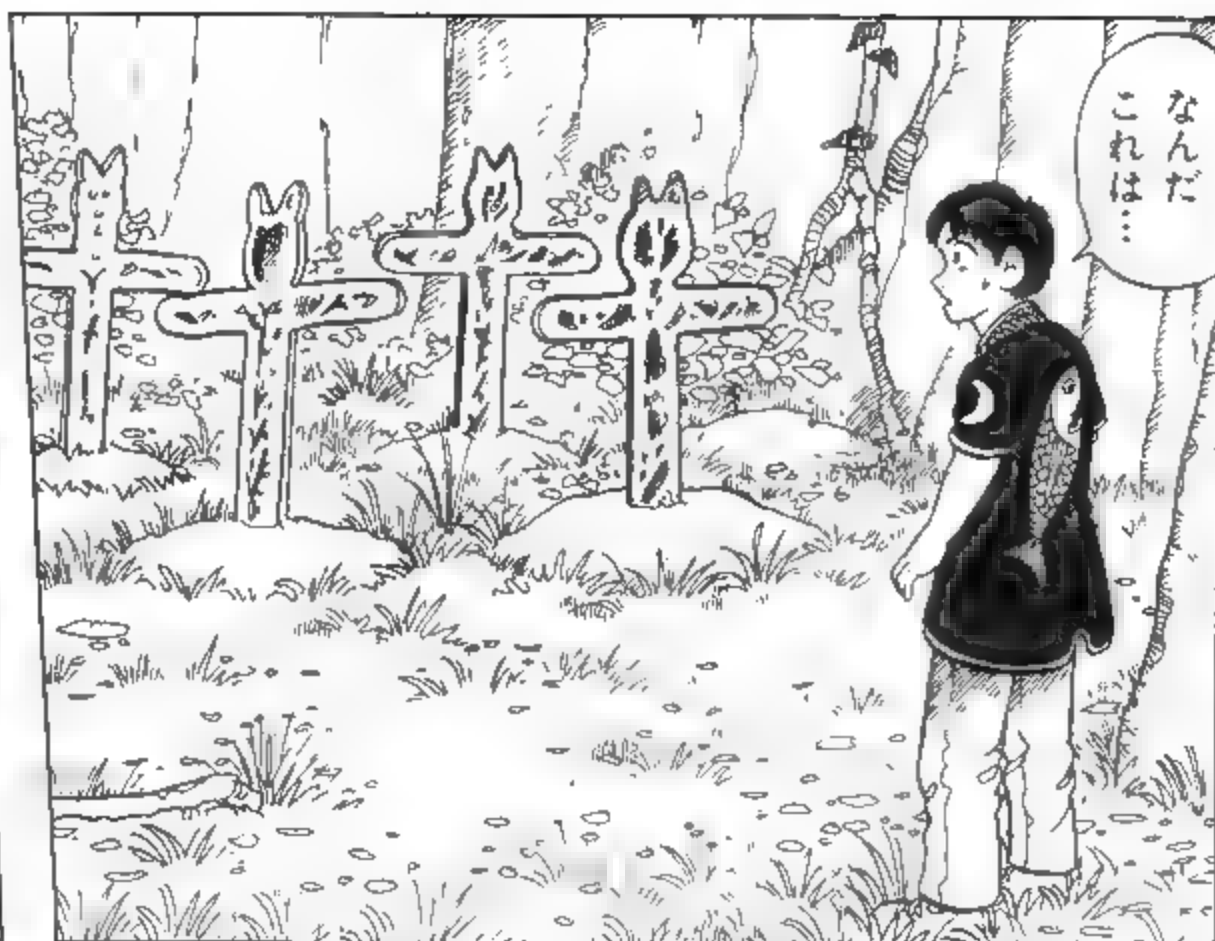
まったく この
島の連中は
何を考えてんだ





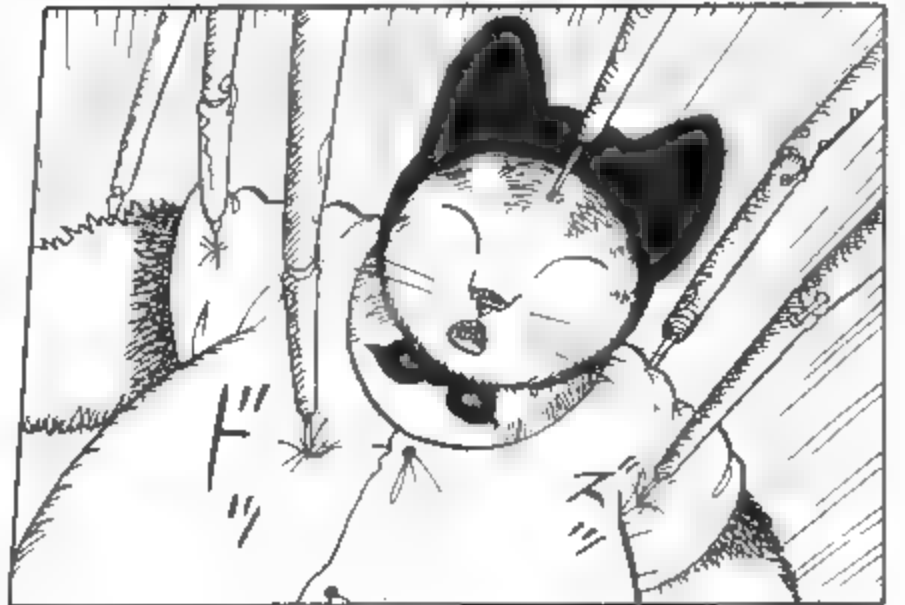
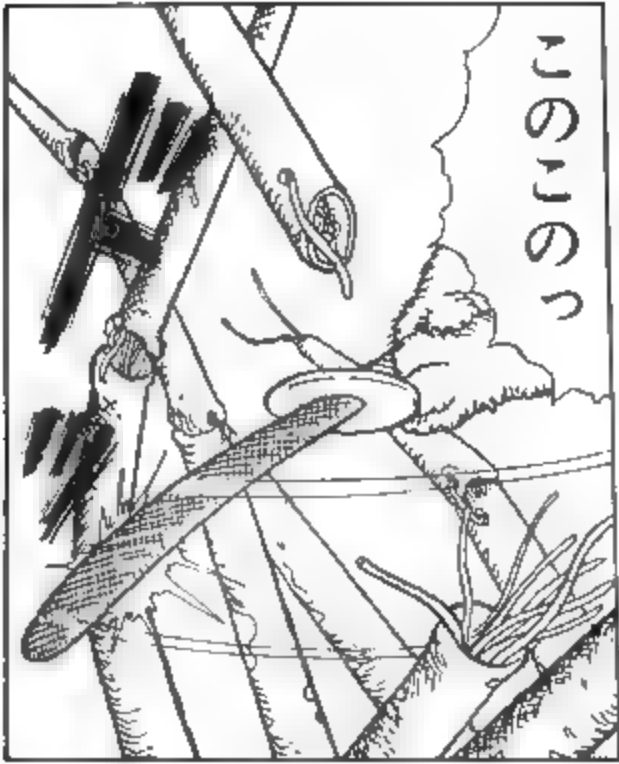




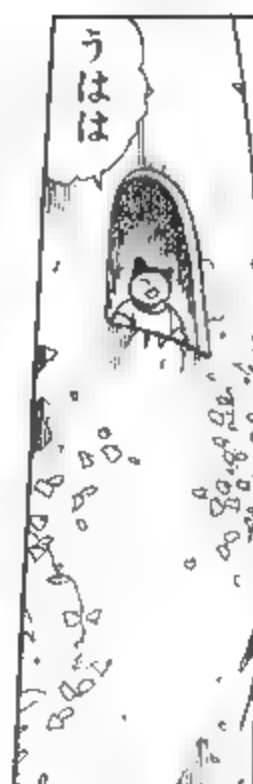


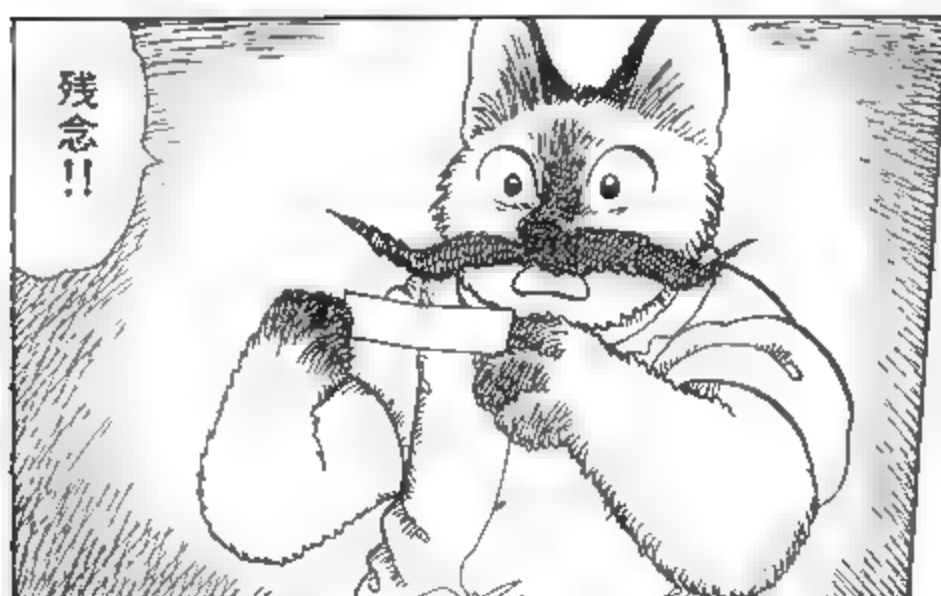
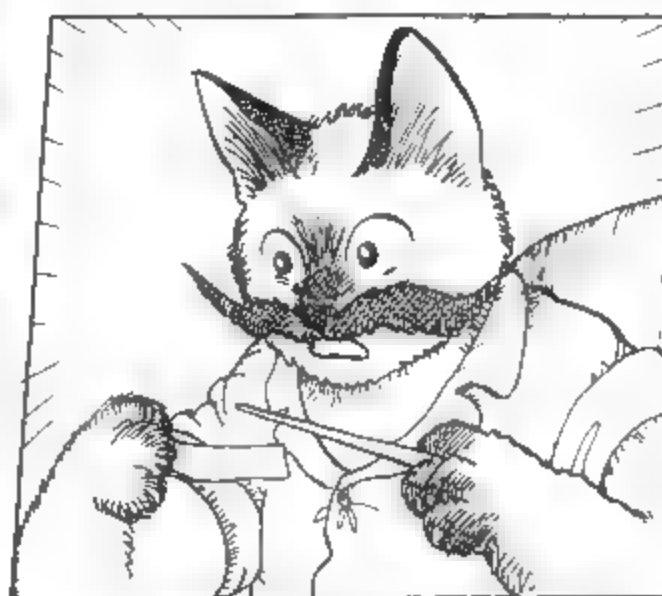












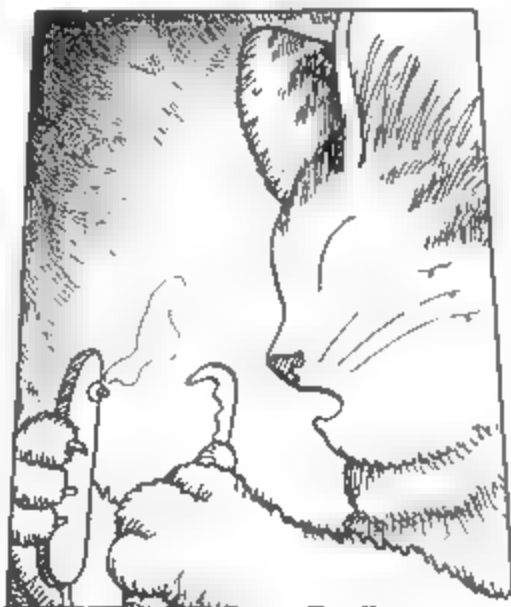
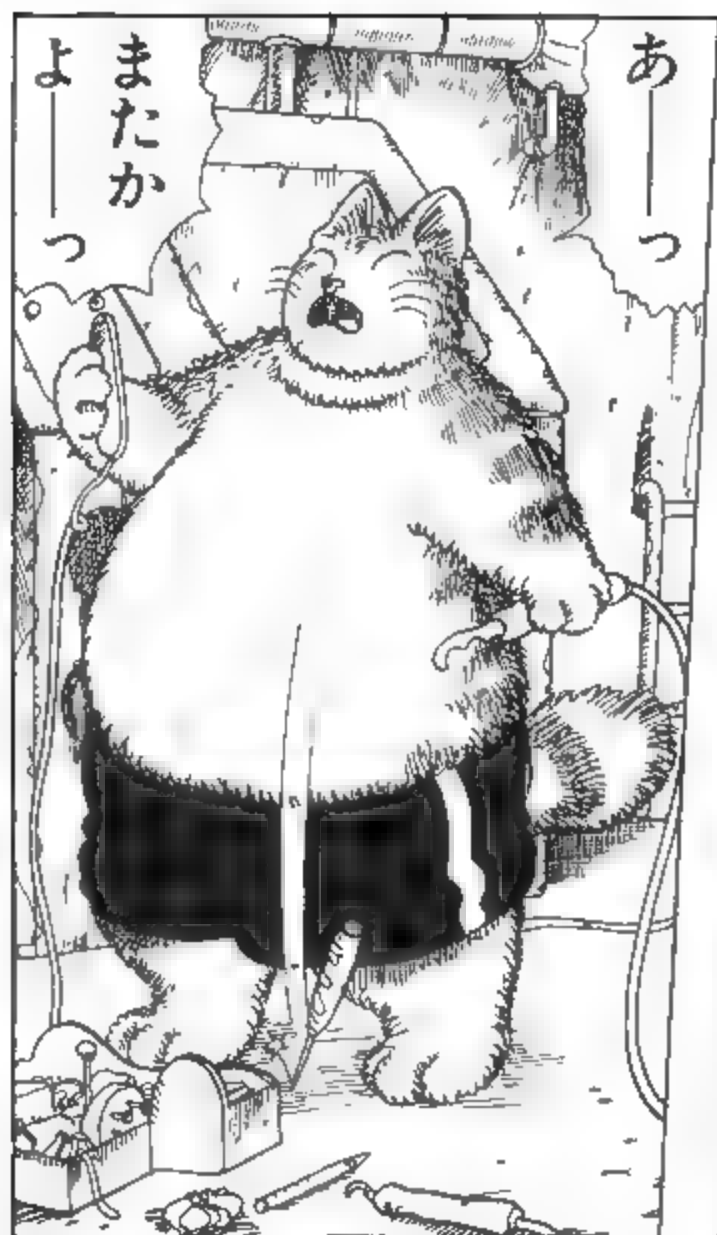
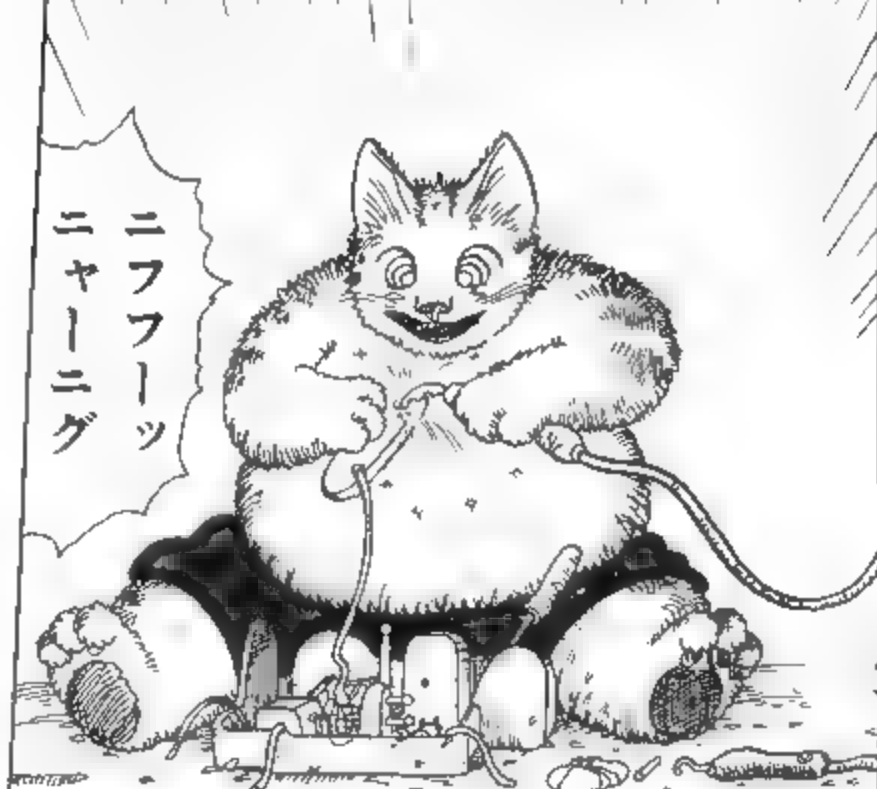


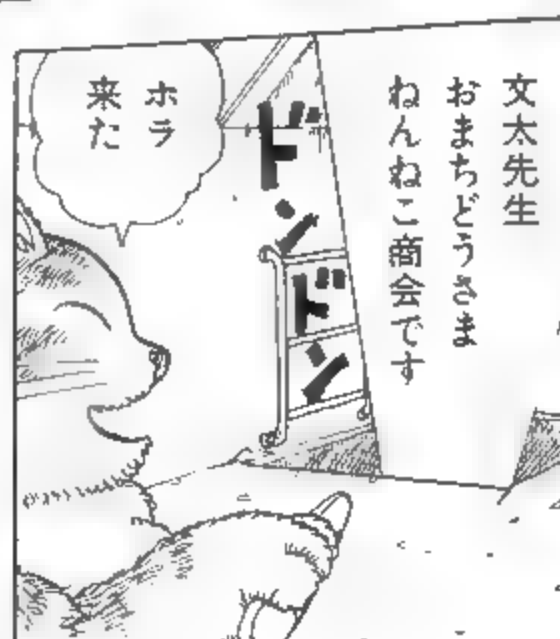
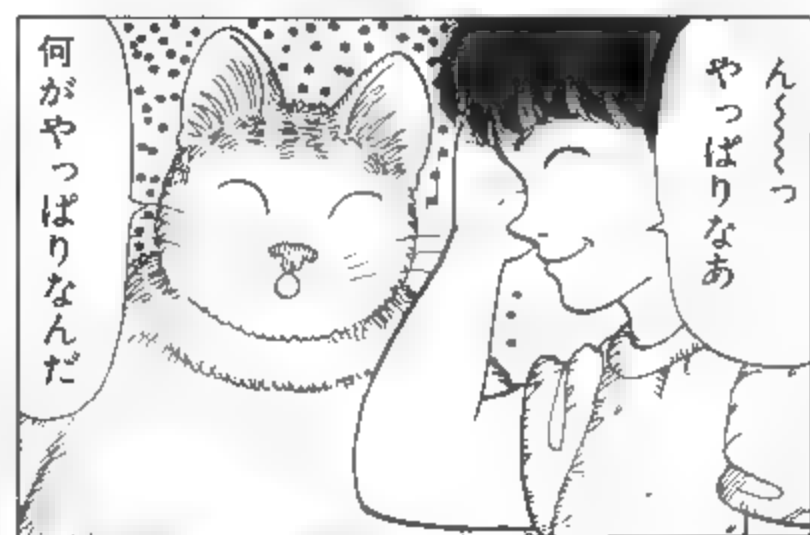
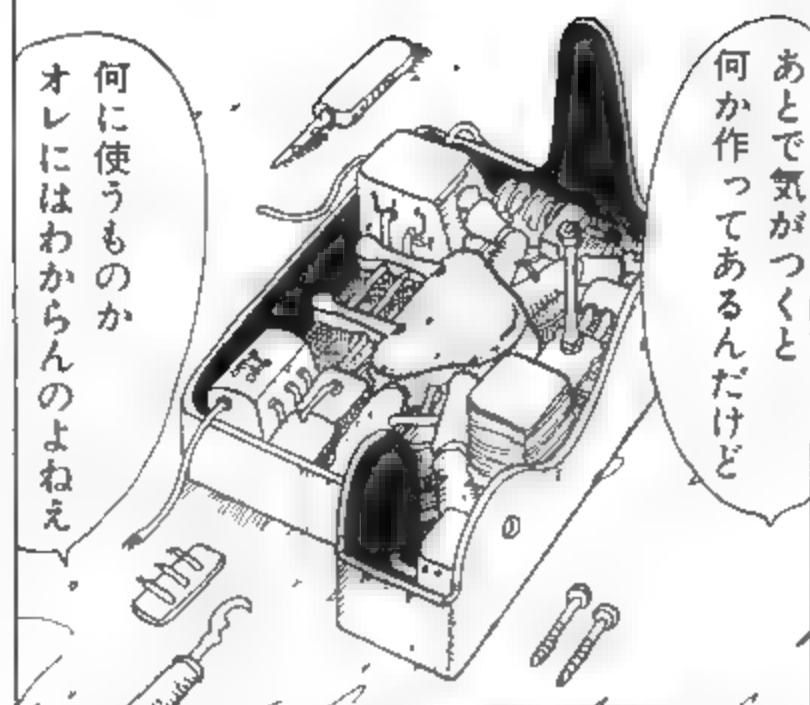
ムーンライト・キネマ

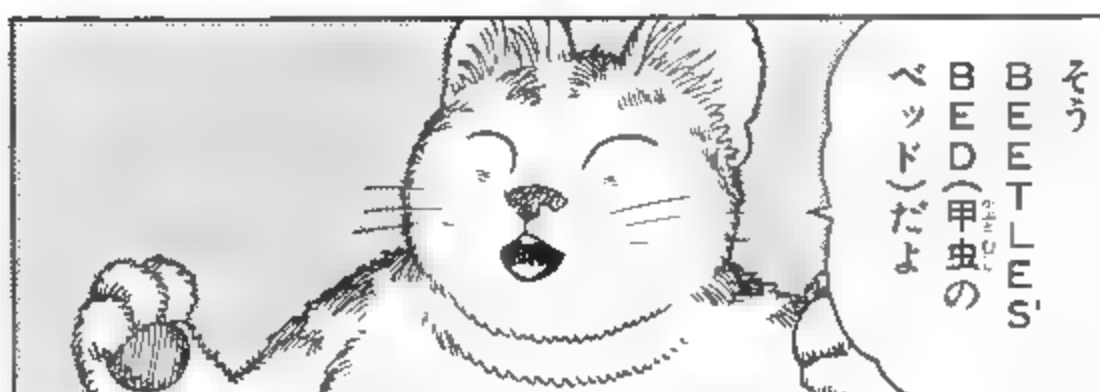
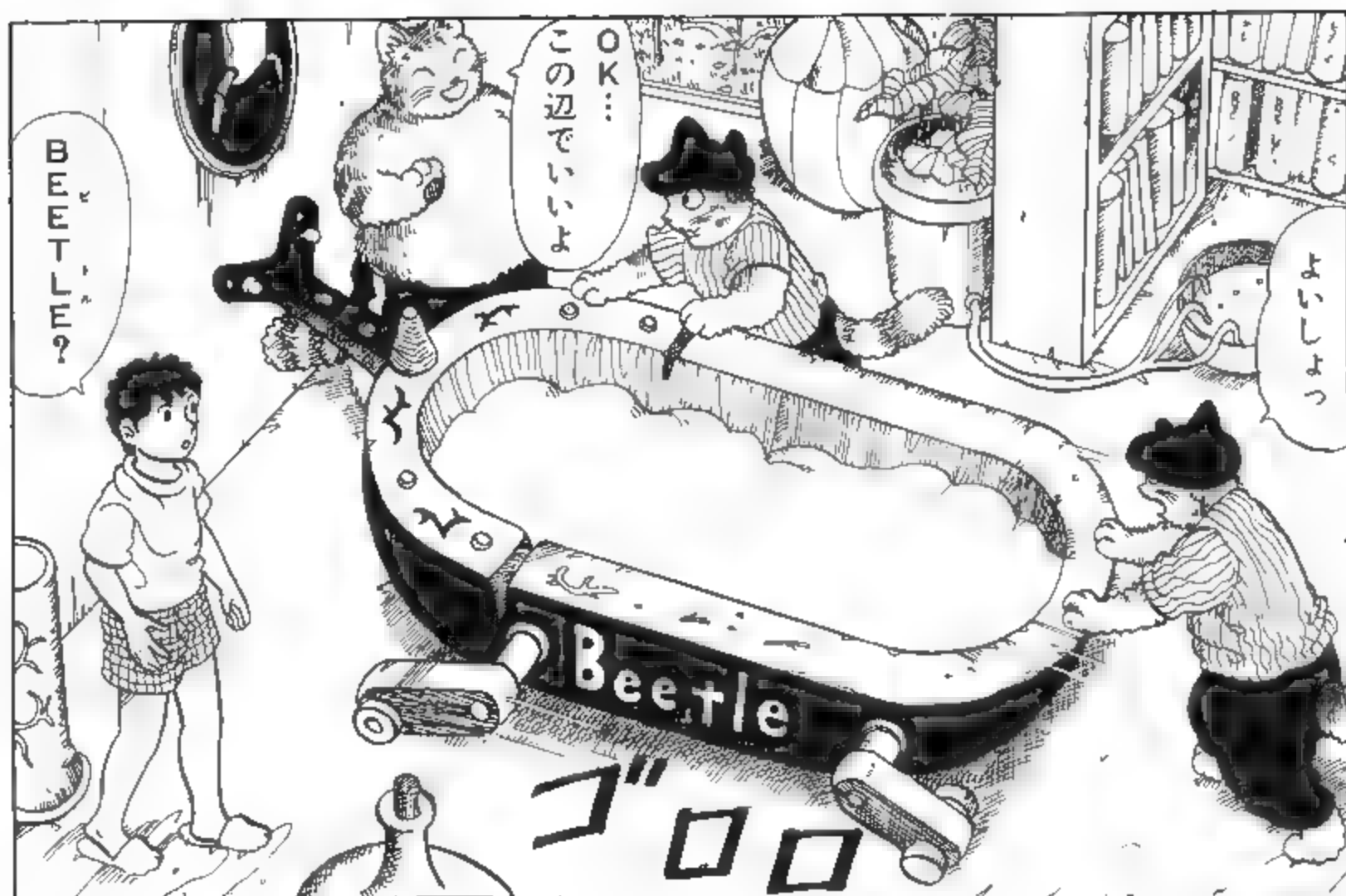












どんな不眠症のやつでも
ぐっすり眠れるんだぜ

絶対眠るまいとしても
横になったらスヤスヤさ

えーっ
本当かよーっ

そう そのまま
横になって

こうか…

モチよっ
ためしてみるか

よしっ

あれ…

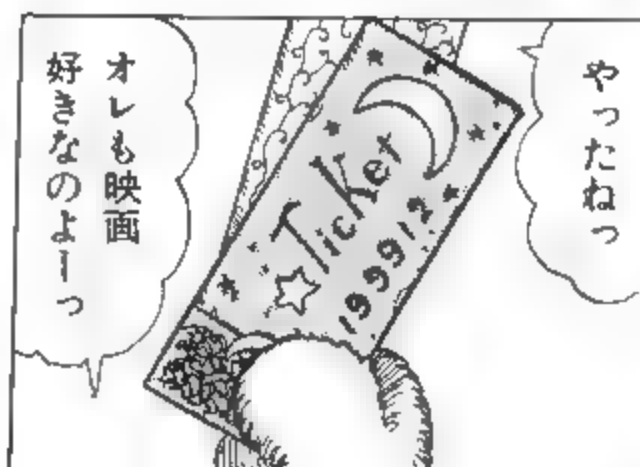
なんだか…

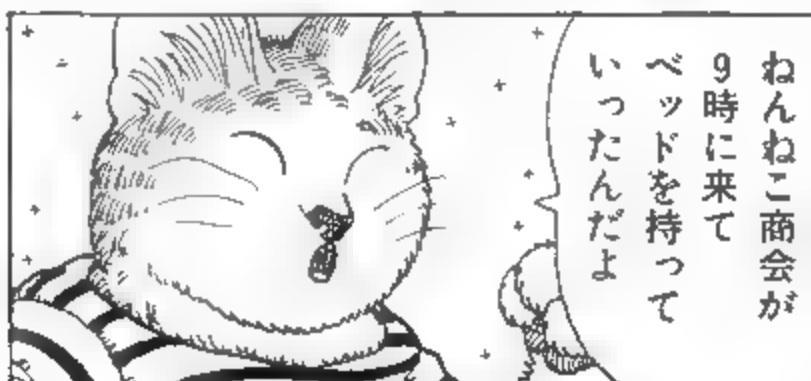
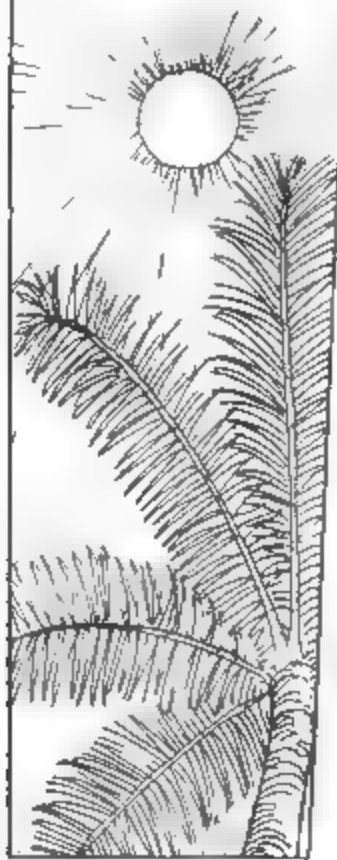
ホラホラ
すごいだろう

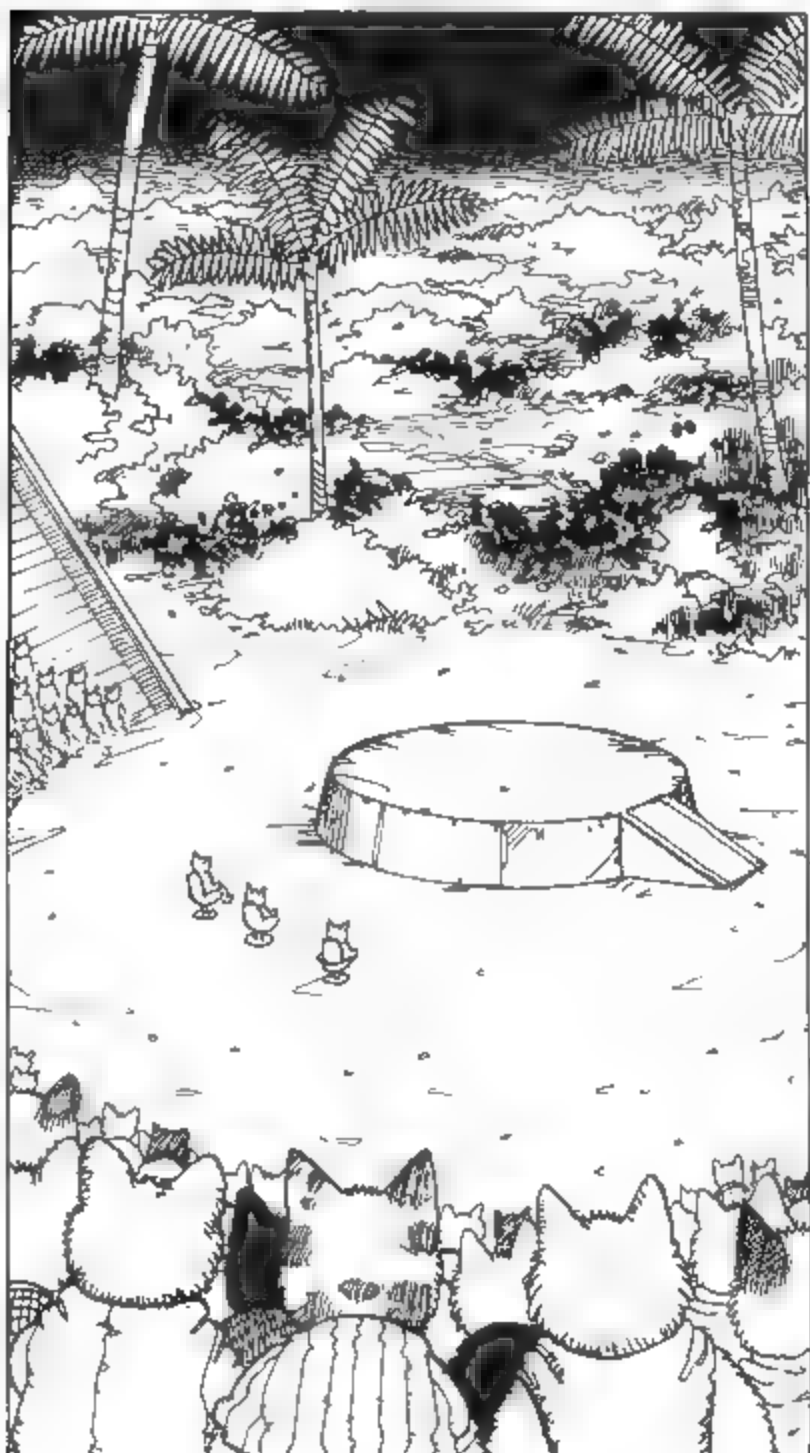
ああ……
急に眠りの海に
落ちていくみたいだ…

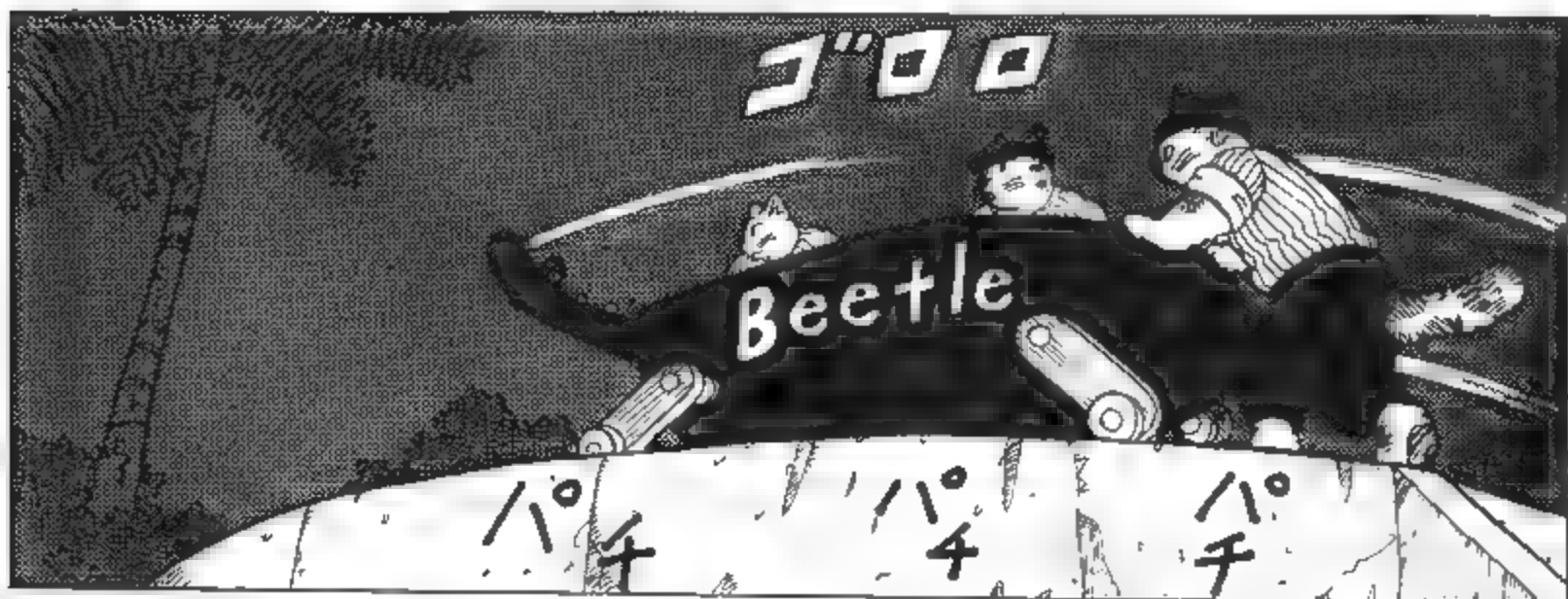








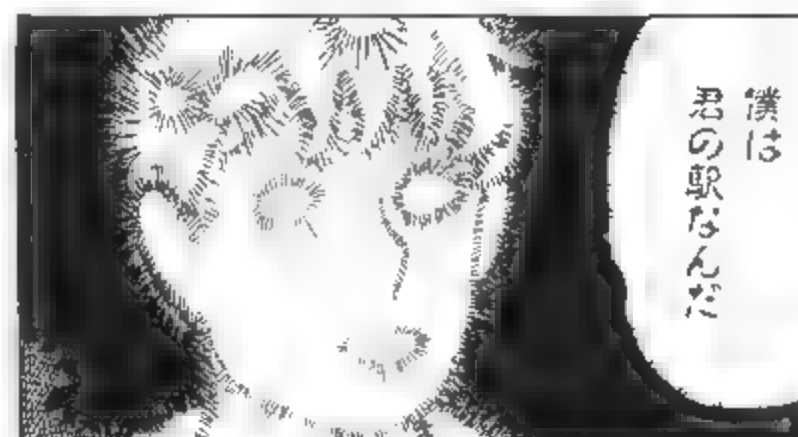
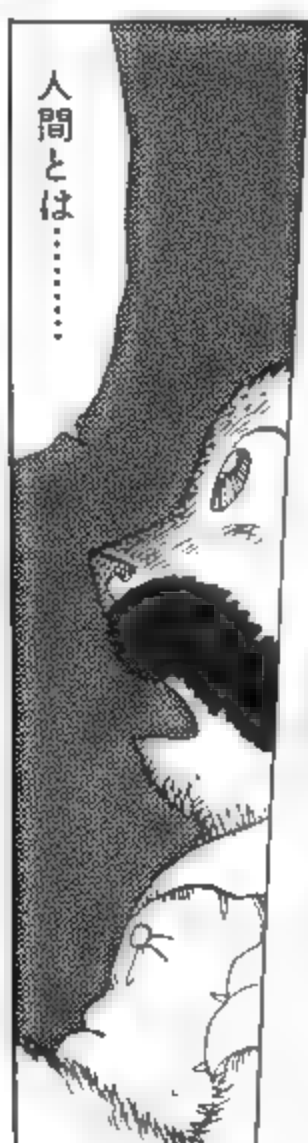
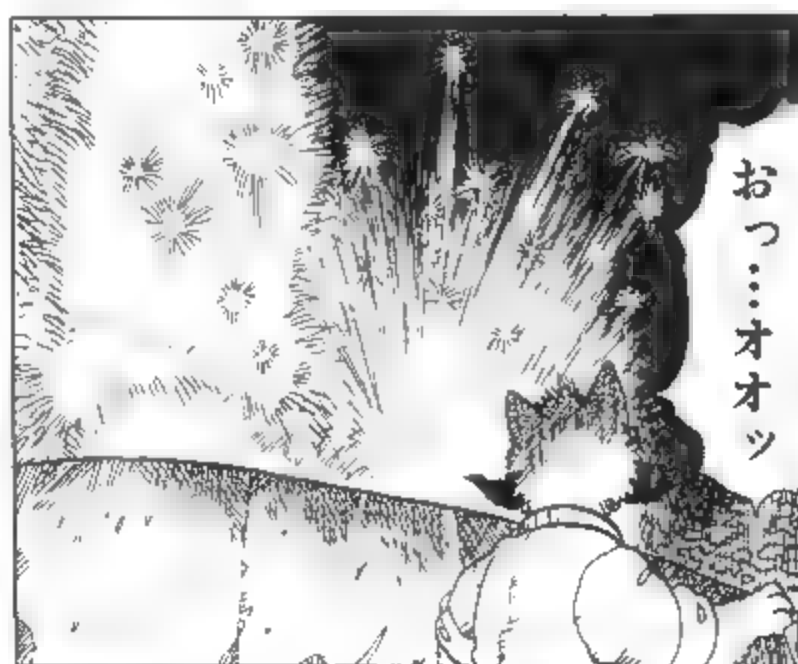
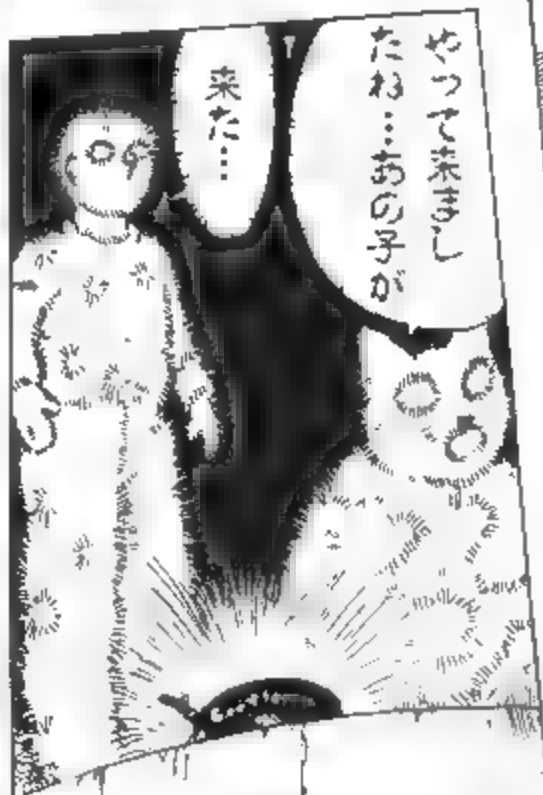












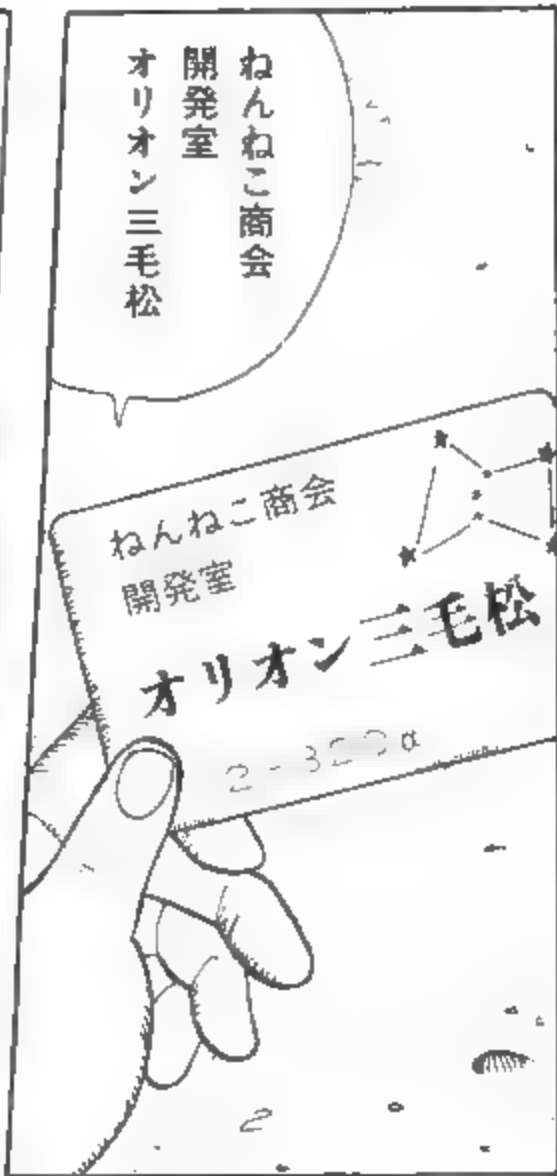


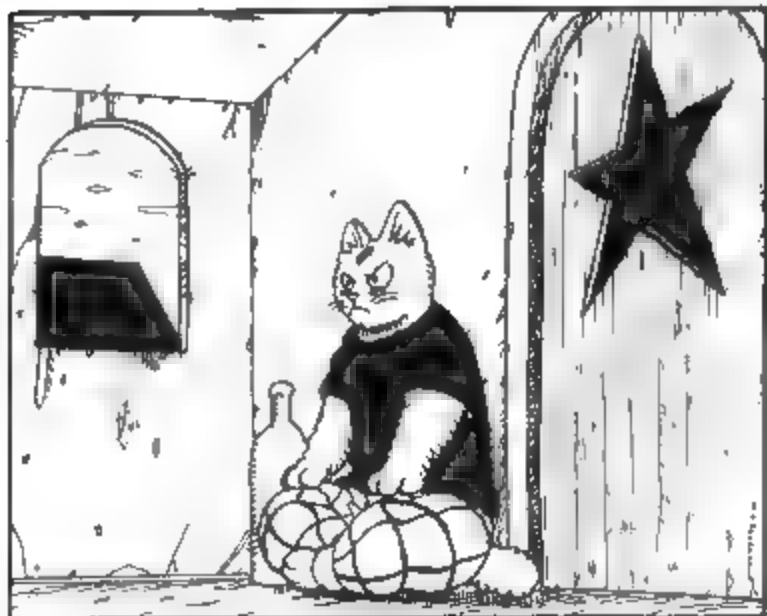
こんなに自由な夢を
見るのか

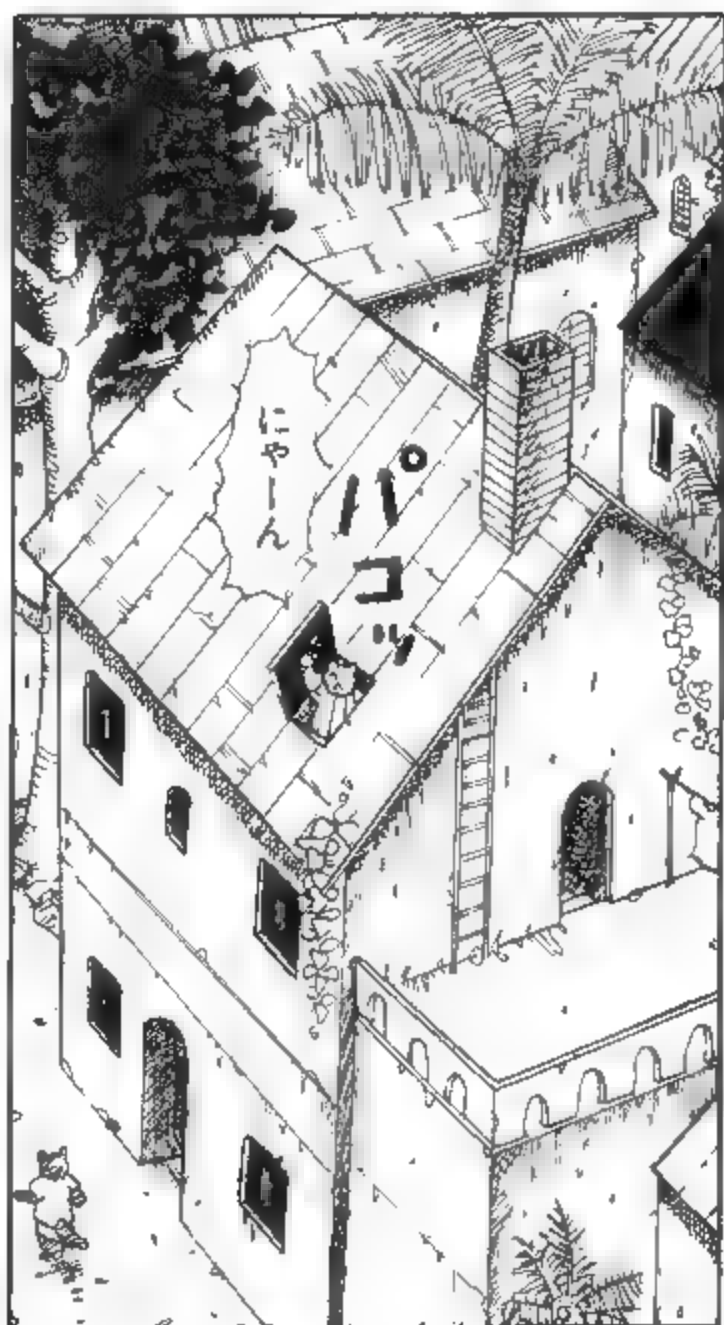
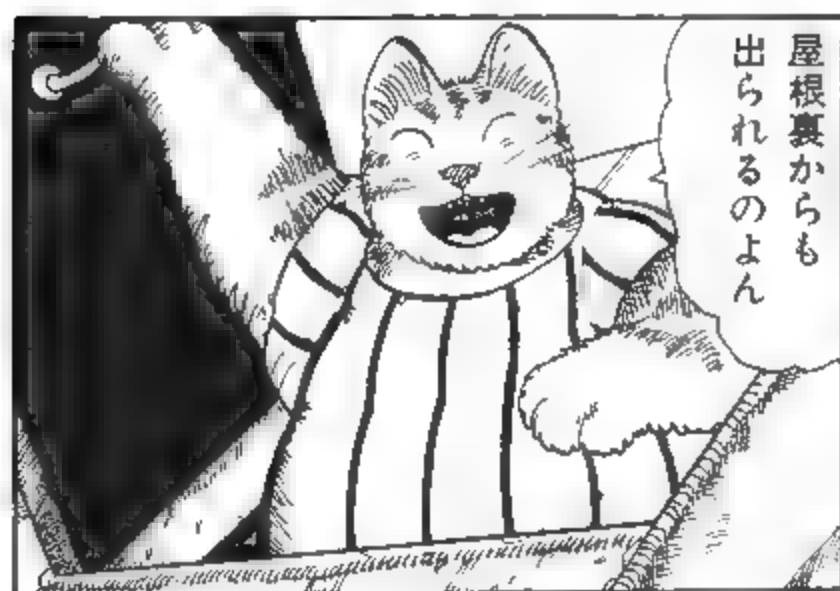
ジプレッションデザイナー

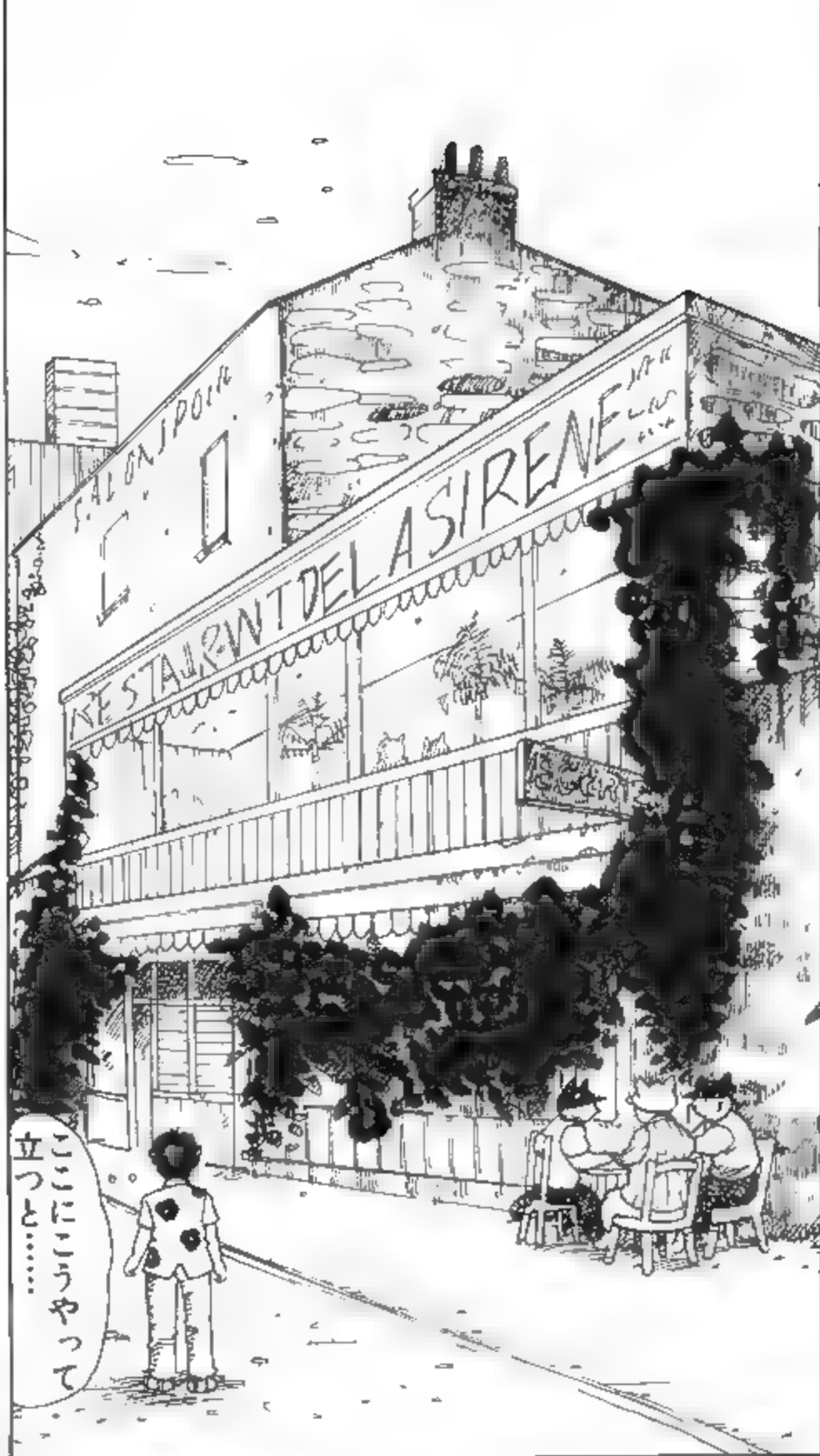














そんな
バカな



わしは
ゴッホなど
知らん

君はわしの設計に
ケチをつけに
来たのかっ



いや…
そんなわけでは
ありません



ホラホラ
落ちついて

テーブルに
ツメを
立てるのは
いけませんよ

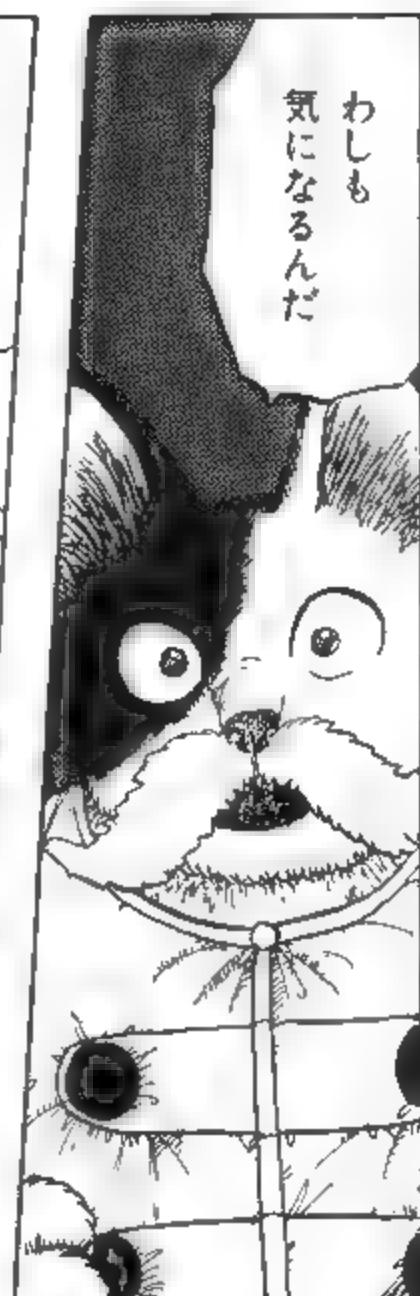
ぐぬぬ



それじゃあ…

「ド・ラ・シレーヌ」という
この店の名前を
つけたかたは？





有名な…
ゴッホの

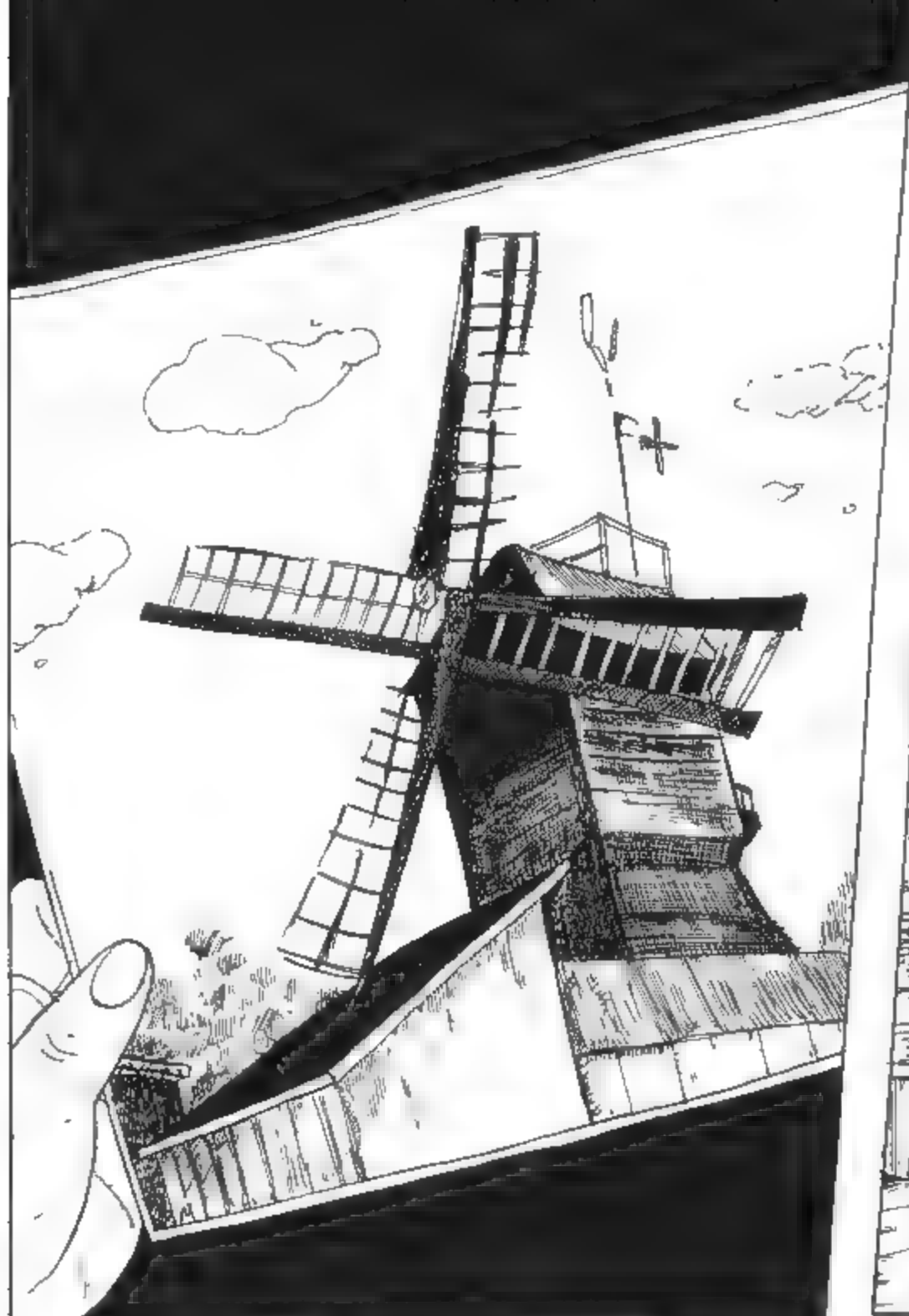


なんだと

それは町のほうずき河に
かけたはね橋だぞ



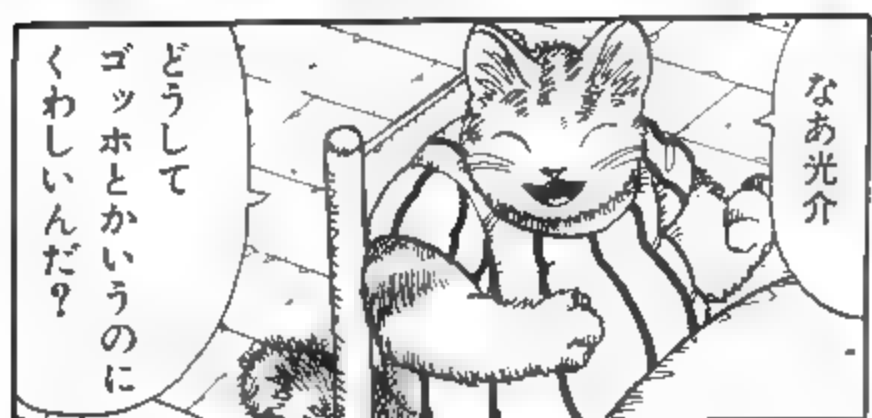
「アルルのはね橋」だ…



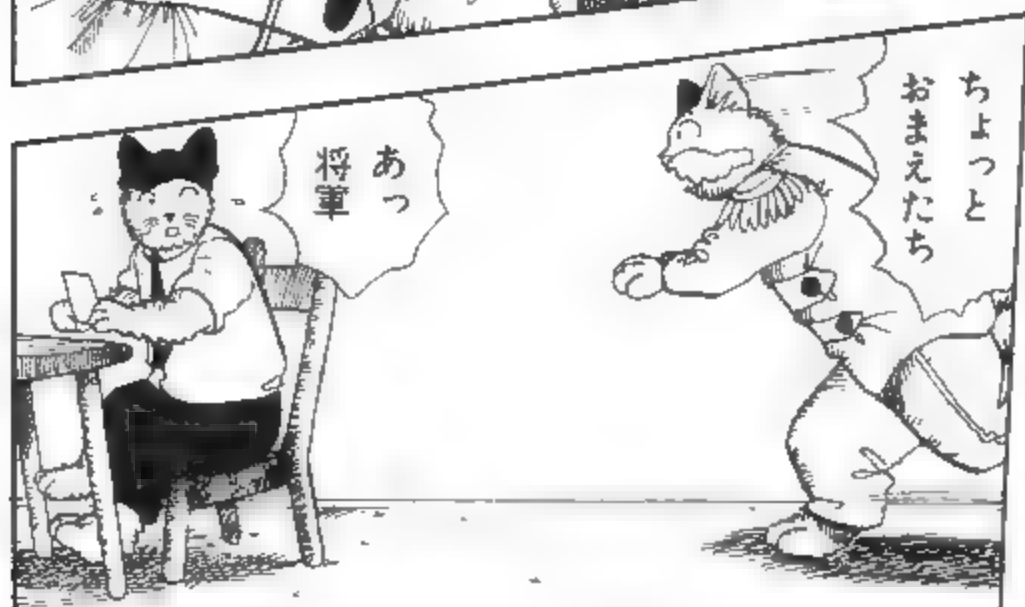
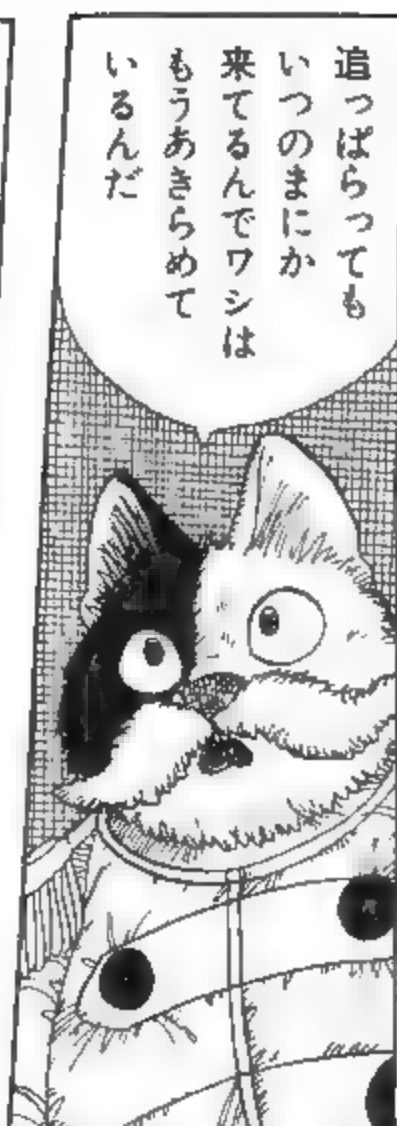


文句があるなら
わしの所へ



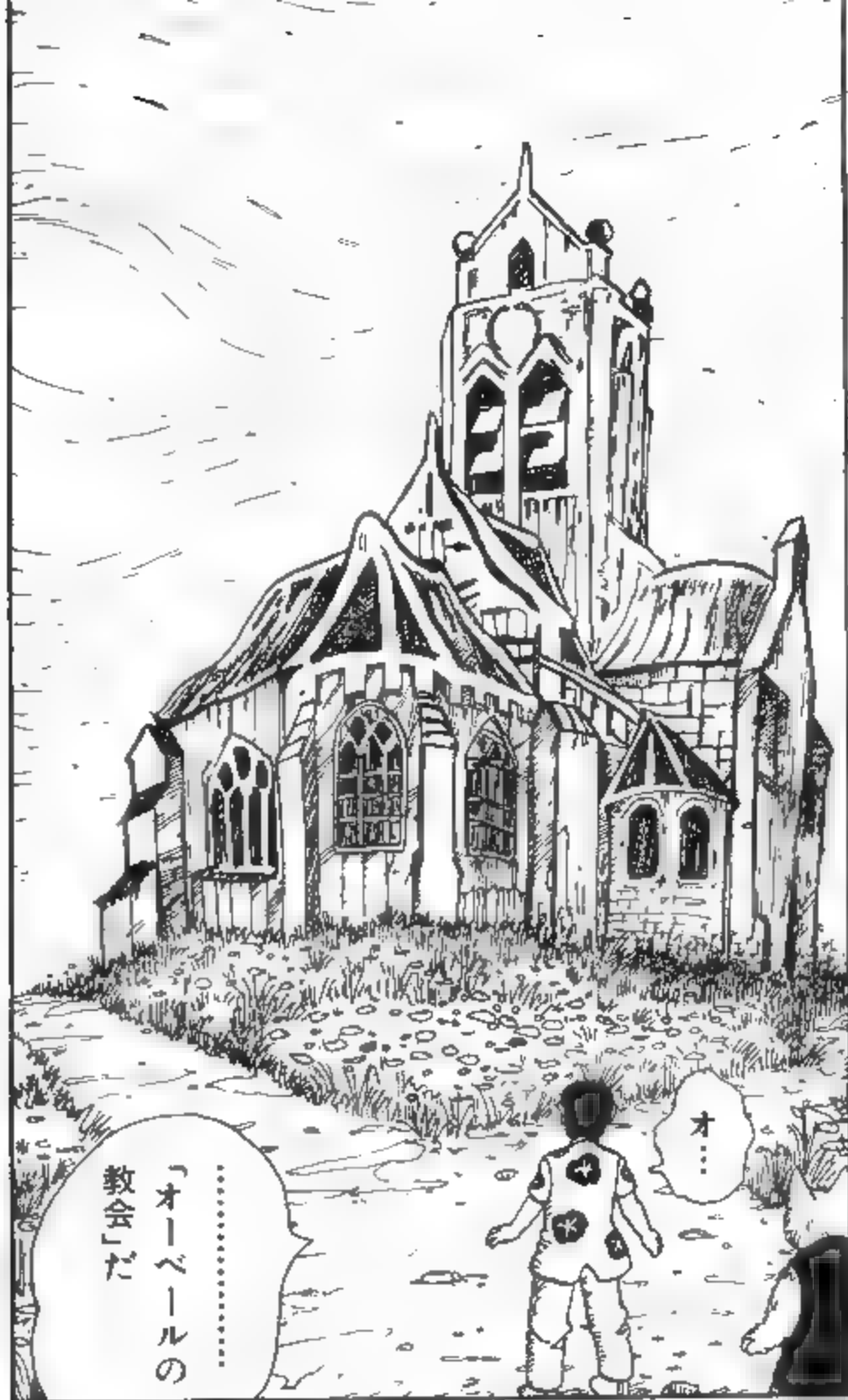


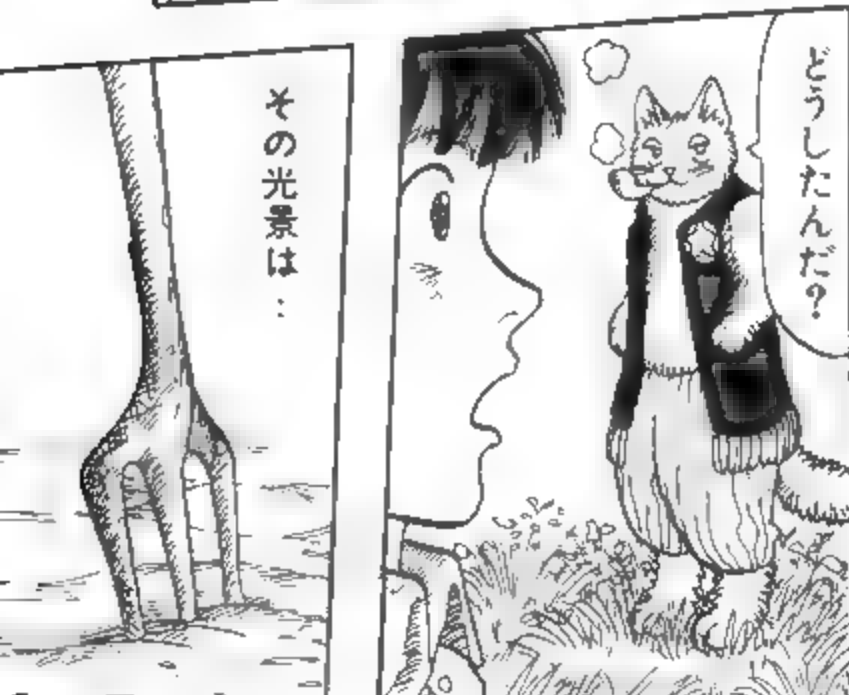












ミレーの
「晩鐘」のようだった……



5

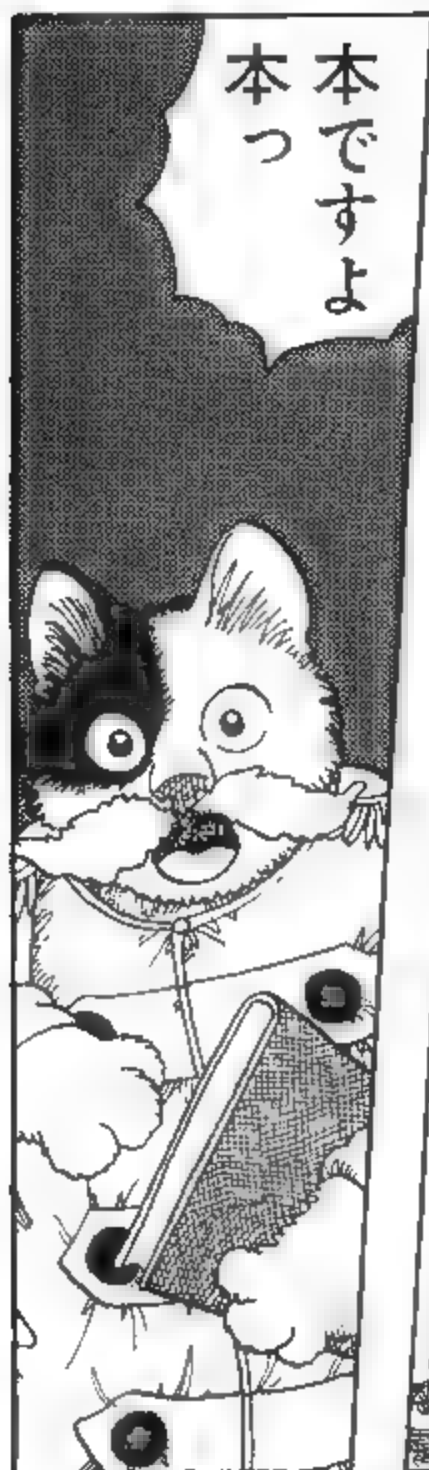
漂流博物館



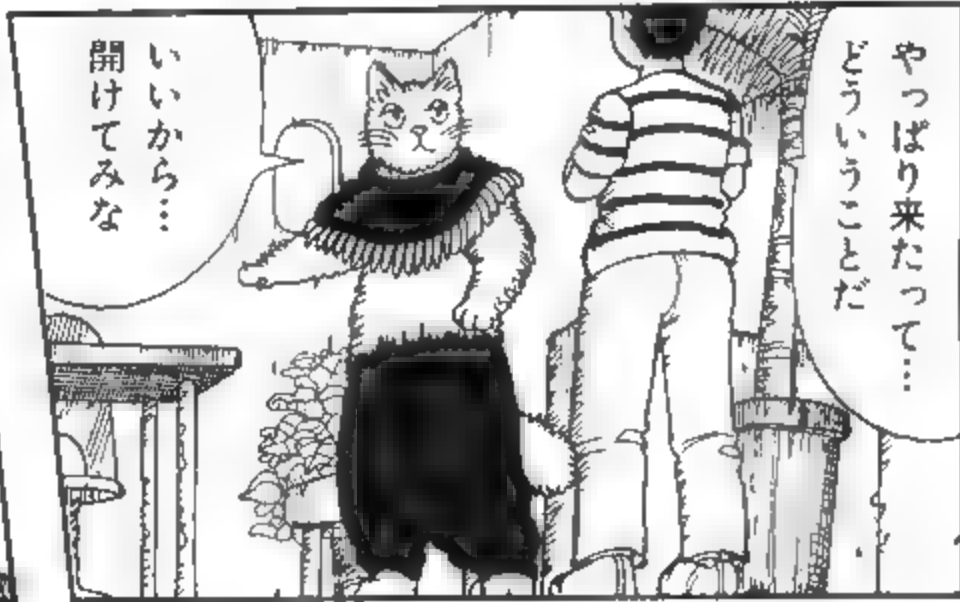












耳だ



まるで…

ゴッホと同じだ

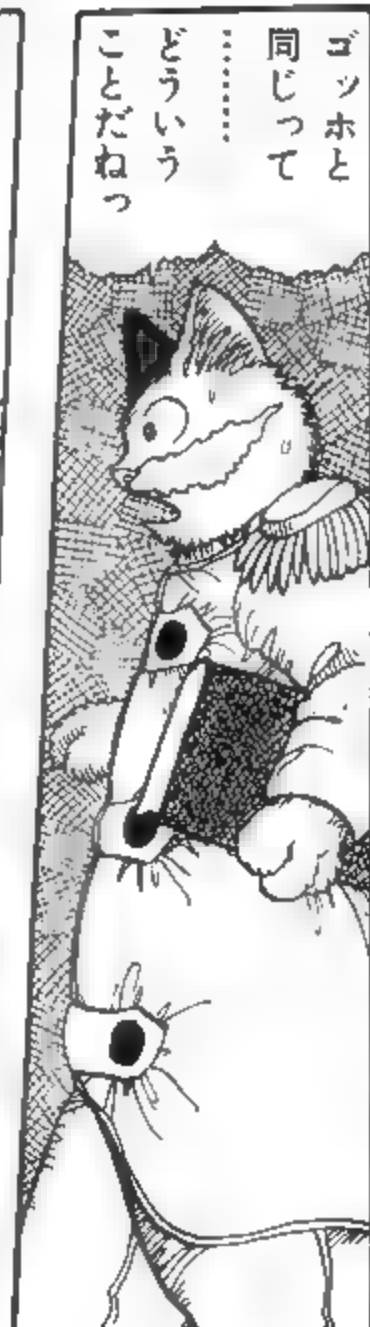


ゴッホと
同じって

……

どういう

ことだねっ



…彼は
ゴーギャンという画家と
いっしょに生活した
ことがあるんですが



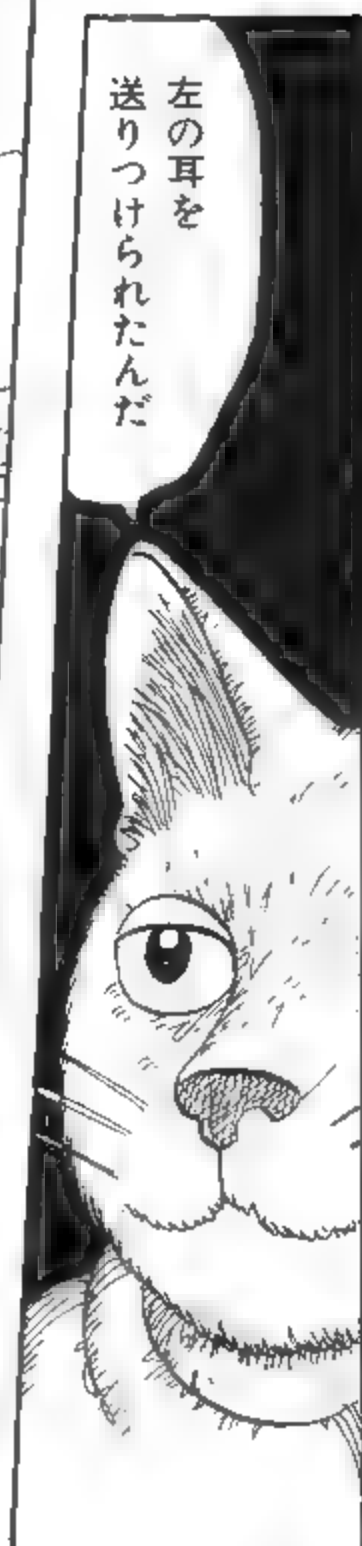
ふたりの友情が
破綻した時に

うーったしかに
ジブレッション氏も
いかり狂って
いたなあ…



自分の左耳を
切りとっている
んです









そんなにゴッホの絵って
高いのか



この島のお金になおすと
そのくらいにはなりますよ



たった1枚が
数10億銅貨



実際はもう
ねだんがつけられないん
じゃないかなあ



いろんな物を
運んでくるからねえ

潮の流れが
この島に



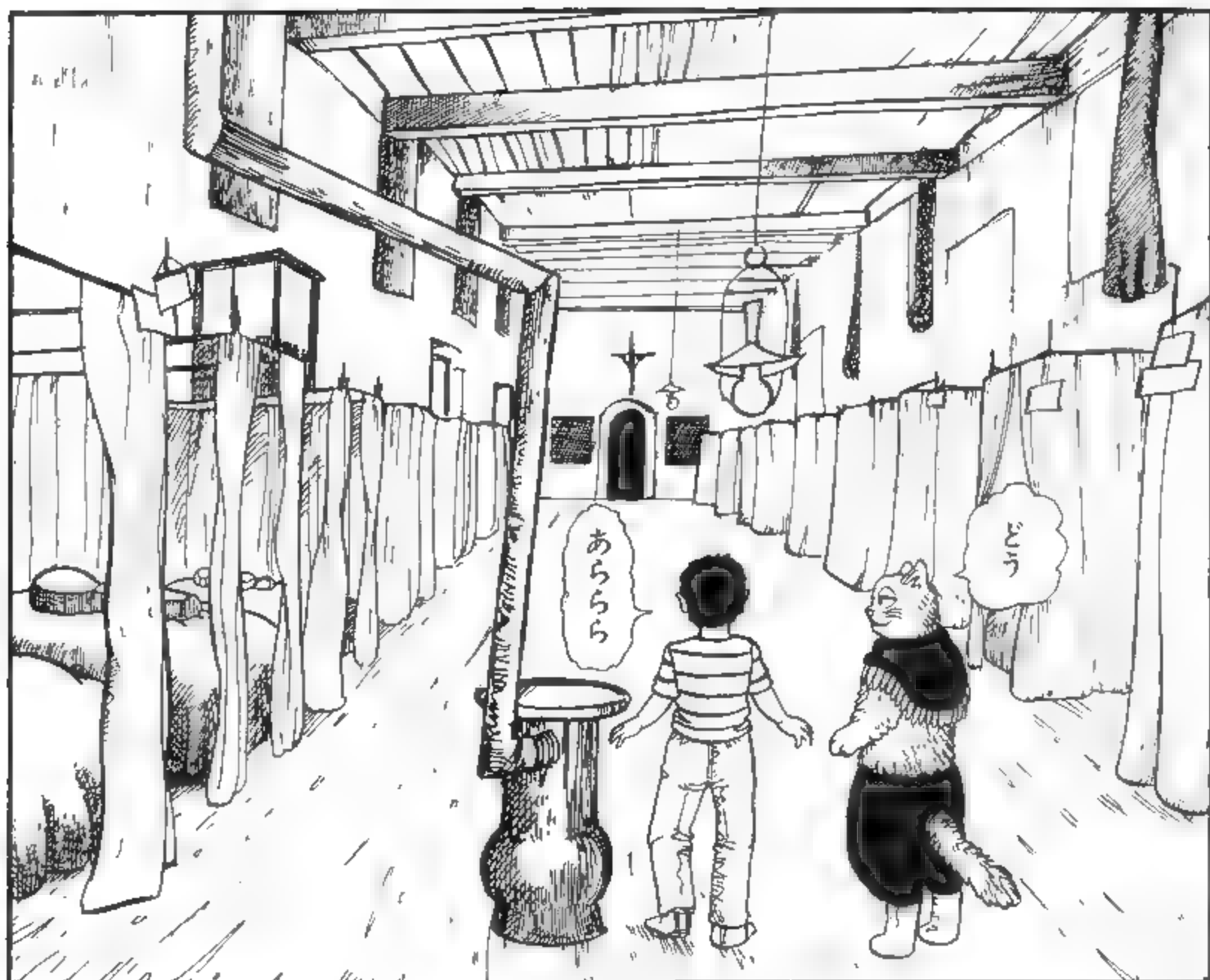
ここの漂流物の
展示法が

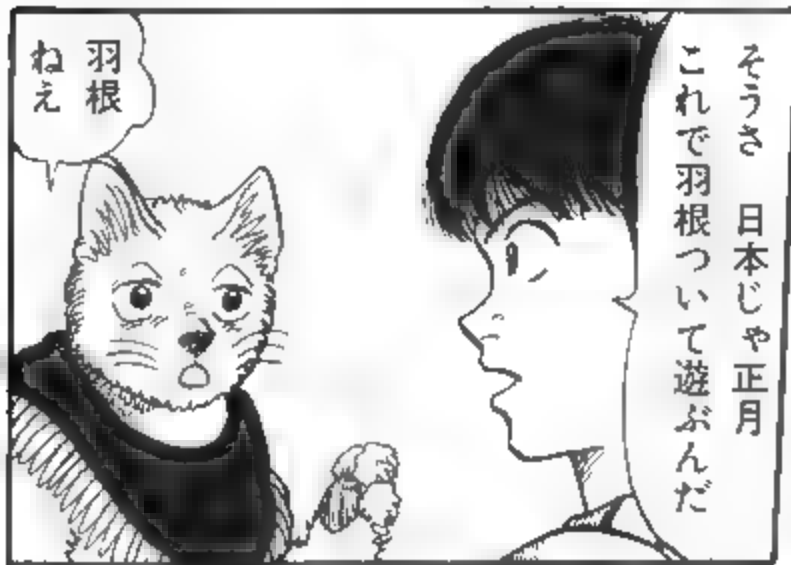
なかなか
しぶいんだよ



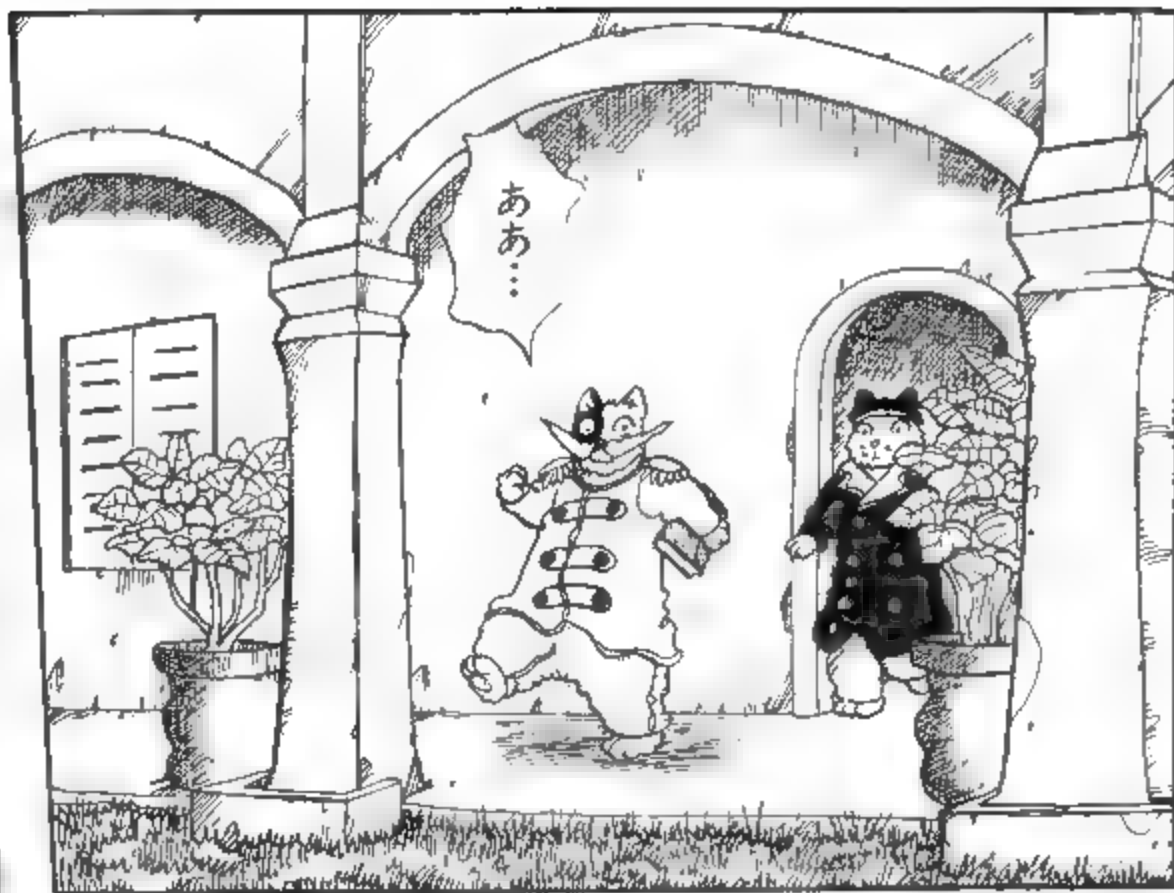
あれだよ

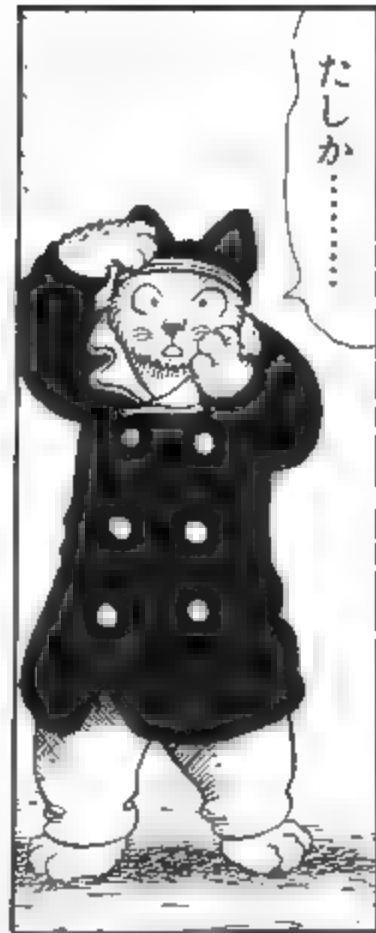
ずいぶん
大きいん
ですわえ

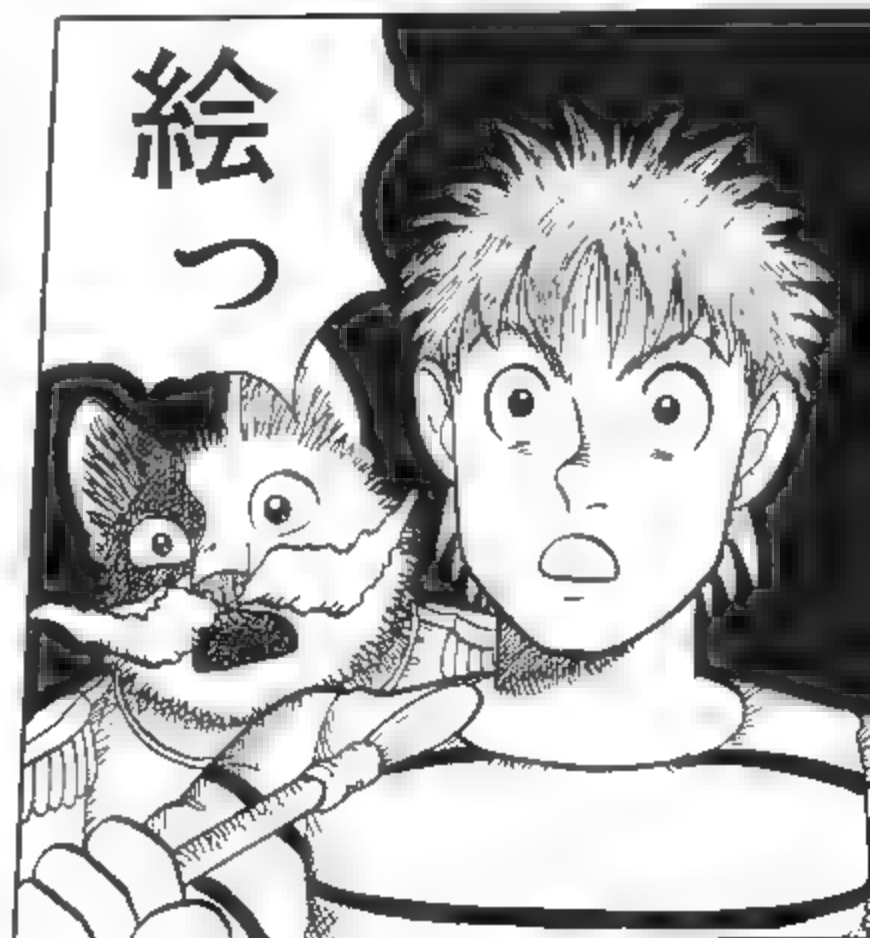


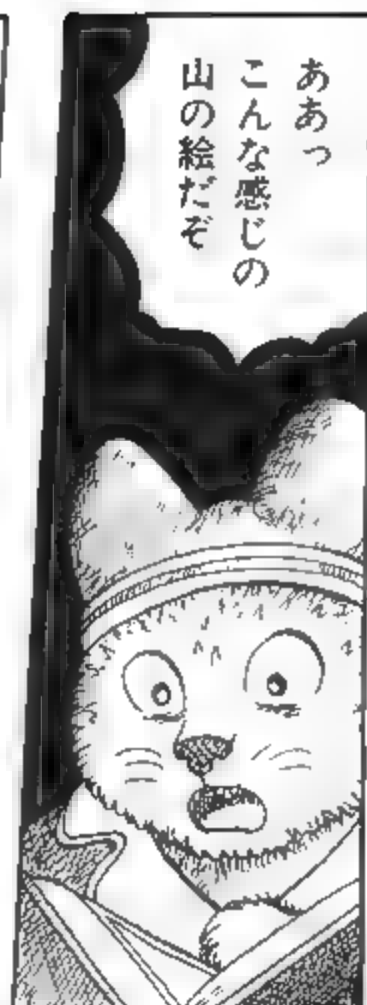










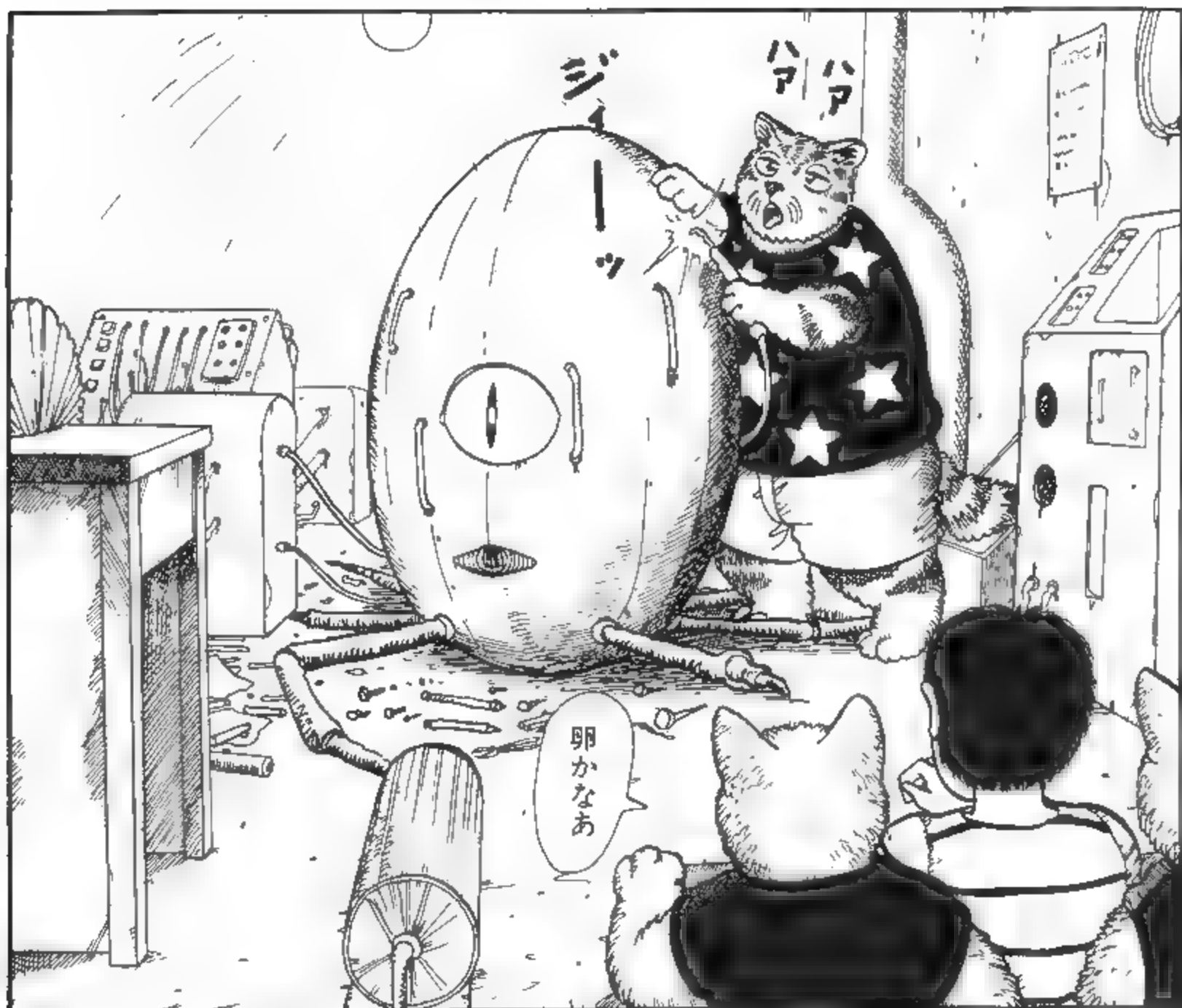


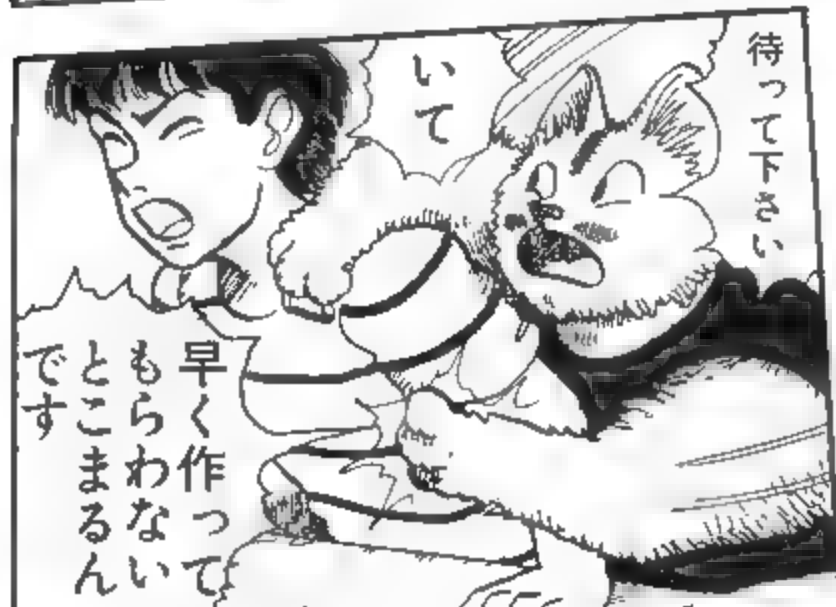
あまりに高価な
たき火だった



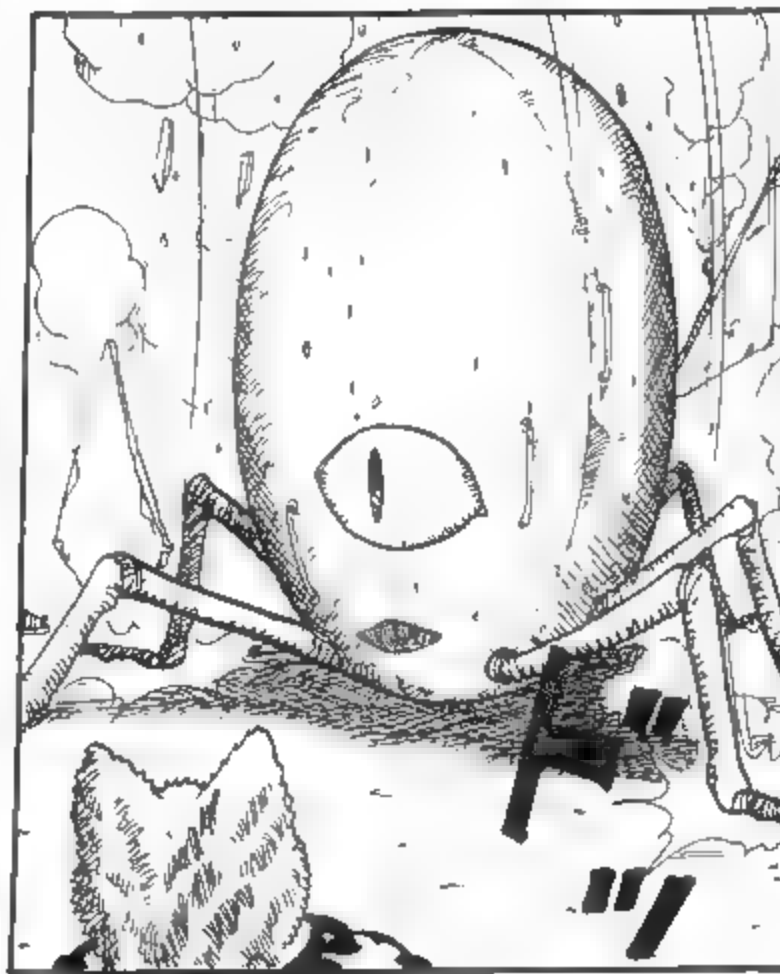
I'M THE EGG MAN

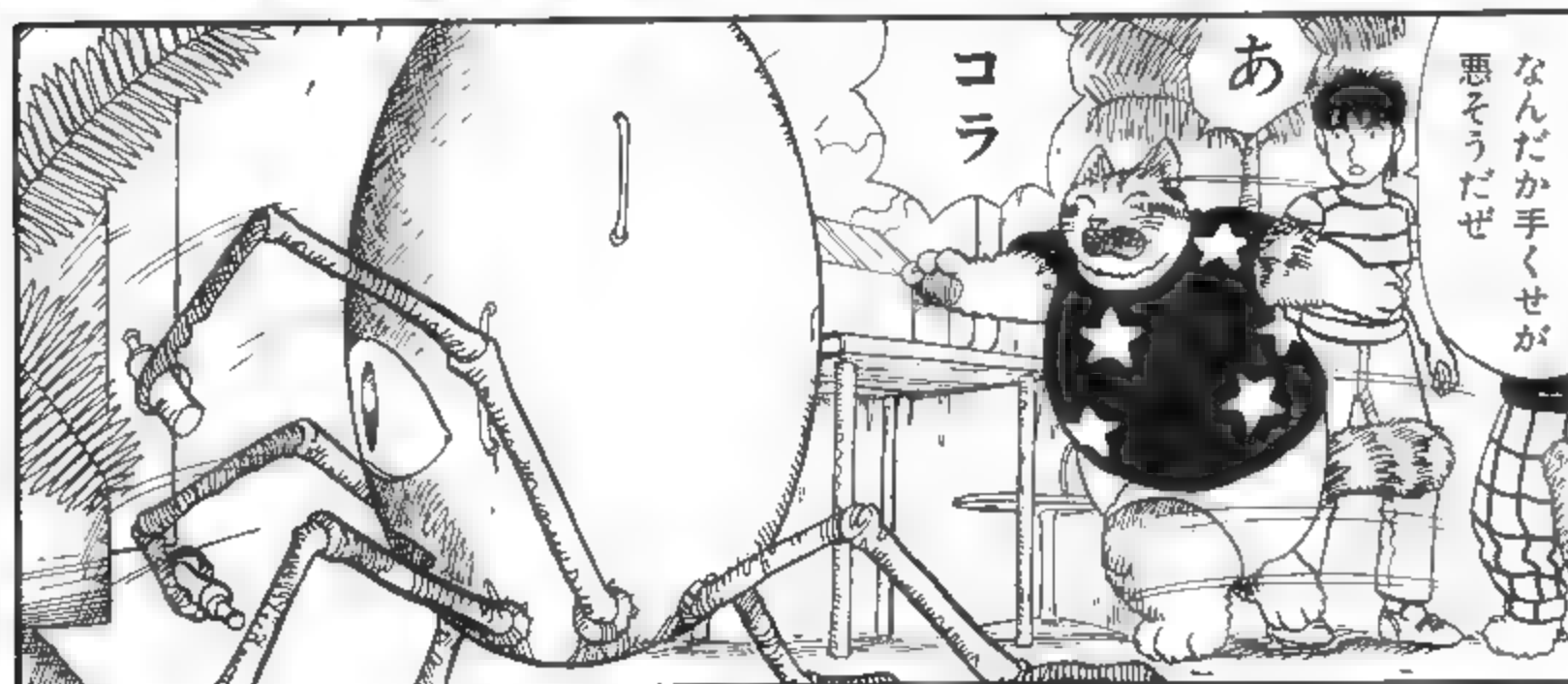
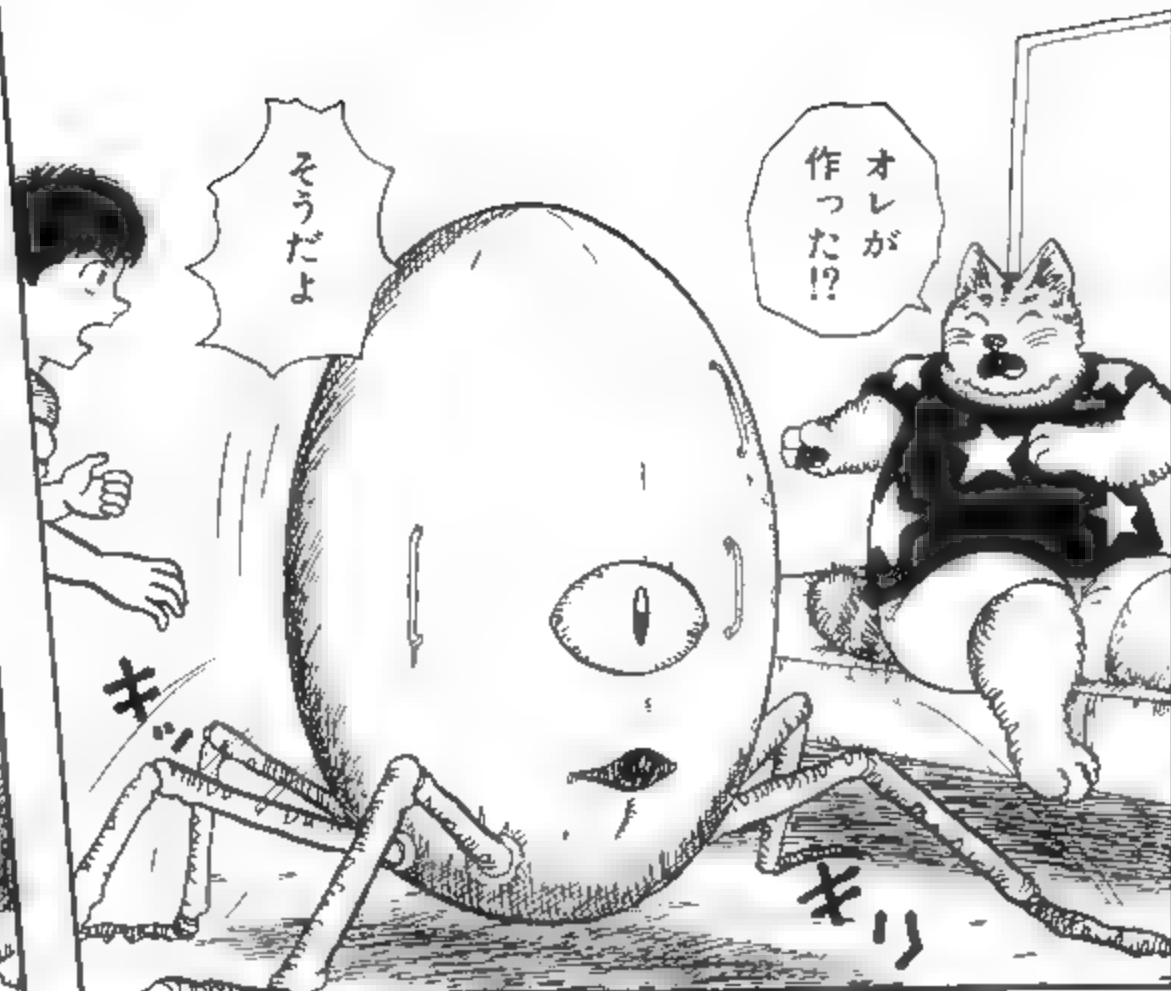


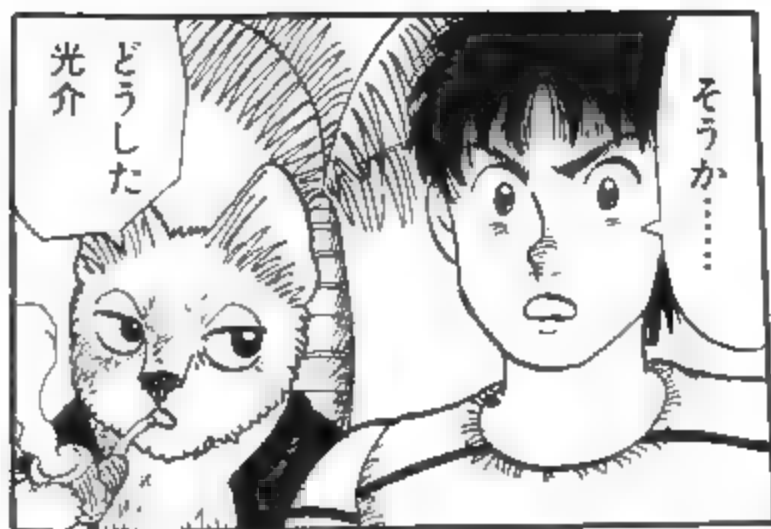


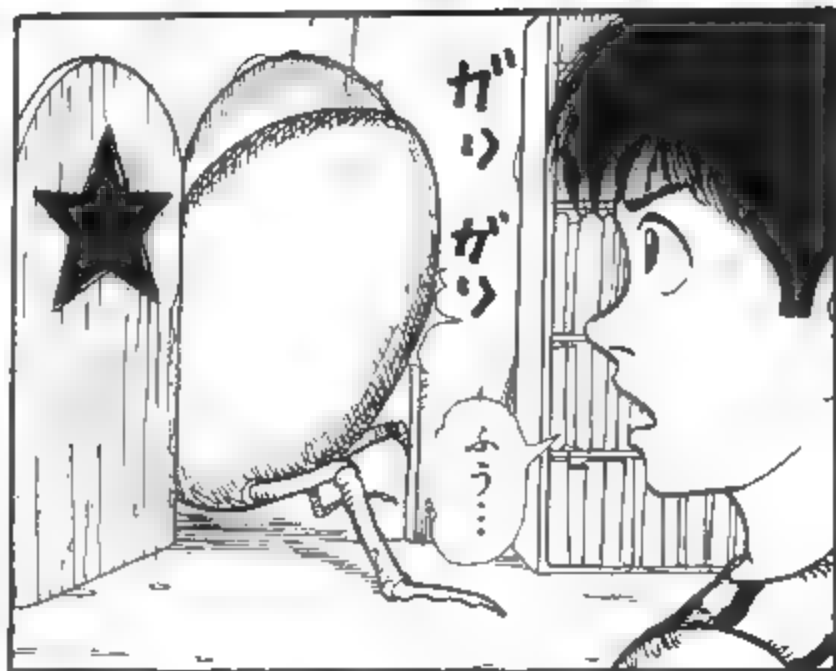










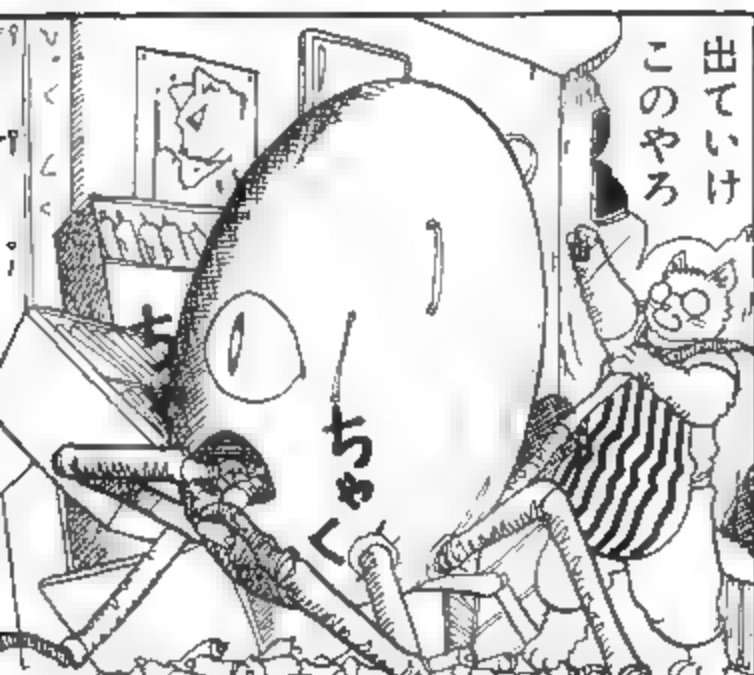
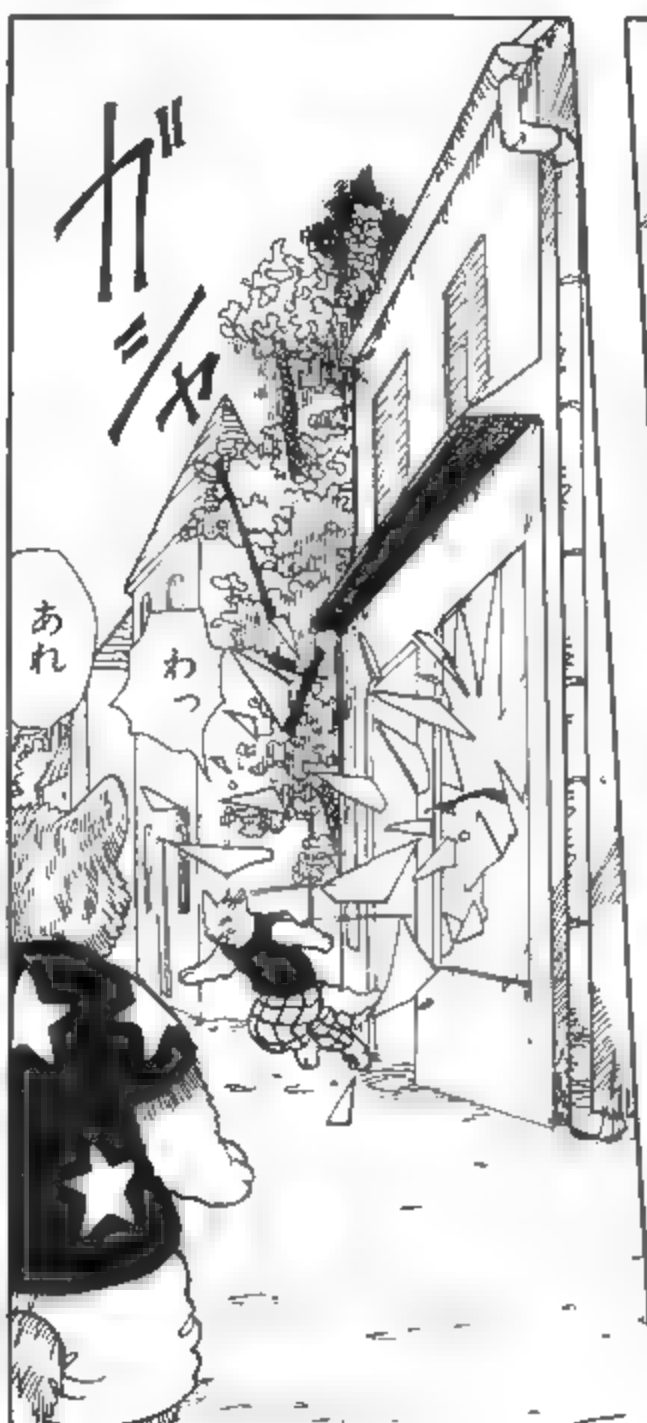


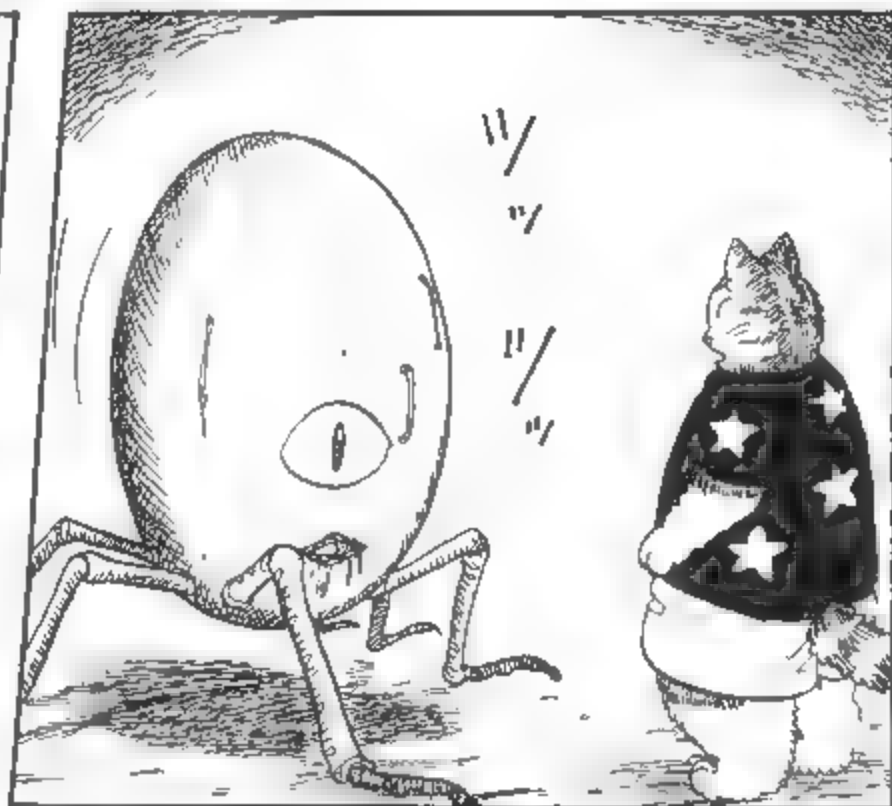
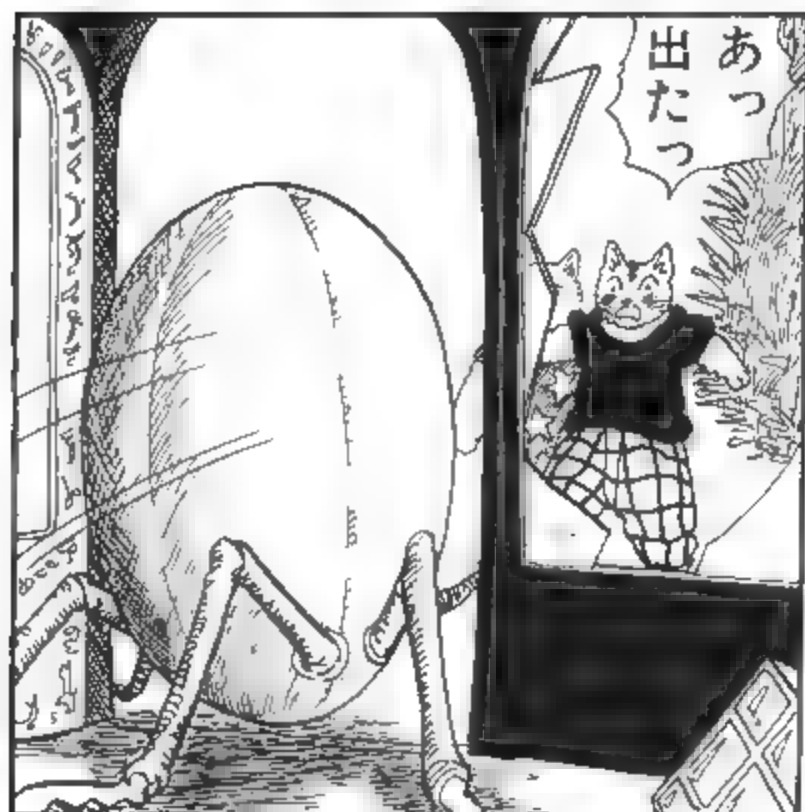






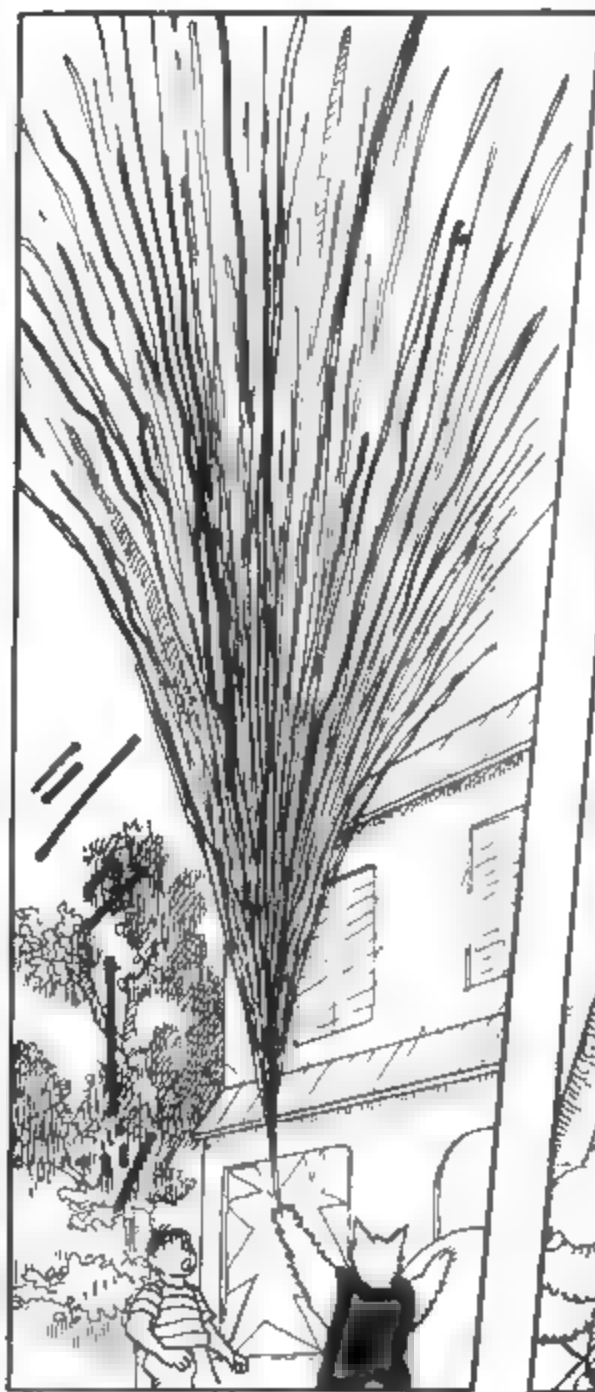


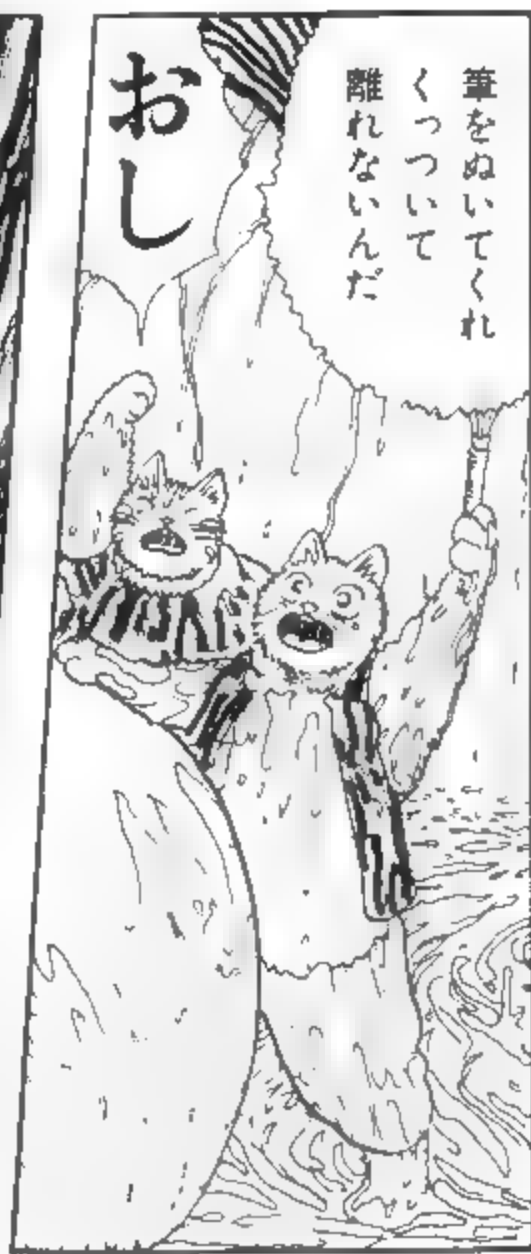
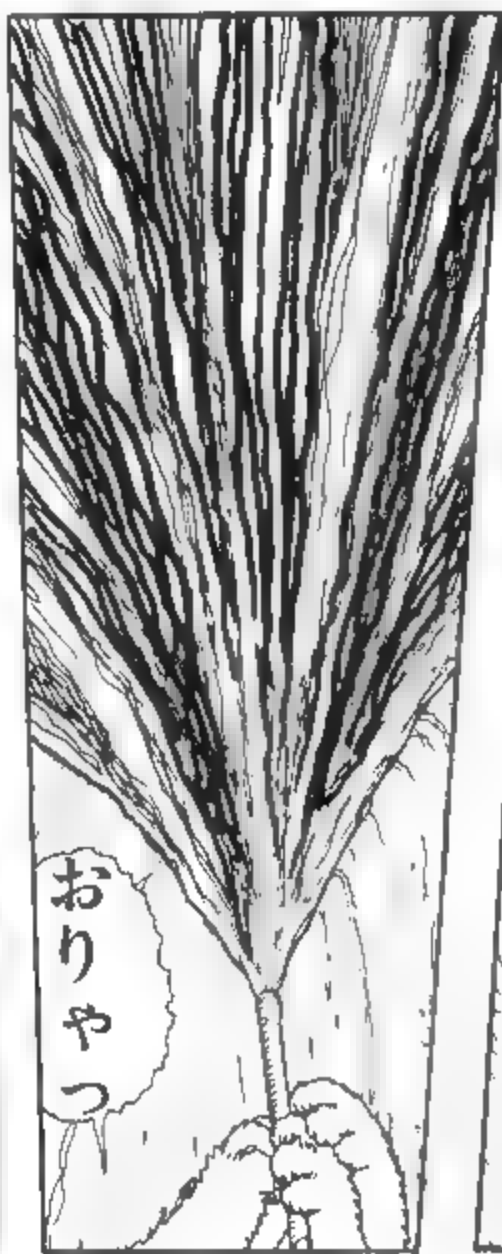






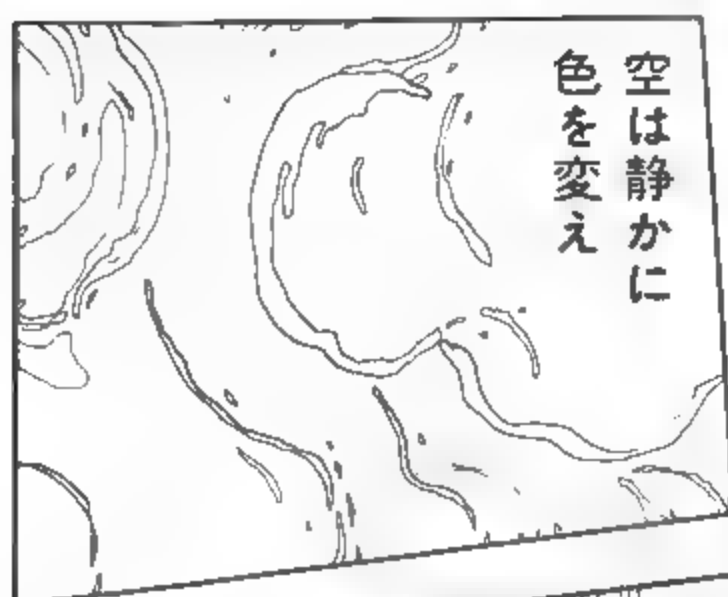








ゴッホの筆の中だ

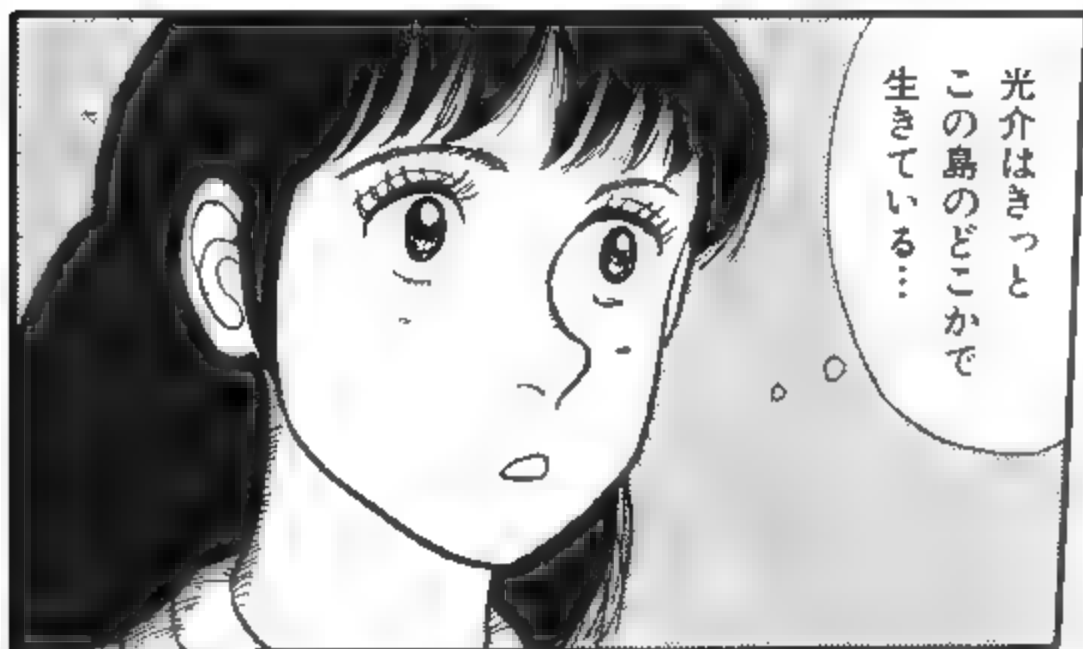


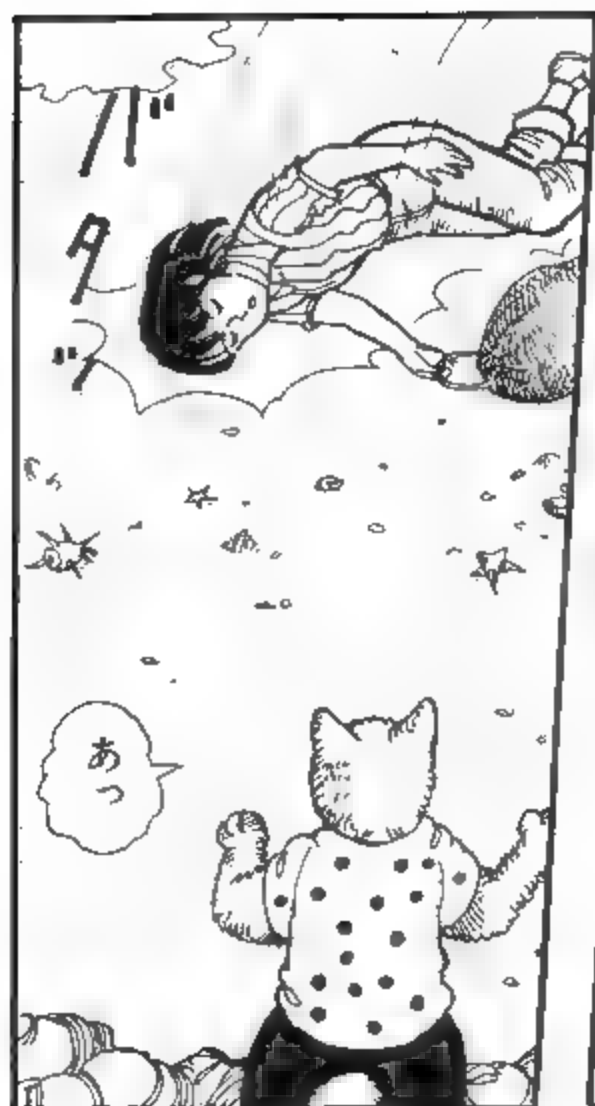
ゆらゆらと呼吸した



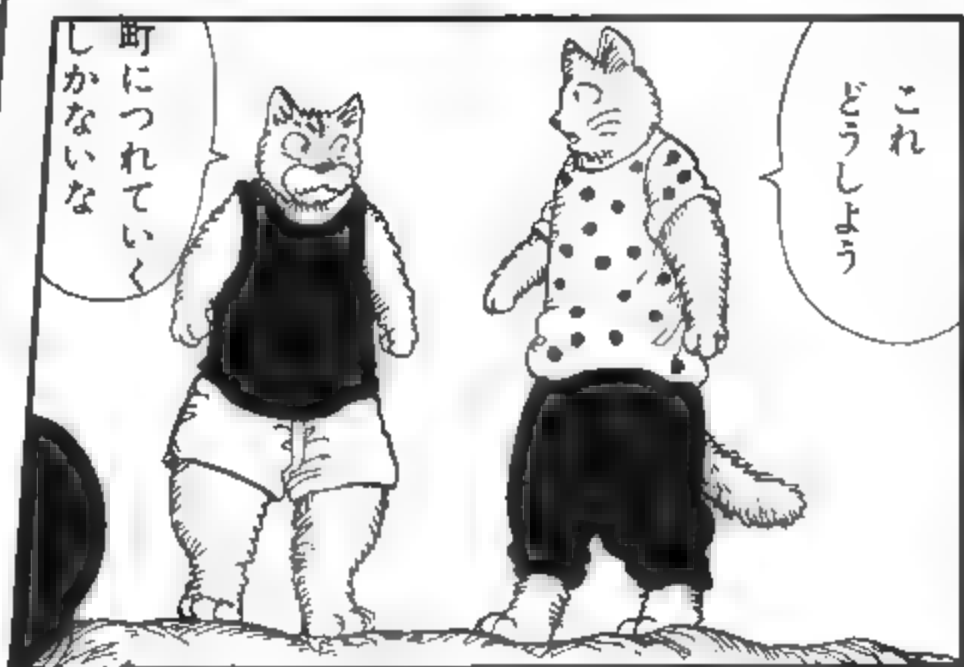
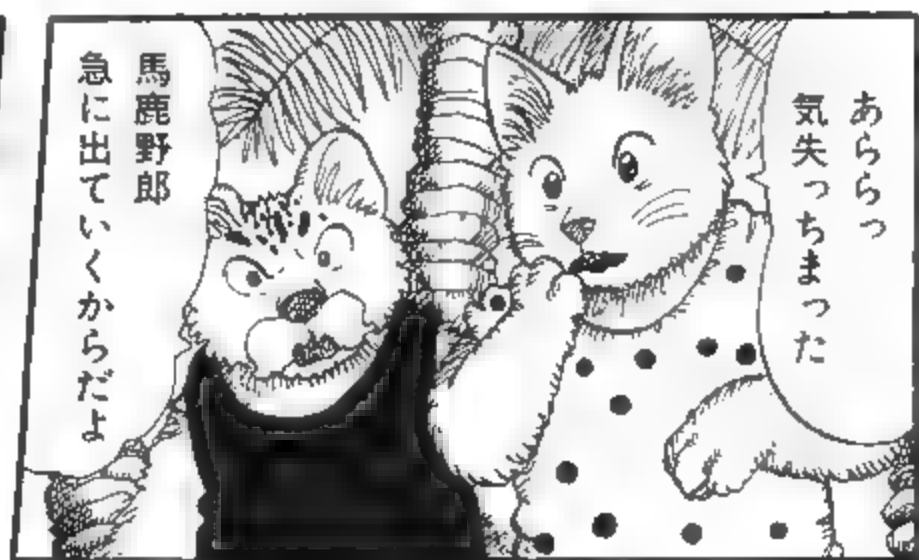
牛肉を買いに

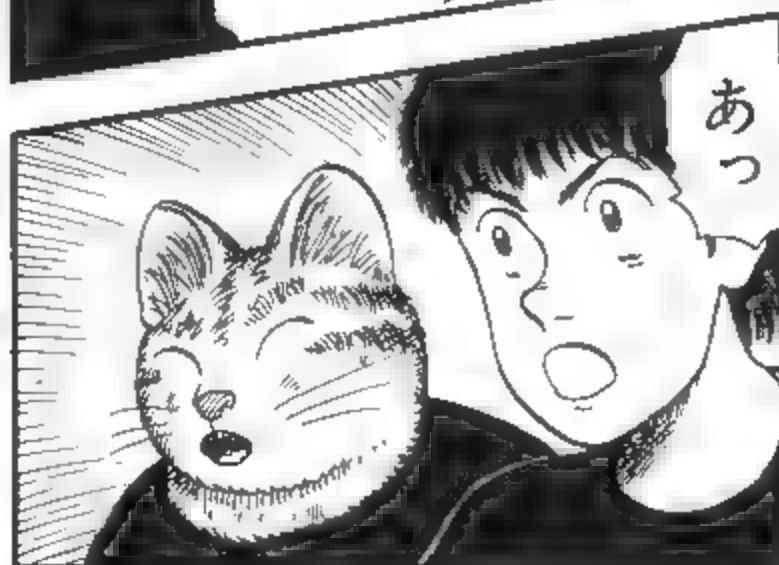
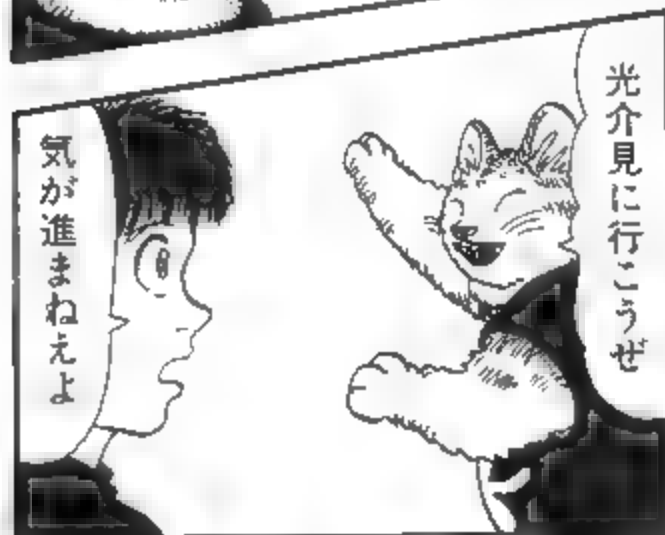






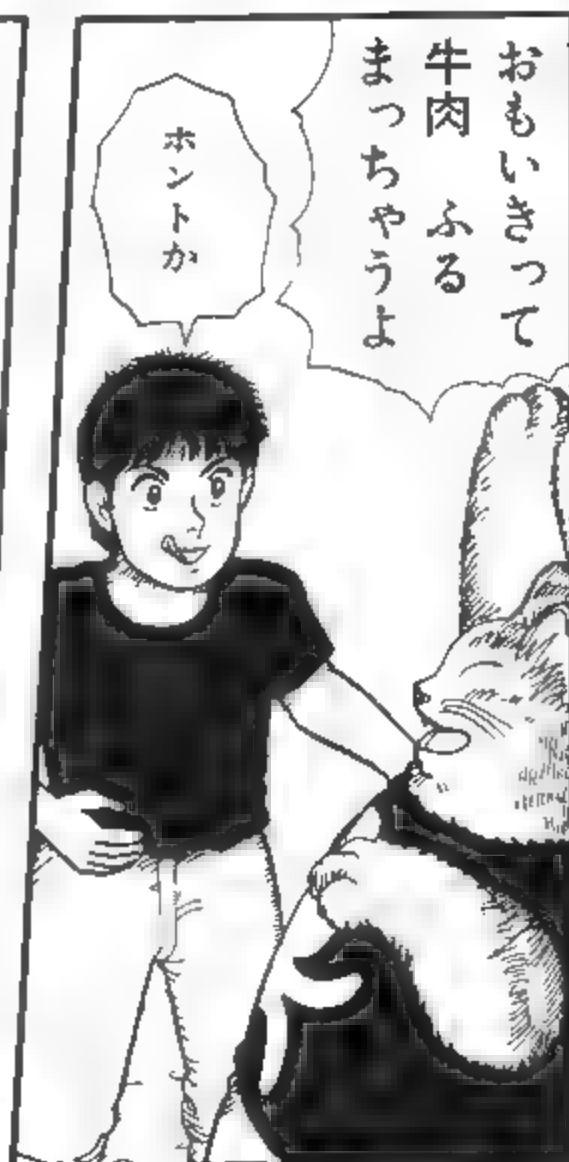
猫が…言葉…



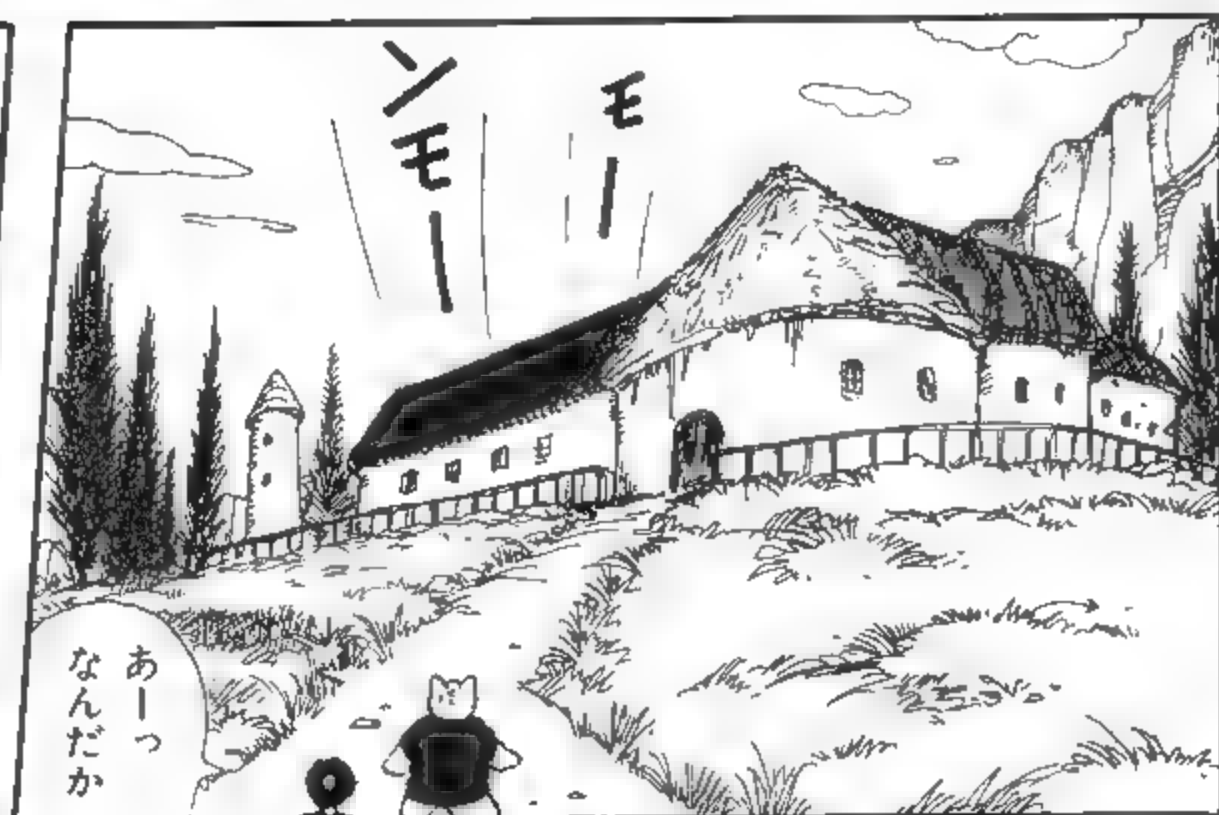
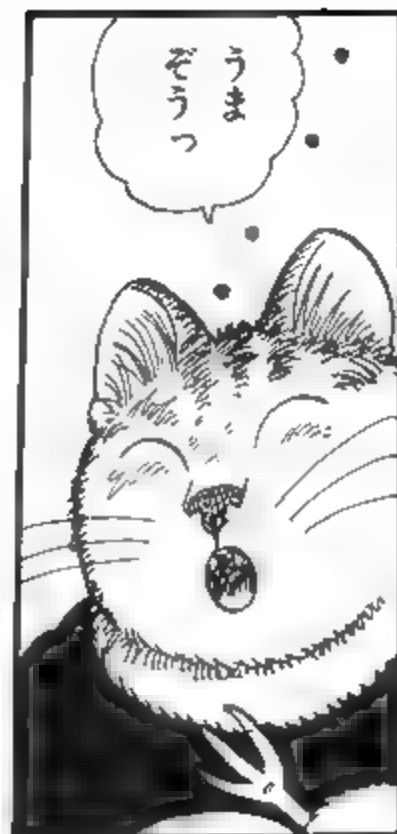














牛肉を
3キロくれ



元気かーっ
ガウガウおやじ

おう文太
めずらしいな



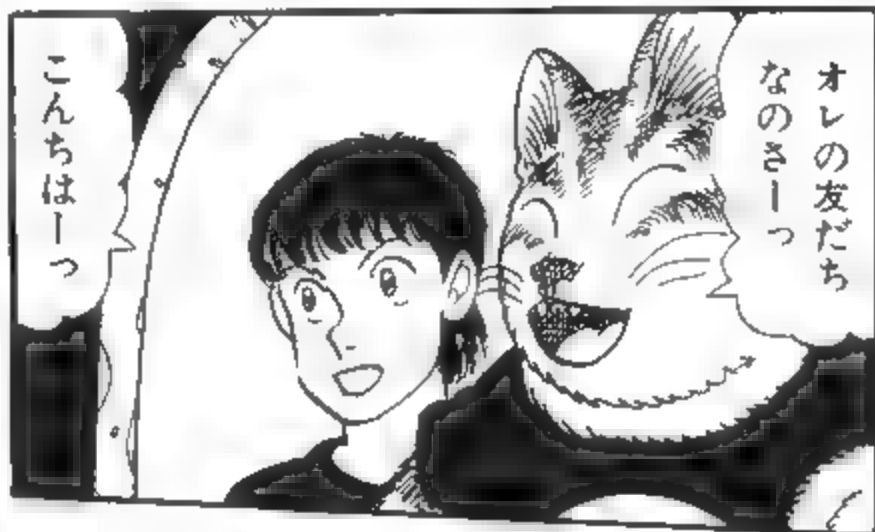
すいぶん
はりこんだな

おや..
そちらさんは



3キロただに
するから

やる



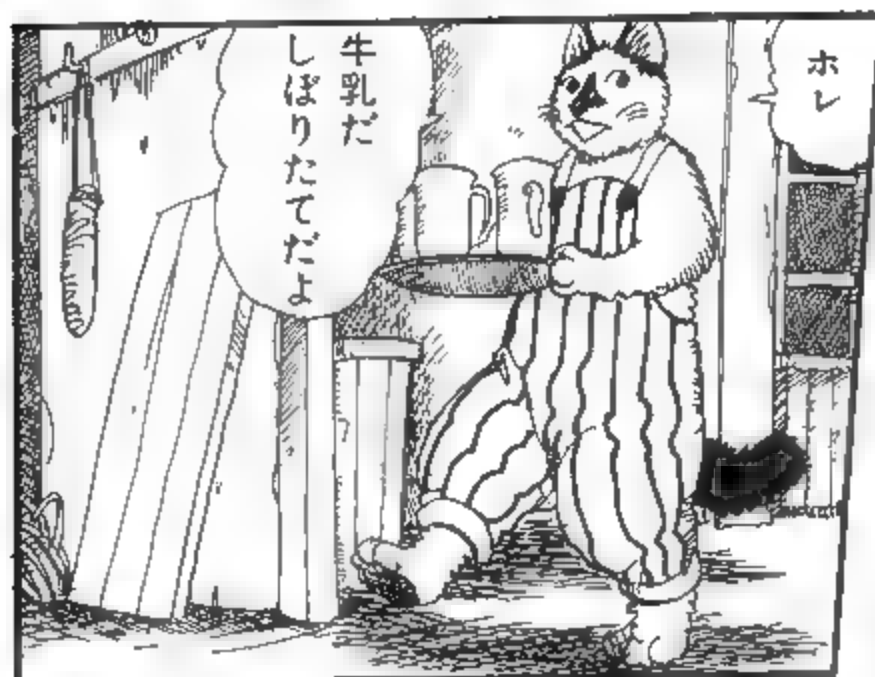
オレの友だち
なのさーっ

こんちはーっ

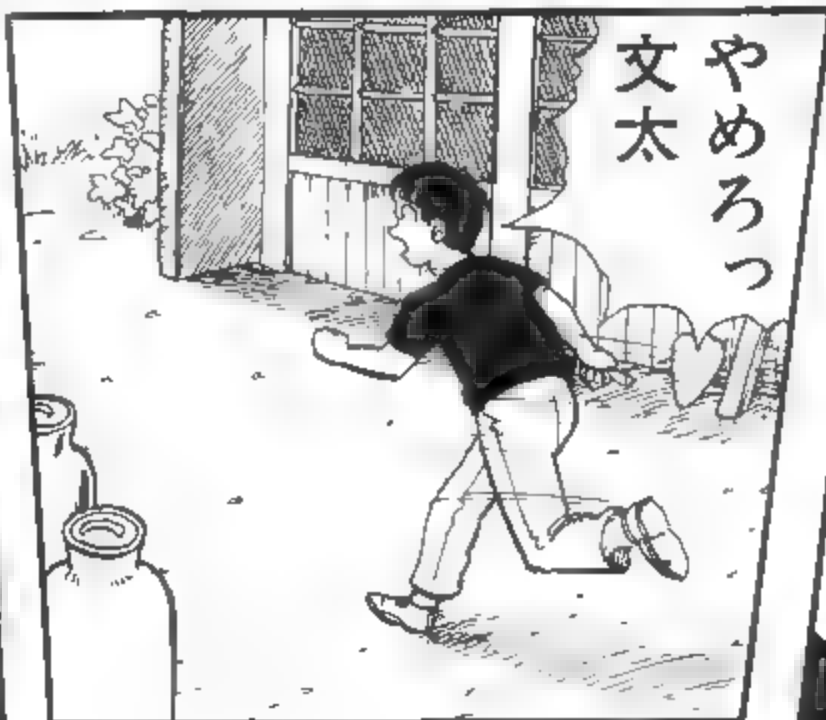


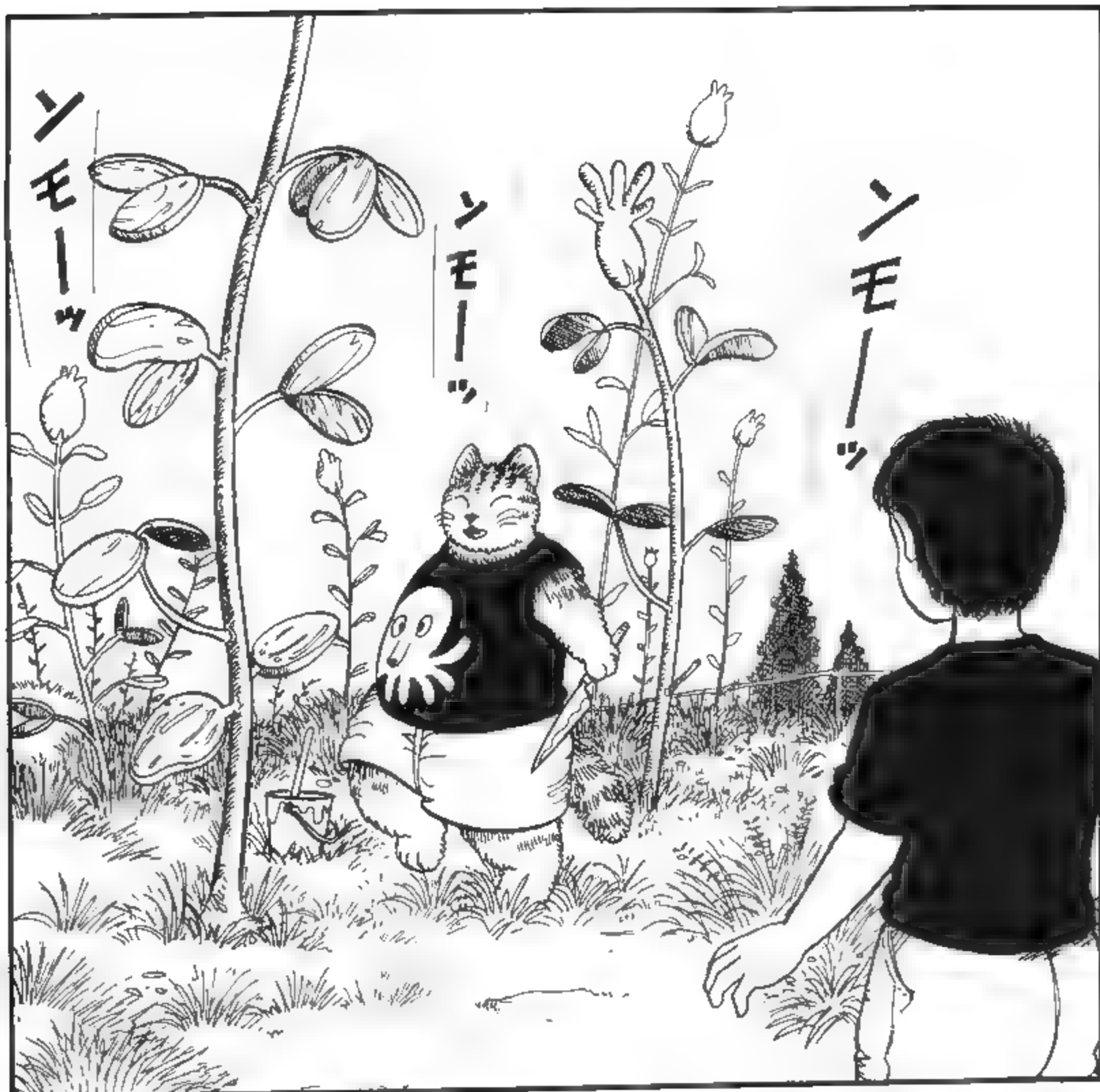
よっ..

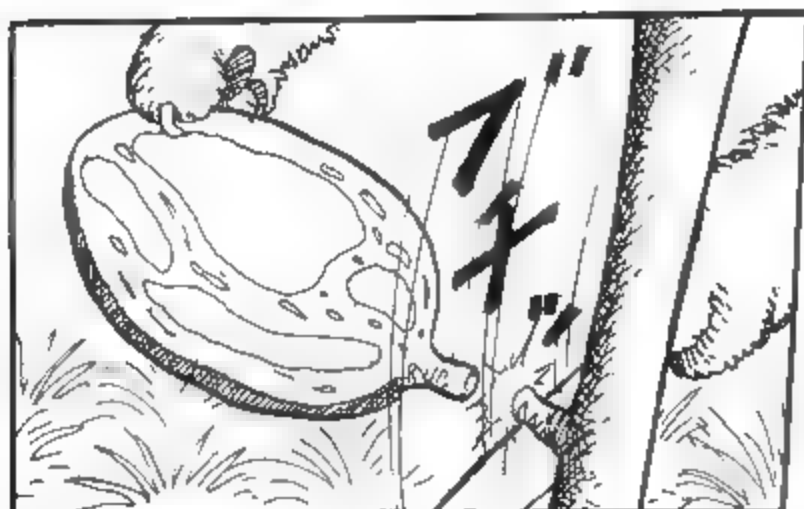
きのうから おっ母が
寝こんでいるで
ちよっくら
手伝ってくんねえか

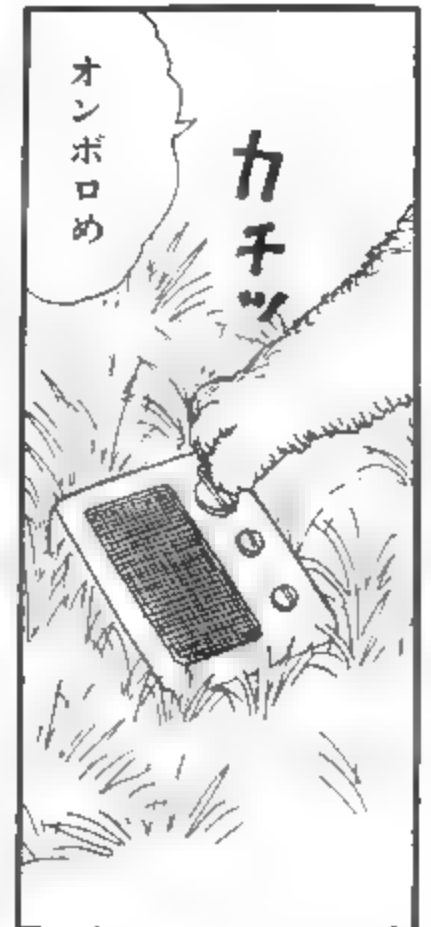


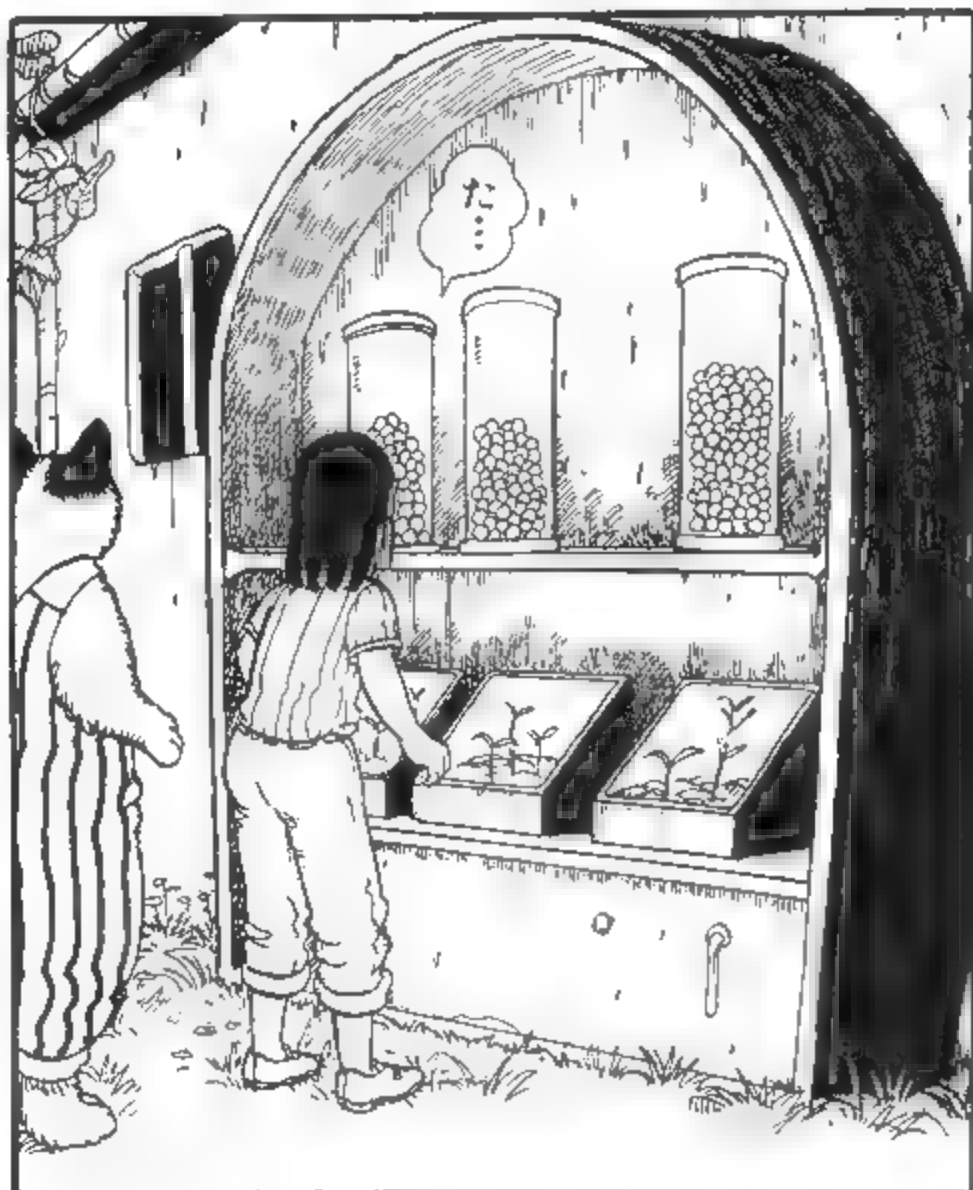


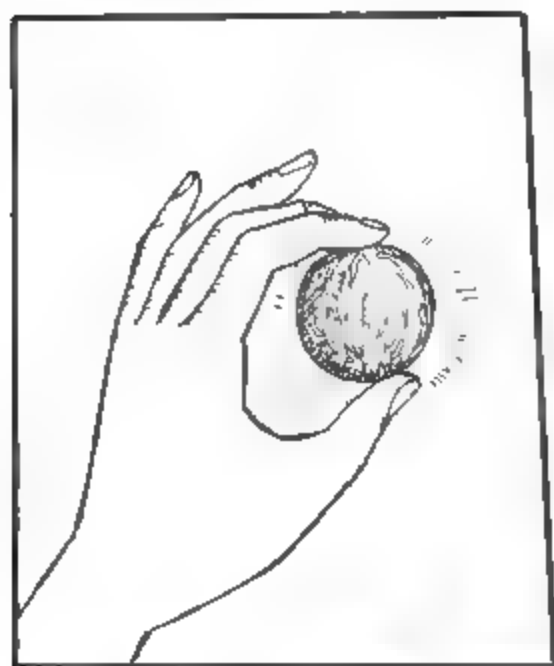


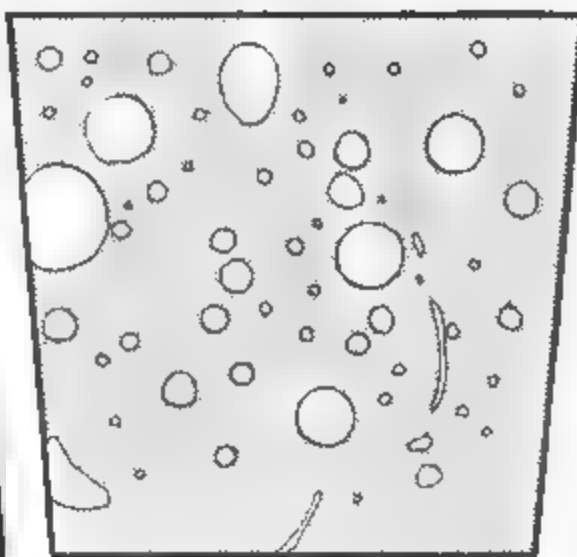
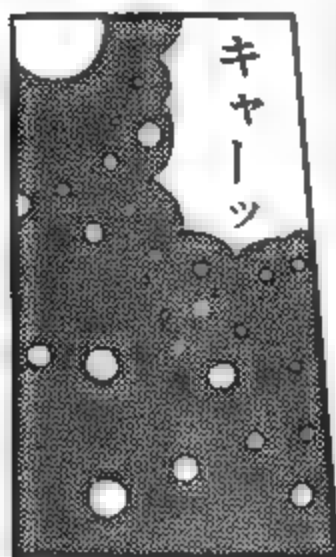










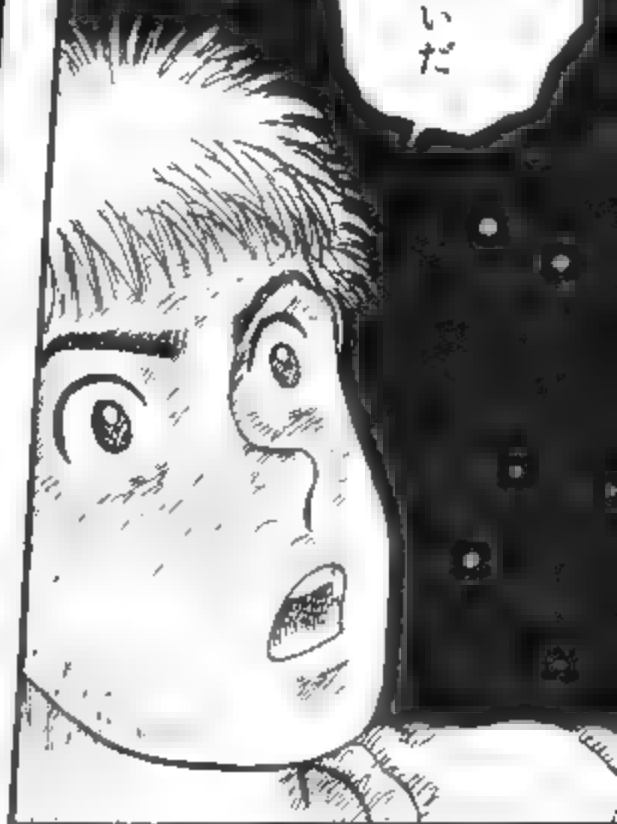


ねえちゃん
だいじょうぶか

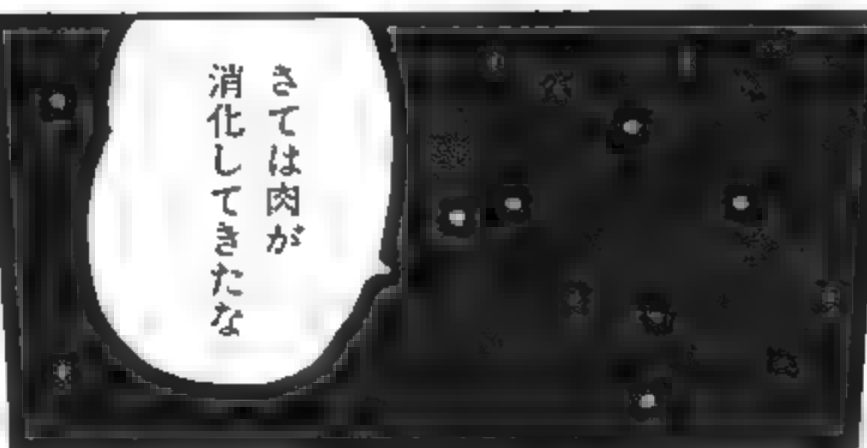


おい光介
どうしたんだ

星だ……
星でいっぱいだ



さては肉が
消化してきたな

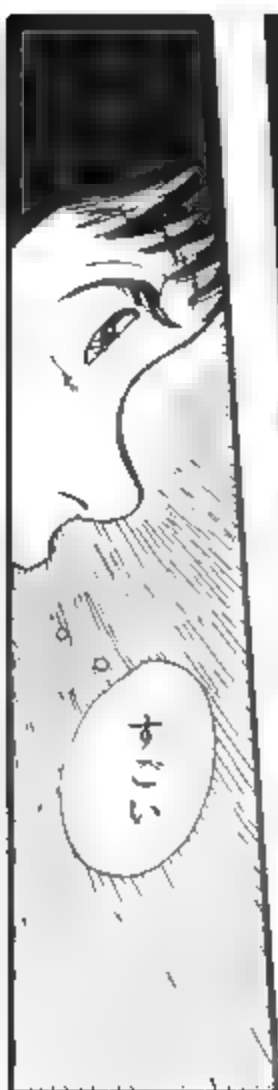


肉

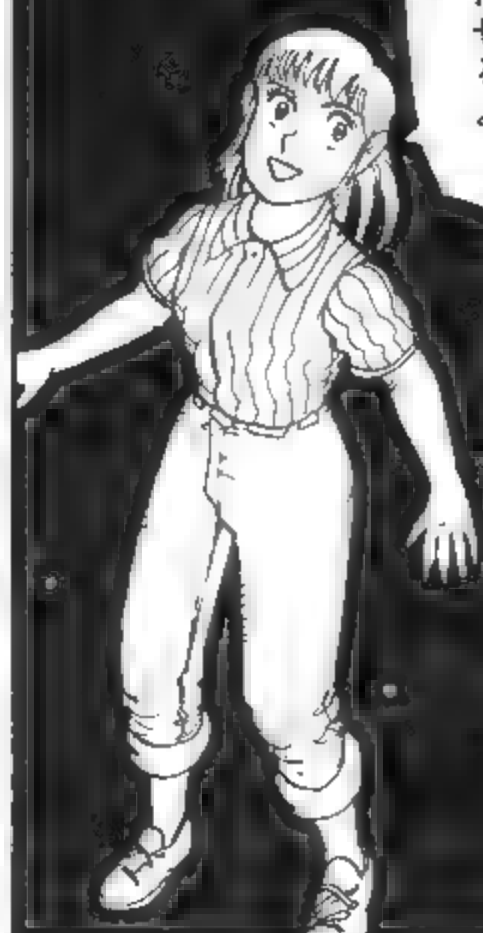
ああ……
あれを食うと
これが楽しみ
なんだよなあ



すごい



全天が
見わたせるよ



南十字星も…
石炭袋も



だけど……あの肉食って
どうして星が
見えるんだろう



人間だけが
星空をながめているんじゃないんだよ



えっ……



……

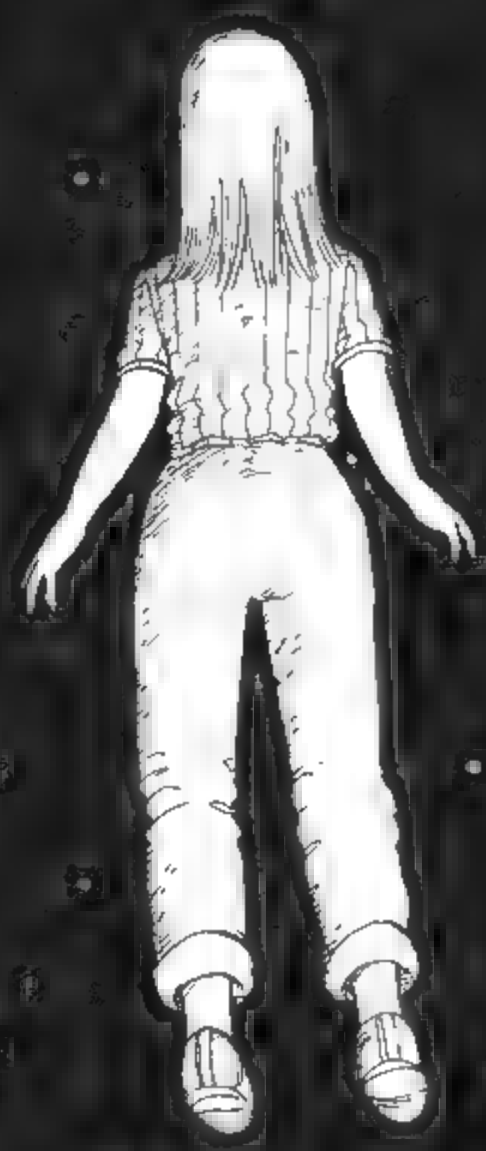


そうか……

これ……
さっき食べた
あの肉の



葉の中から見た銀河だね…



硫黄谷の種



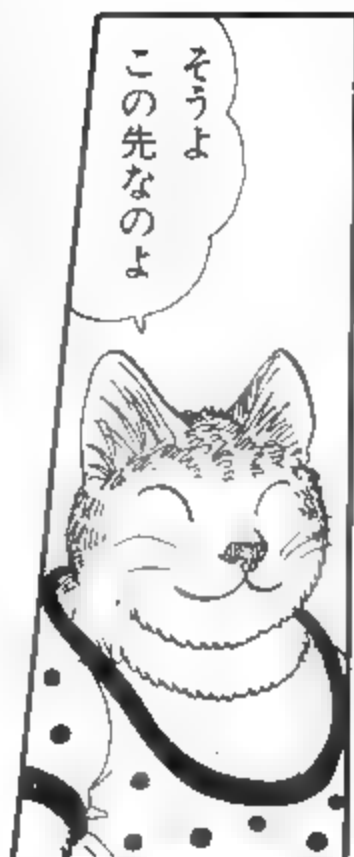








なんだか
ワクワクするなあ



そうよ
この先なのよ



光ちゃんて
純粹なのねえ

うぬ
くっ

ねえ
文太
くん

種屋は
この近く?



この島の
植物の種は
宝石よりも
すばらしいんだもん



種 買いに
行くのかい?

だって

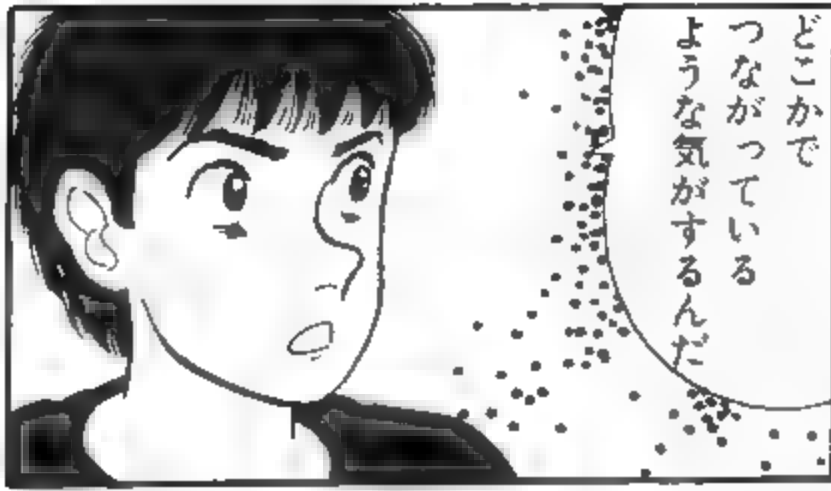


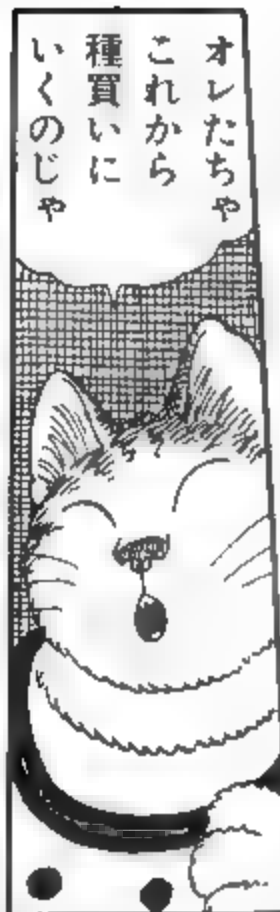
でも...

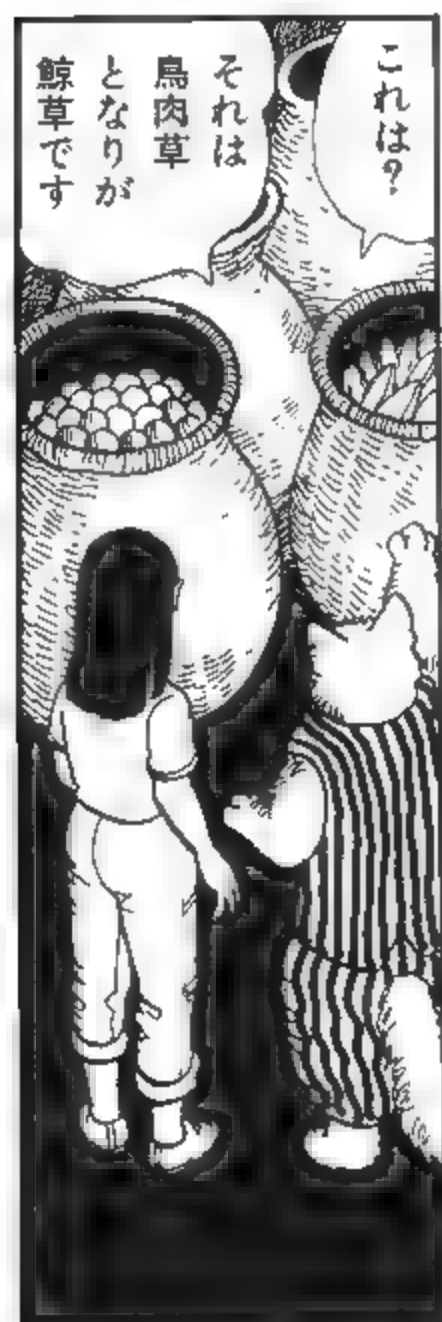
昔ここで
やった核実験が
植物に何か
影響をあたえたのかな

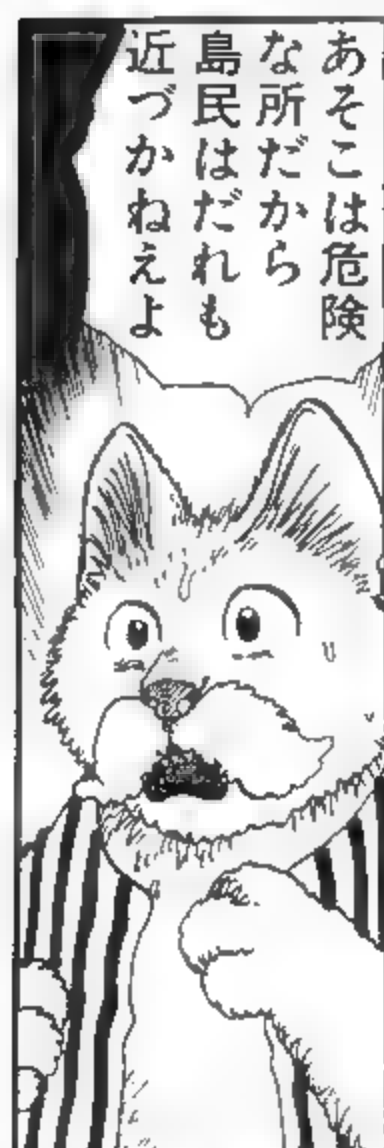


ウーム...たしかに...
植物細胞の実験も
やっていたらしいけど
.....

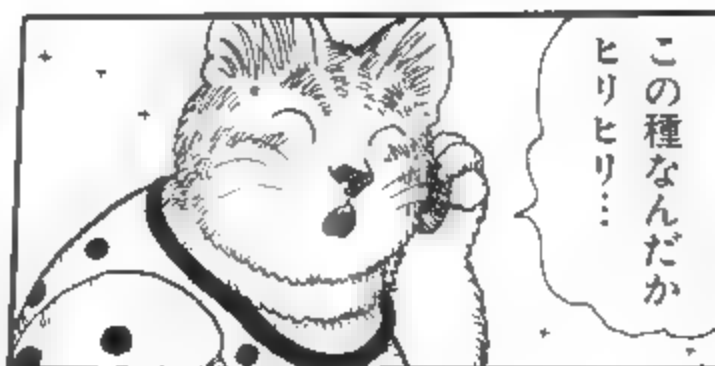




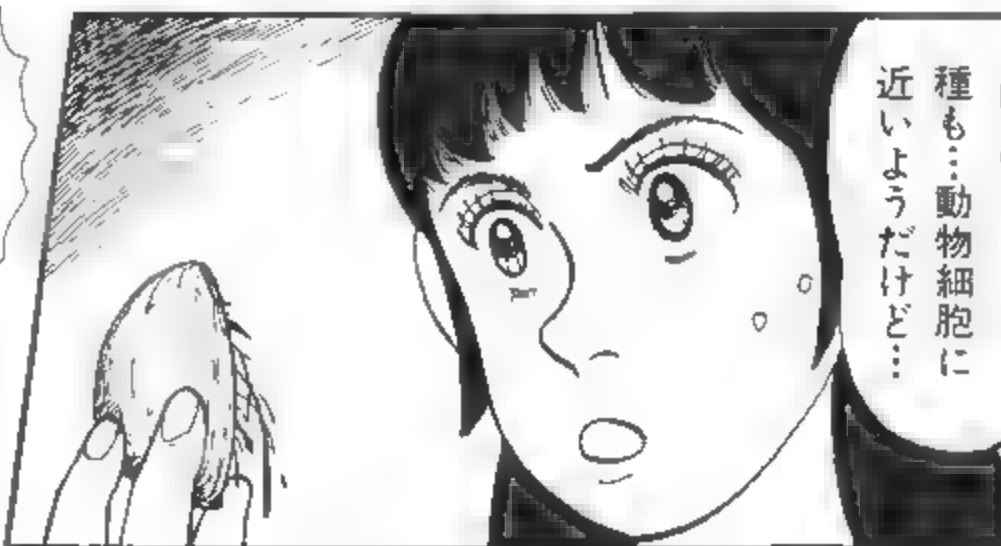
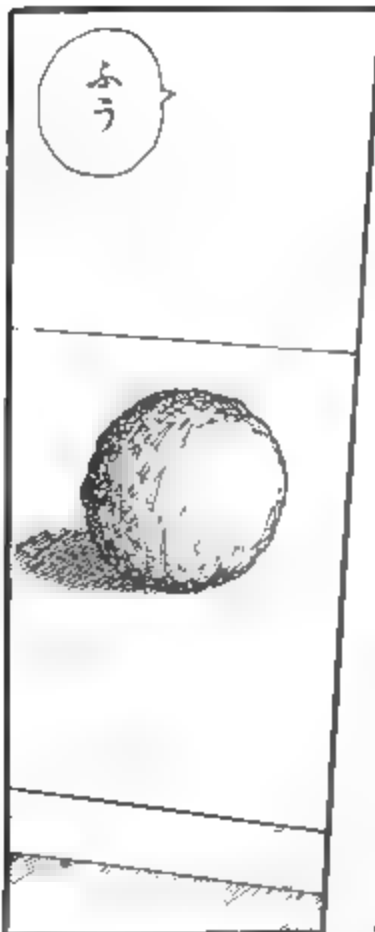


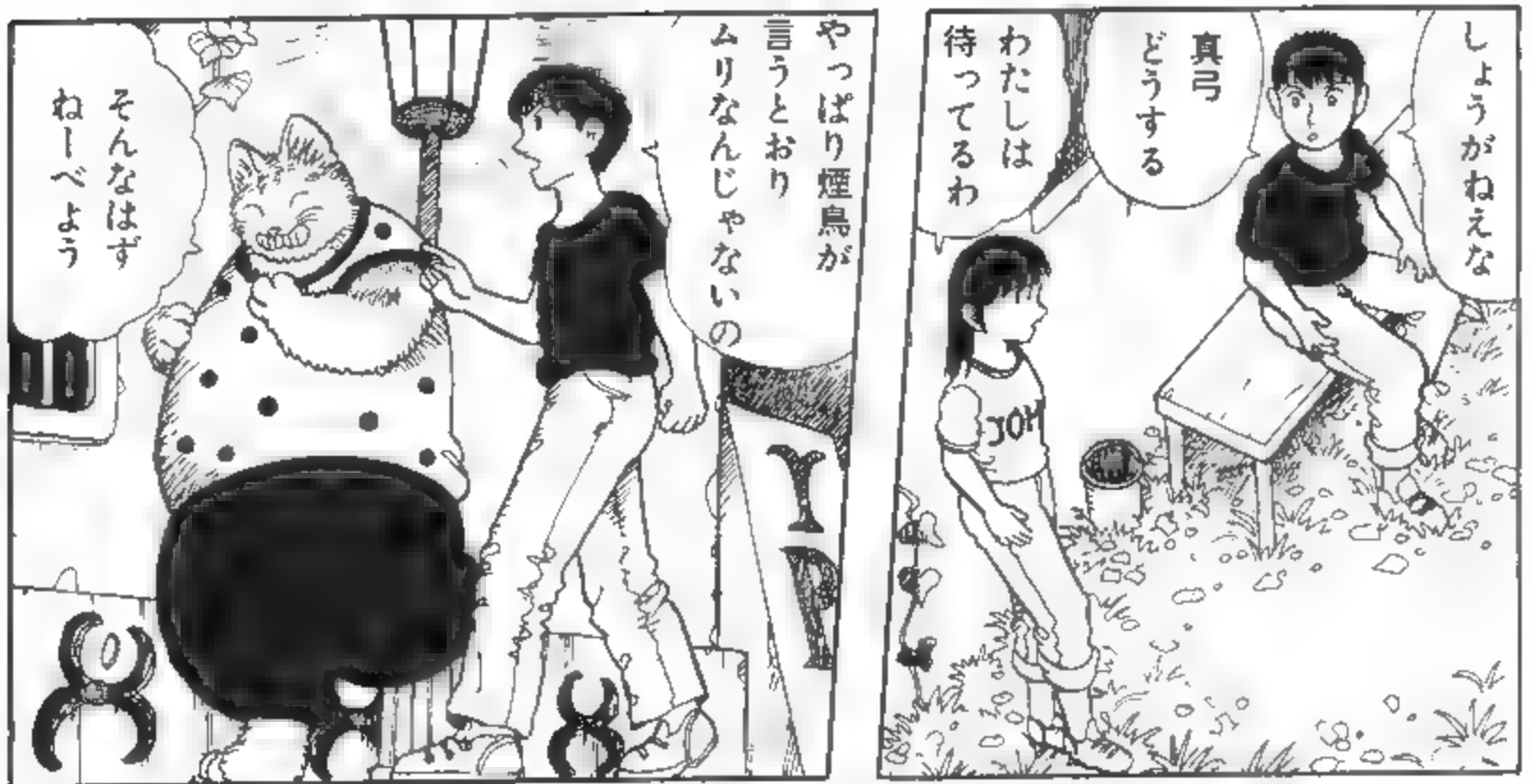


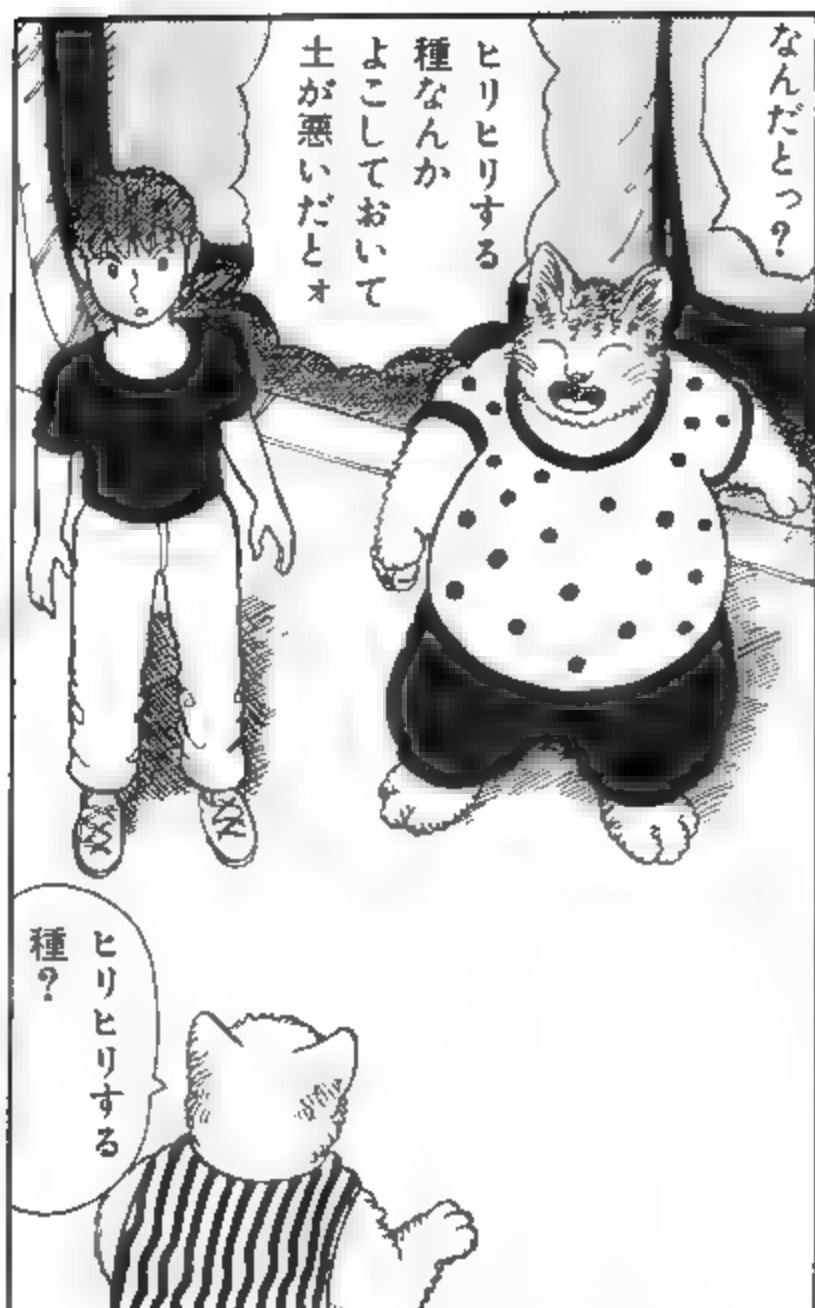




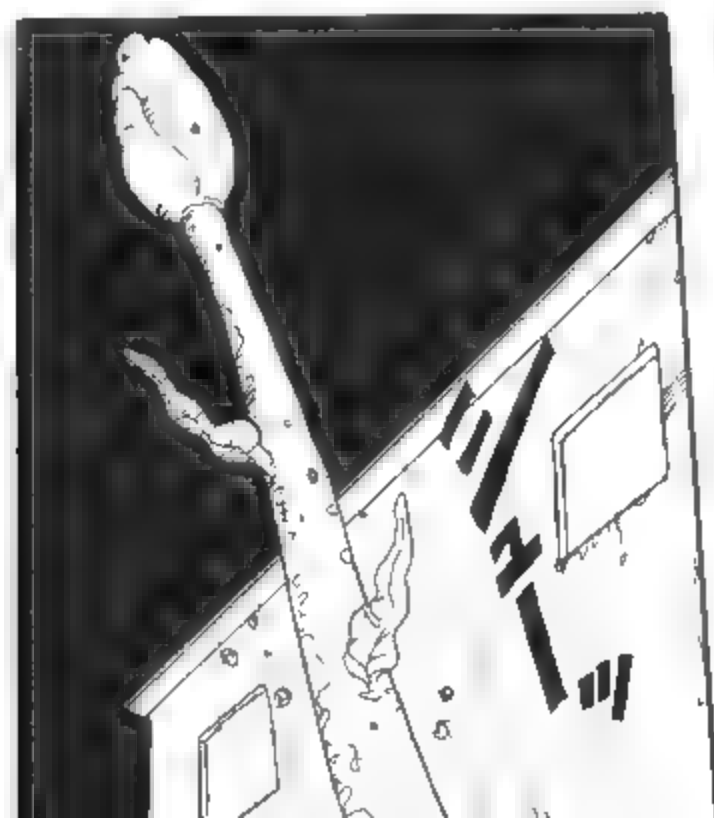


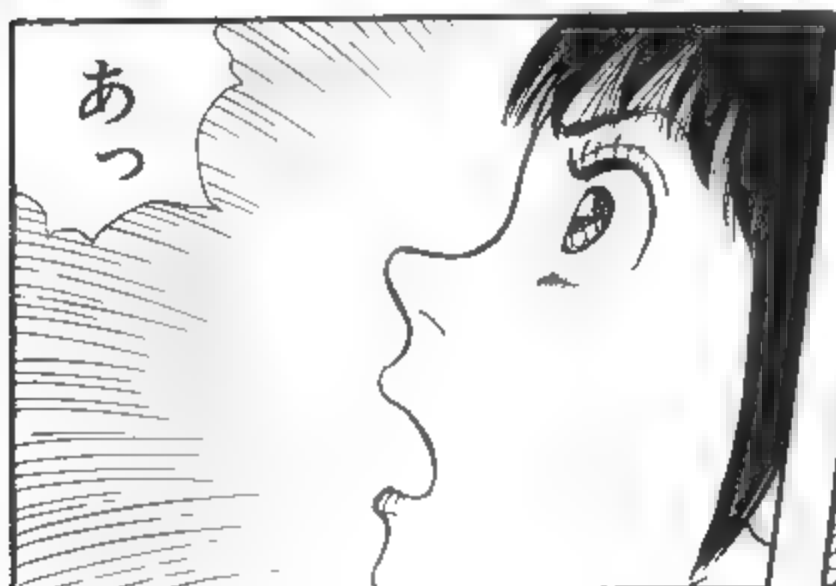
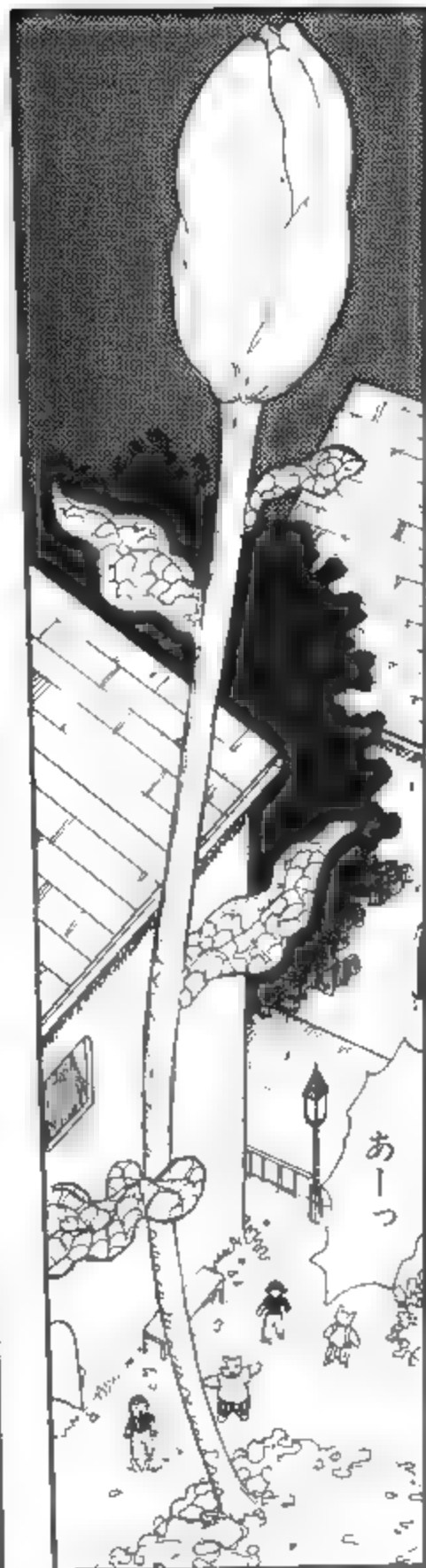


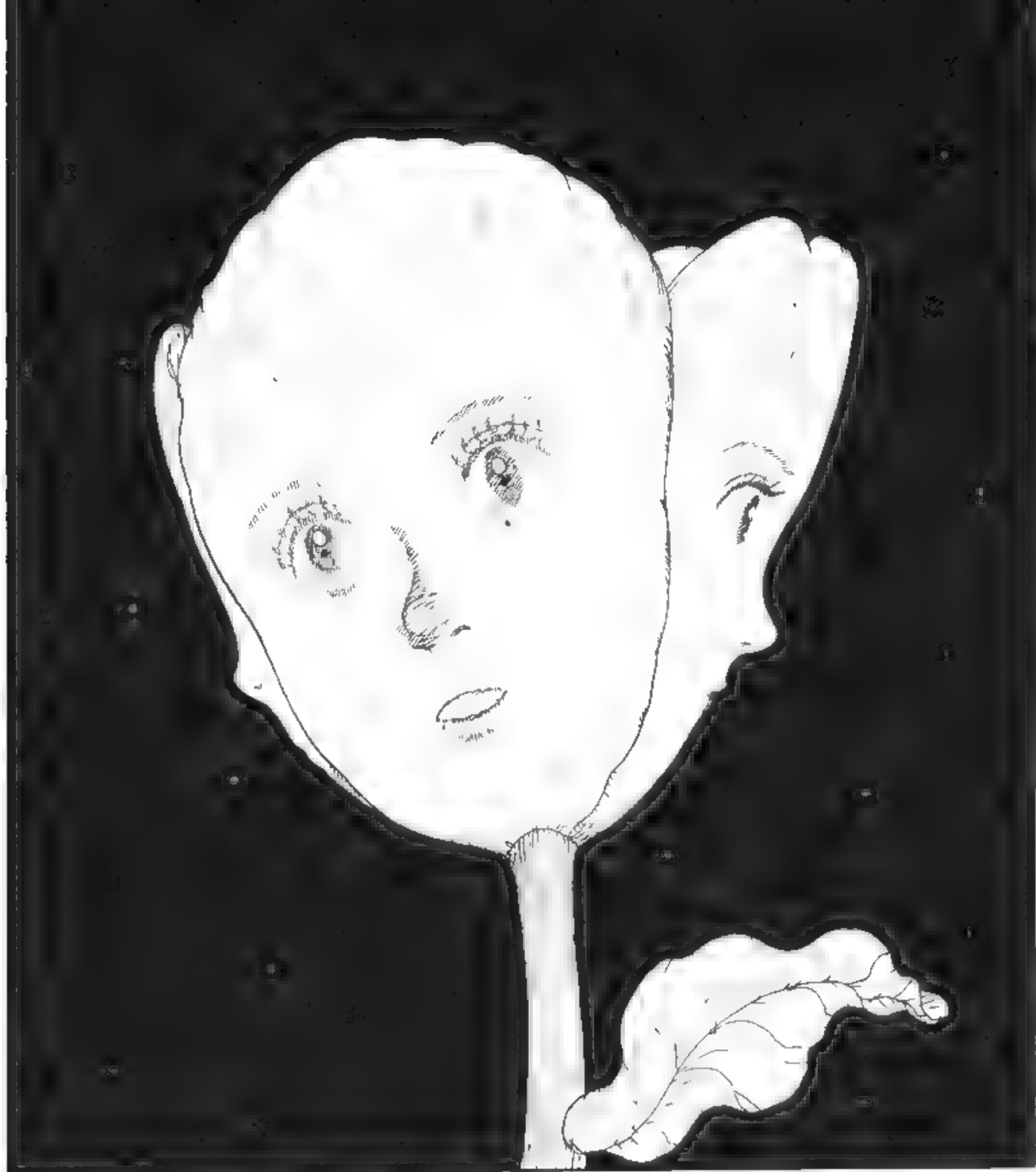






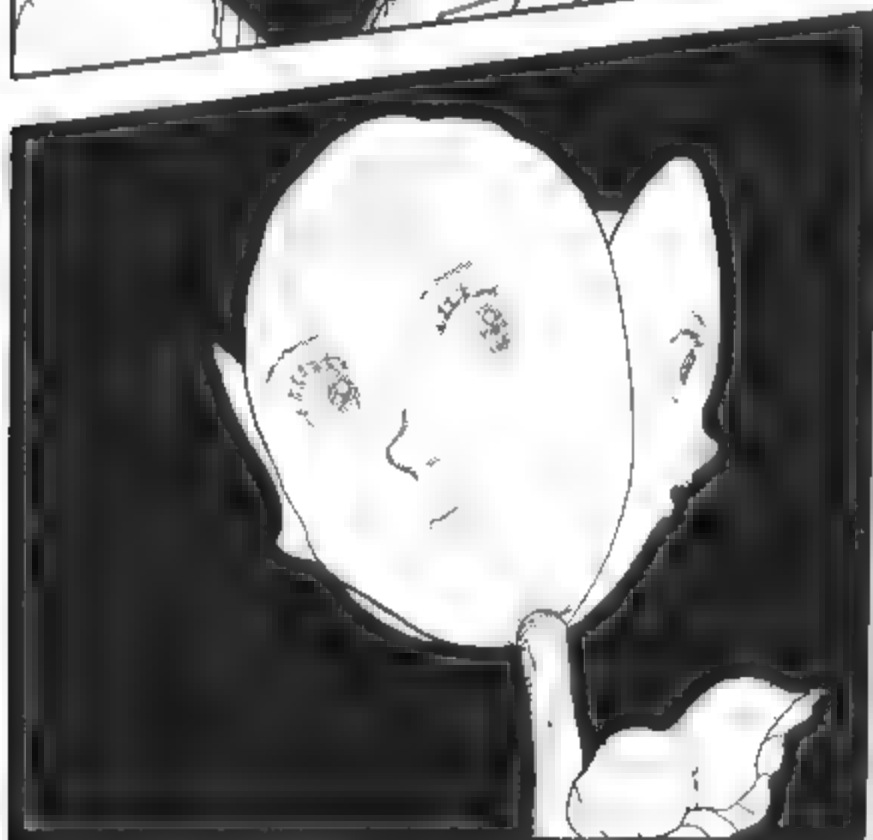








真弓の
皮膚細胞…



指でさわった時は
ヒリヒリしたのは

種が彼女の皮膚細胞を
吸いこんでいたからだよ



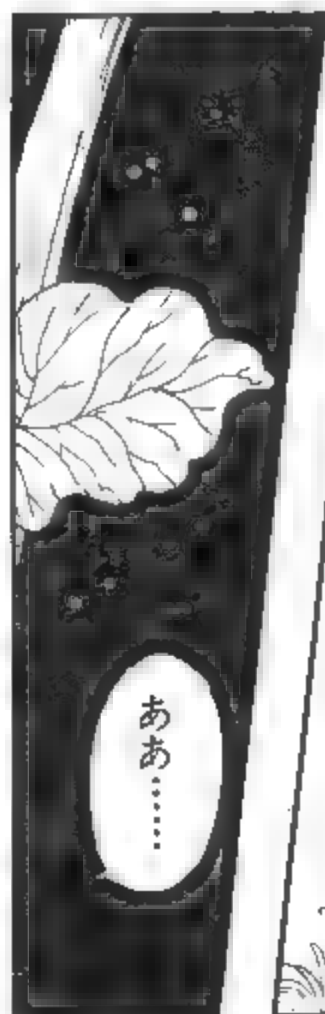
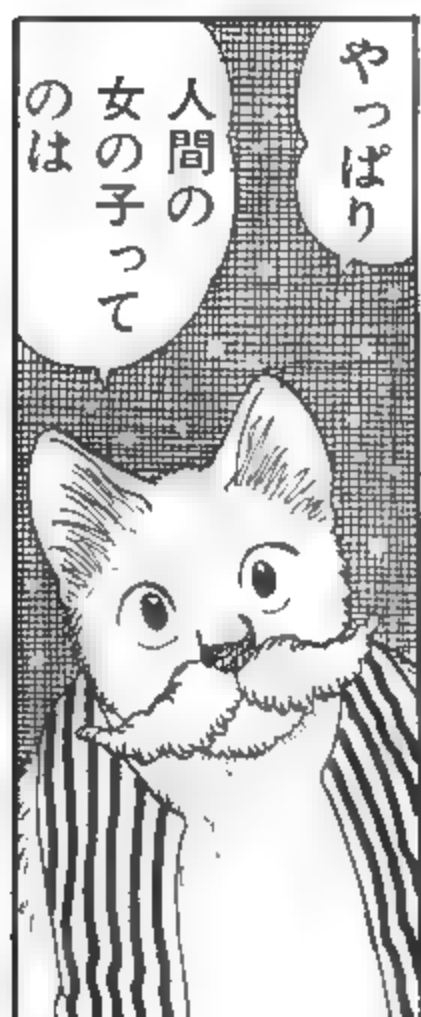
これ……
何日ぐらい
咲いてるん
ですか

たぶん……
一夜かぎりて
しおれてしまうよ



腫も ロビるも
かすかに動いてるわ

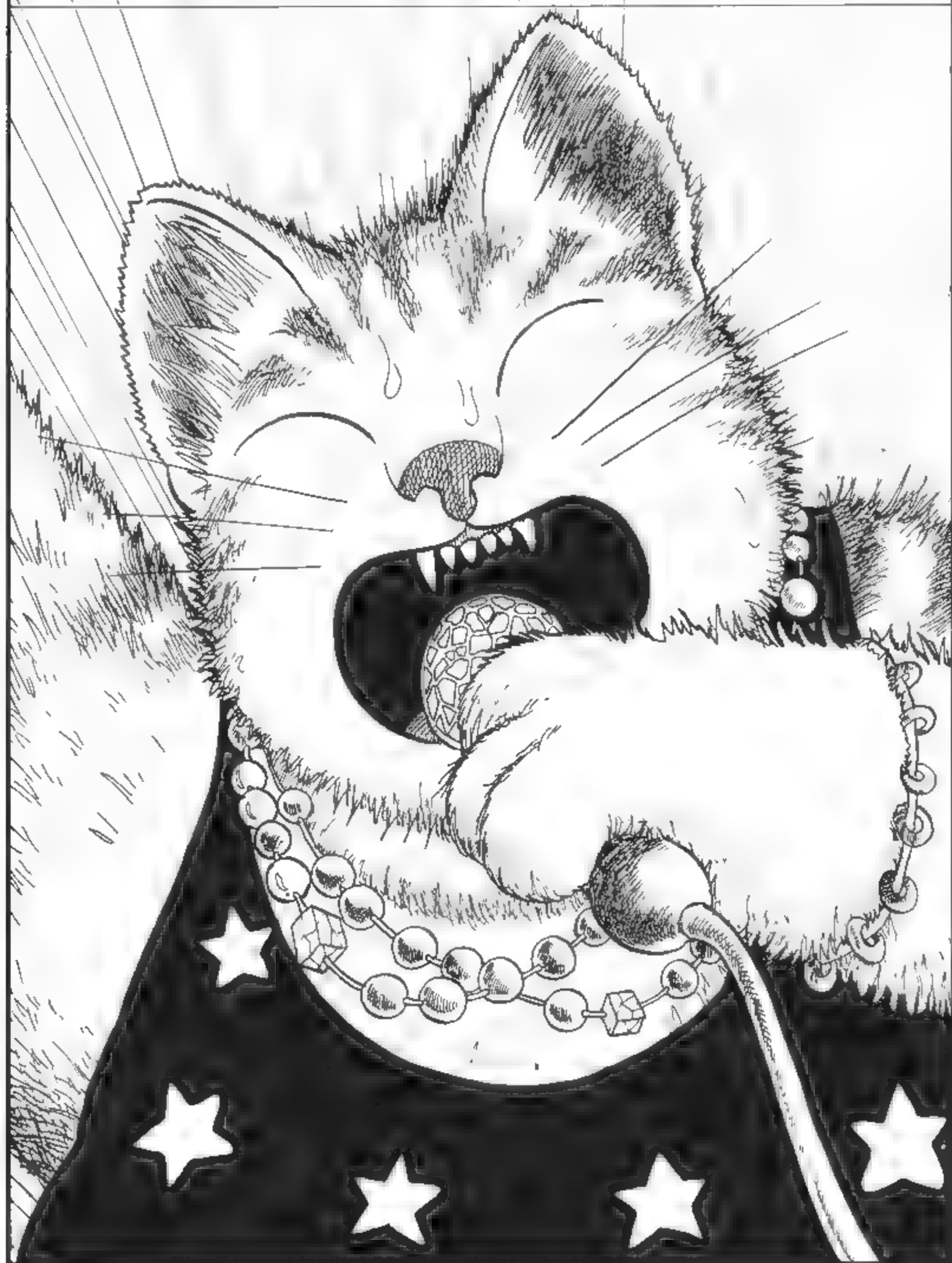
ほんとだ

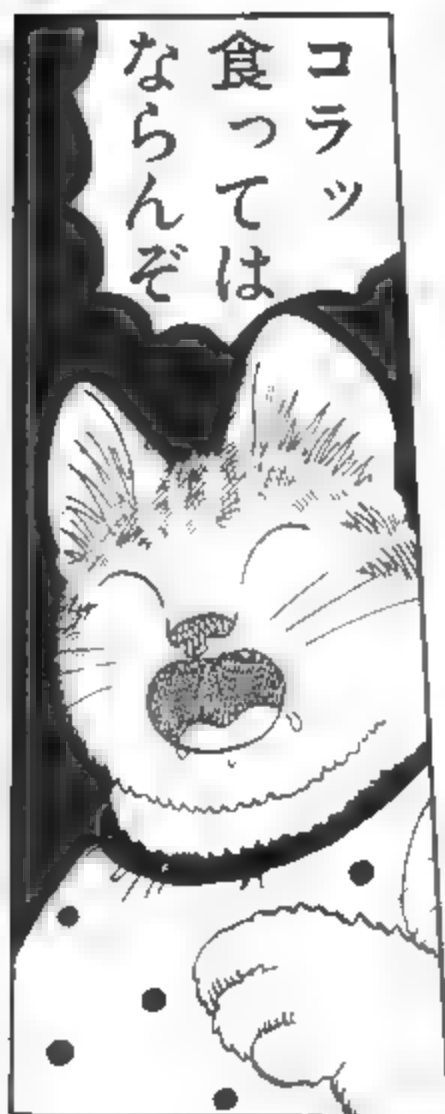


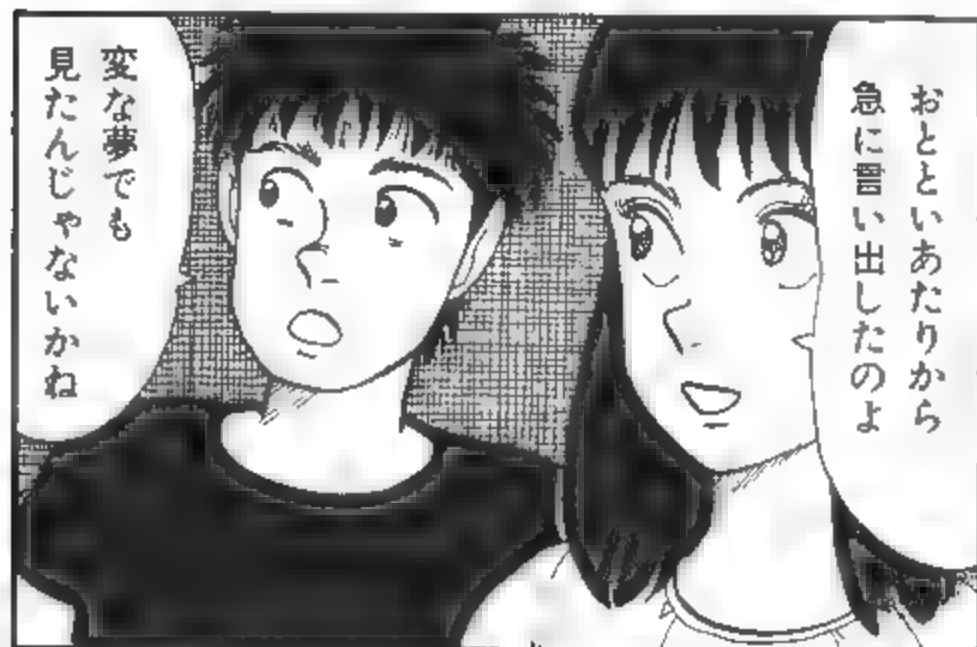
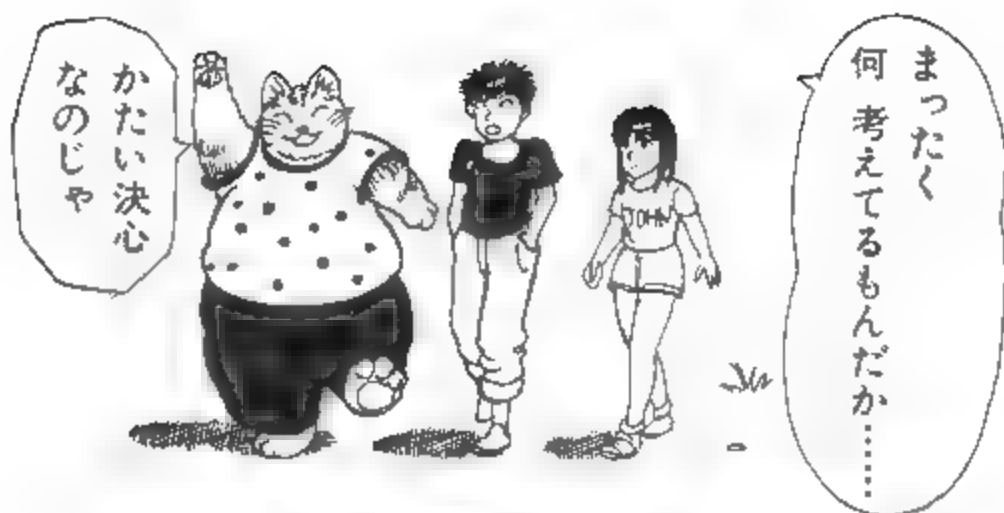


いい香りがするねえ…

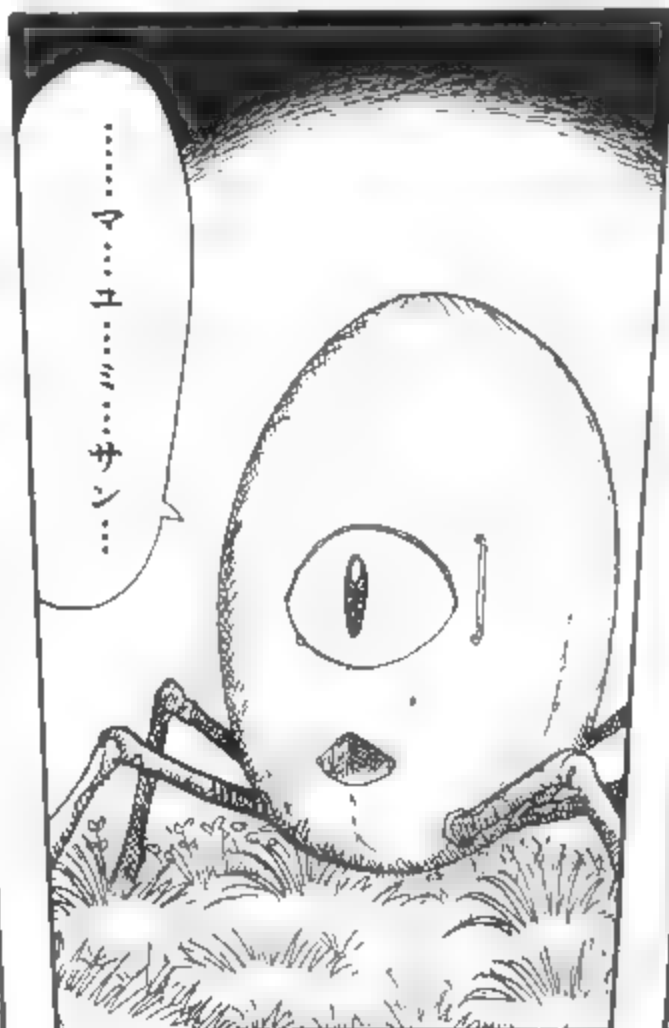
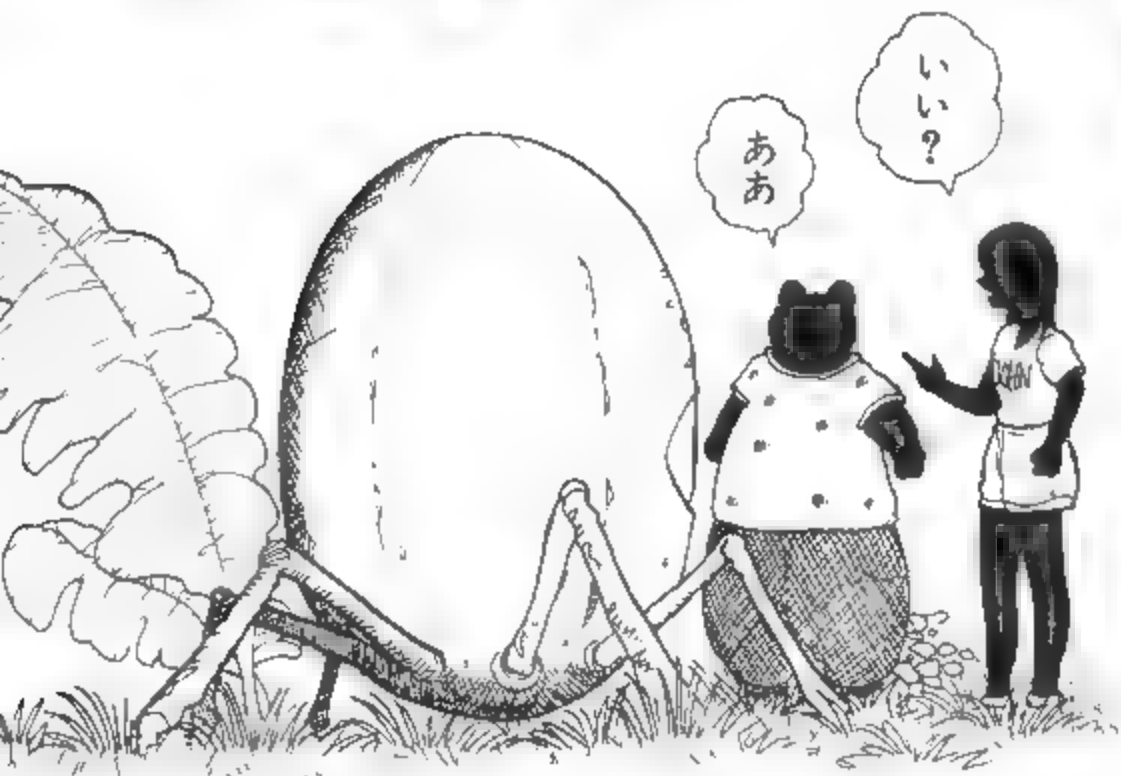
EGG MANの散歩道

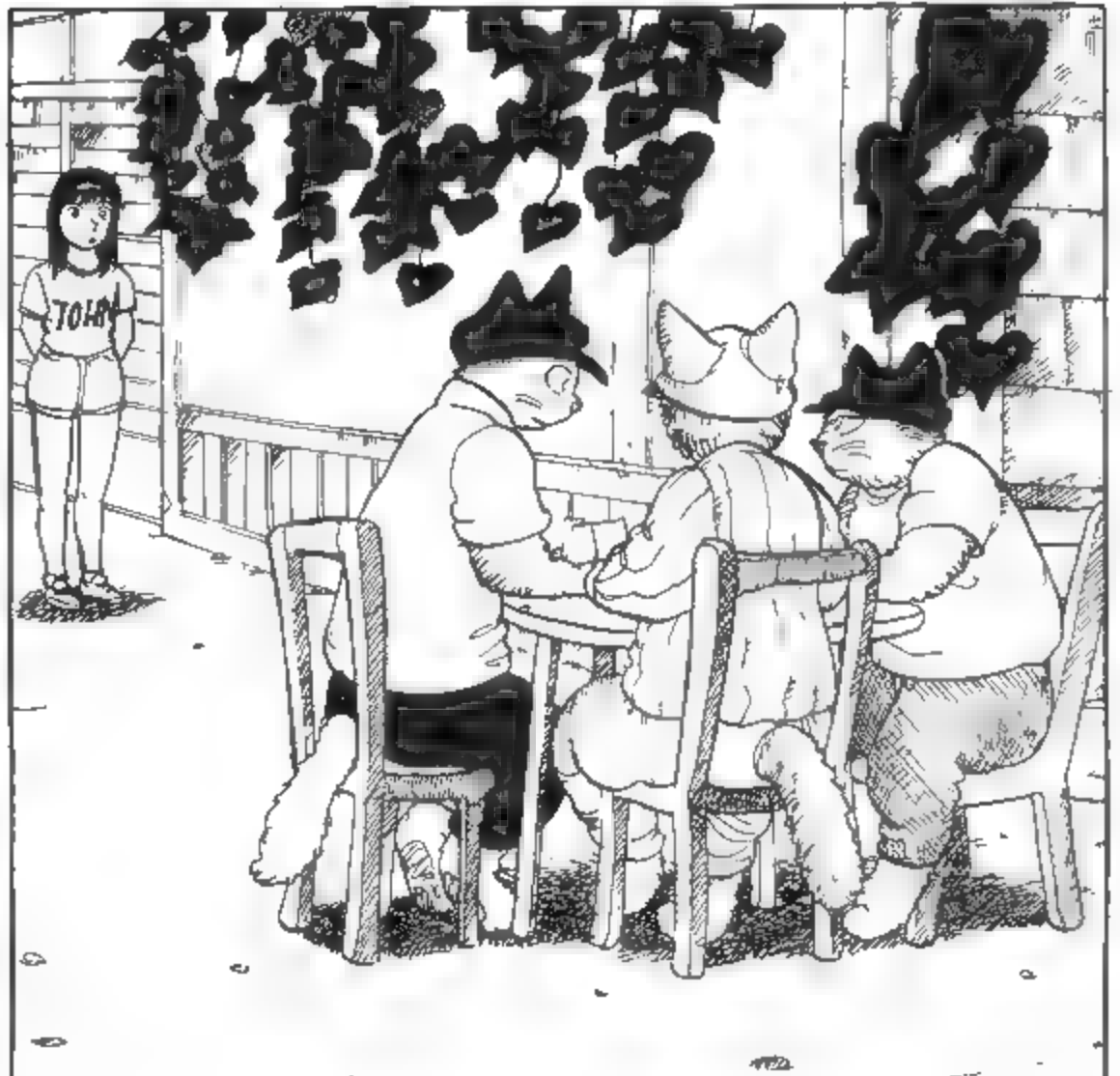
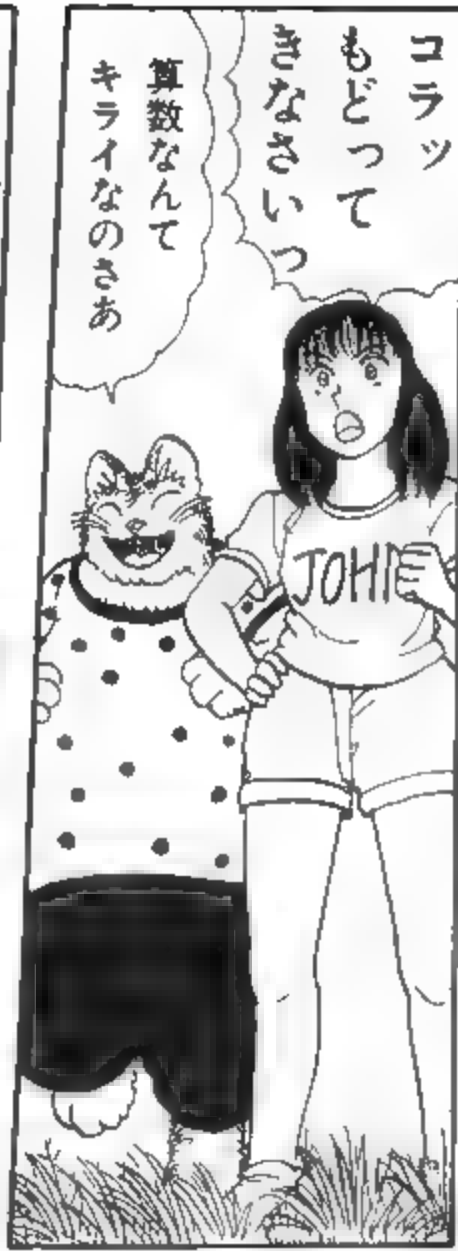




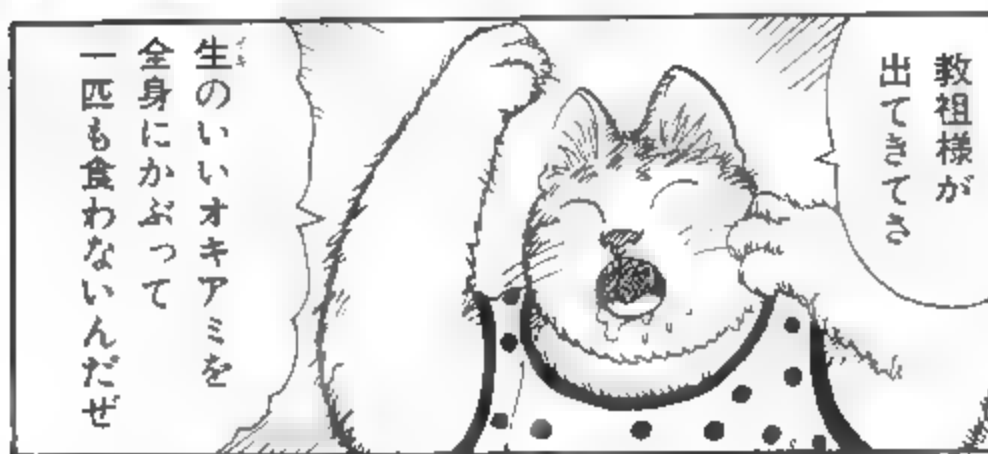


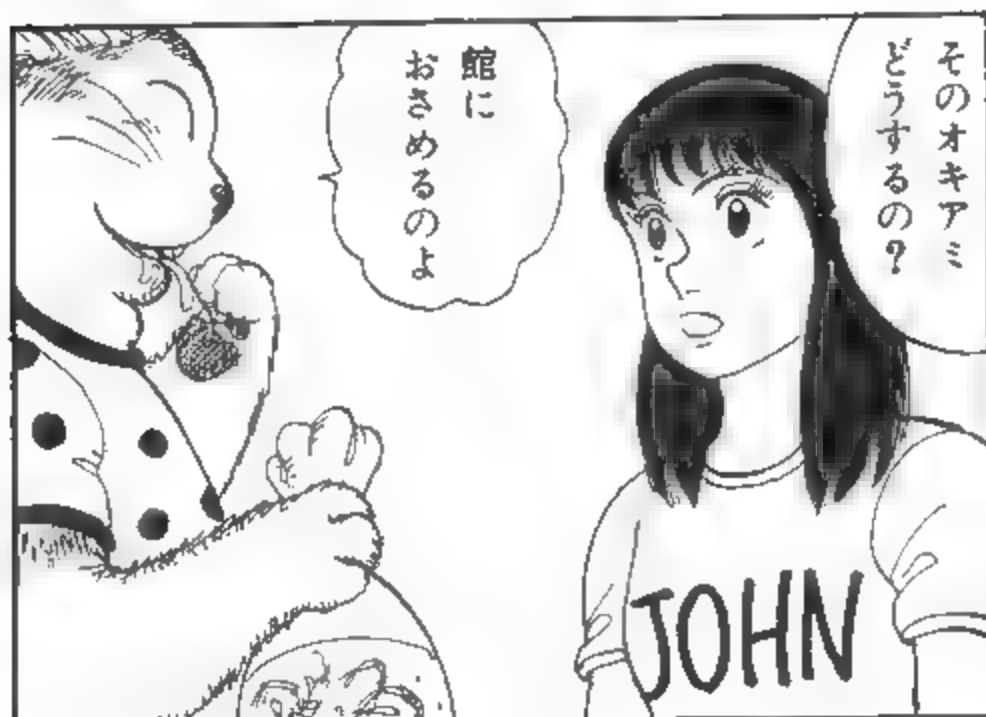


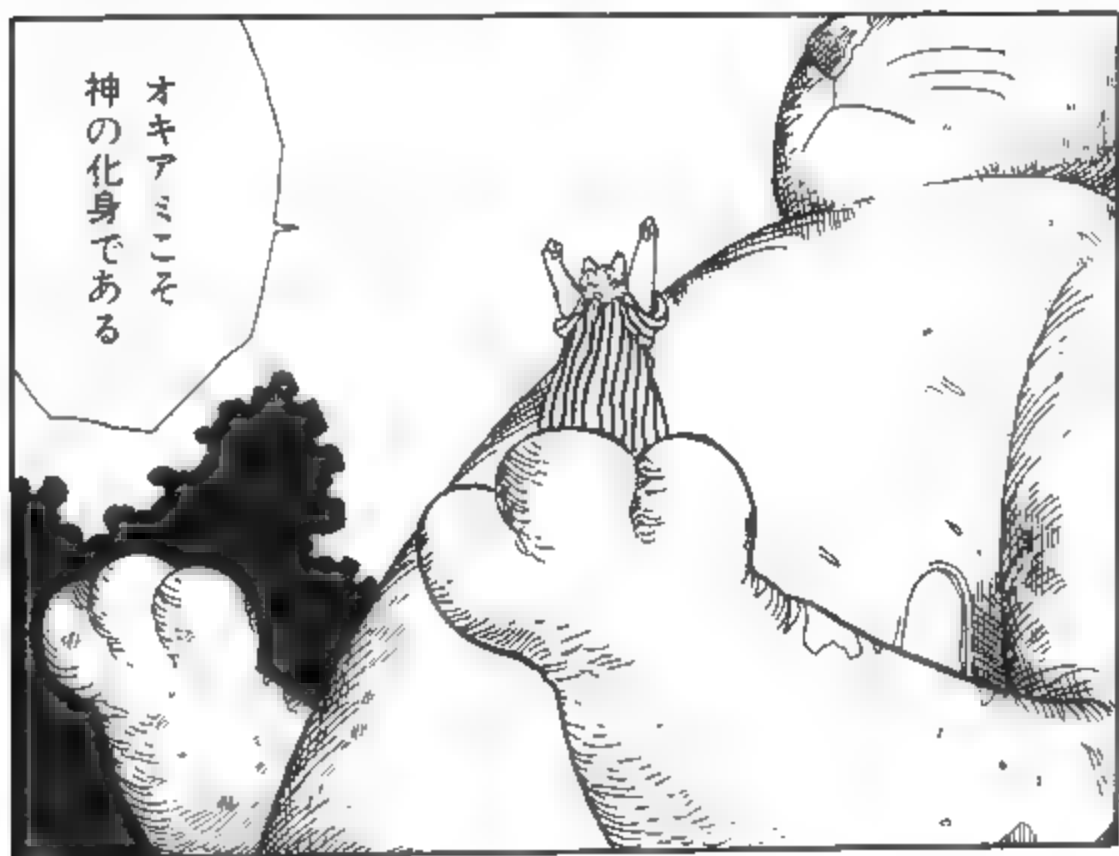
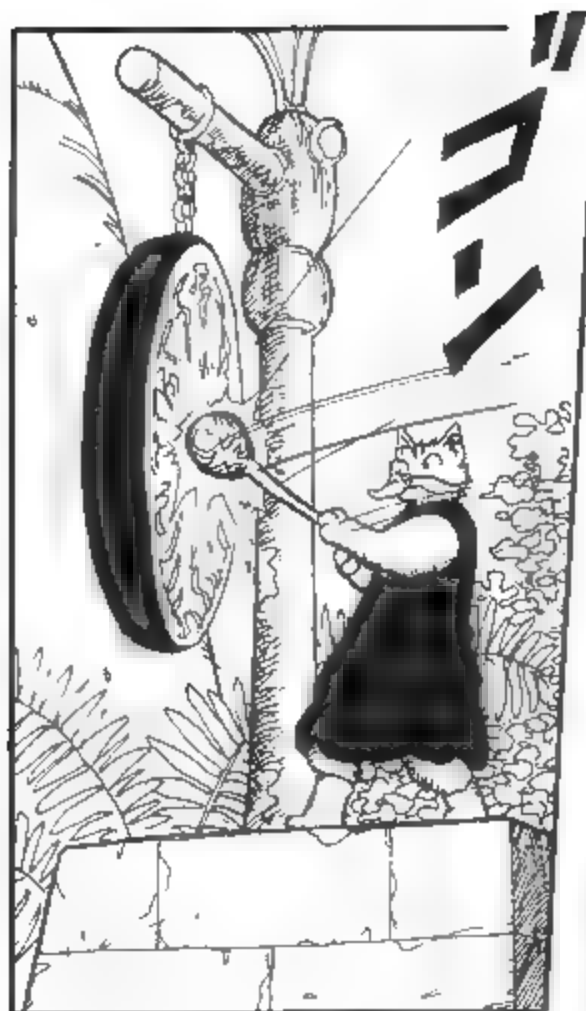


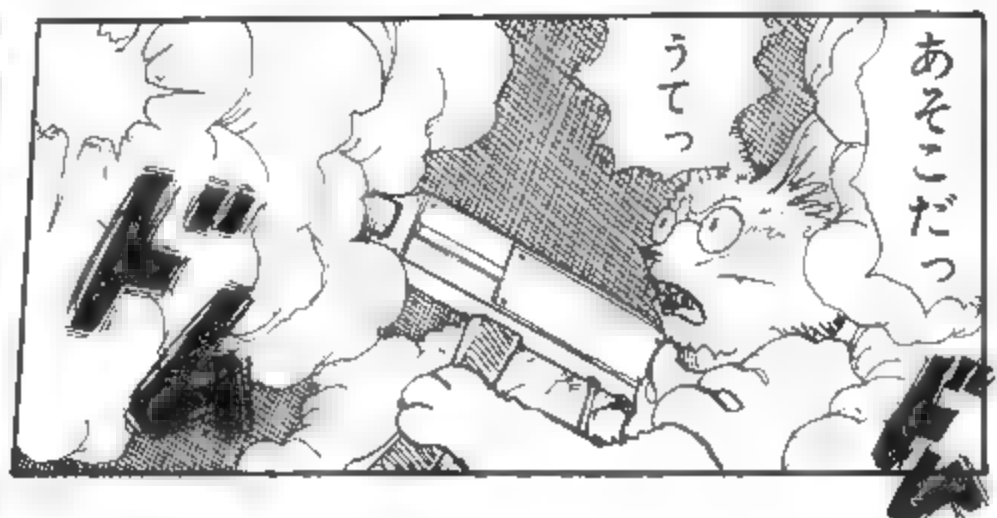


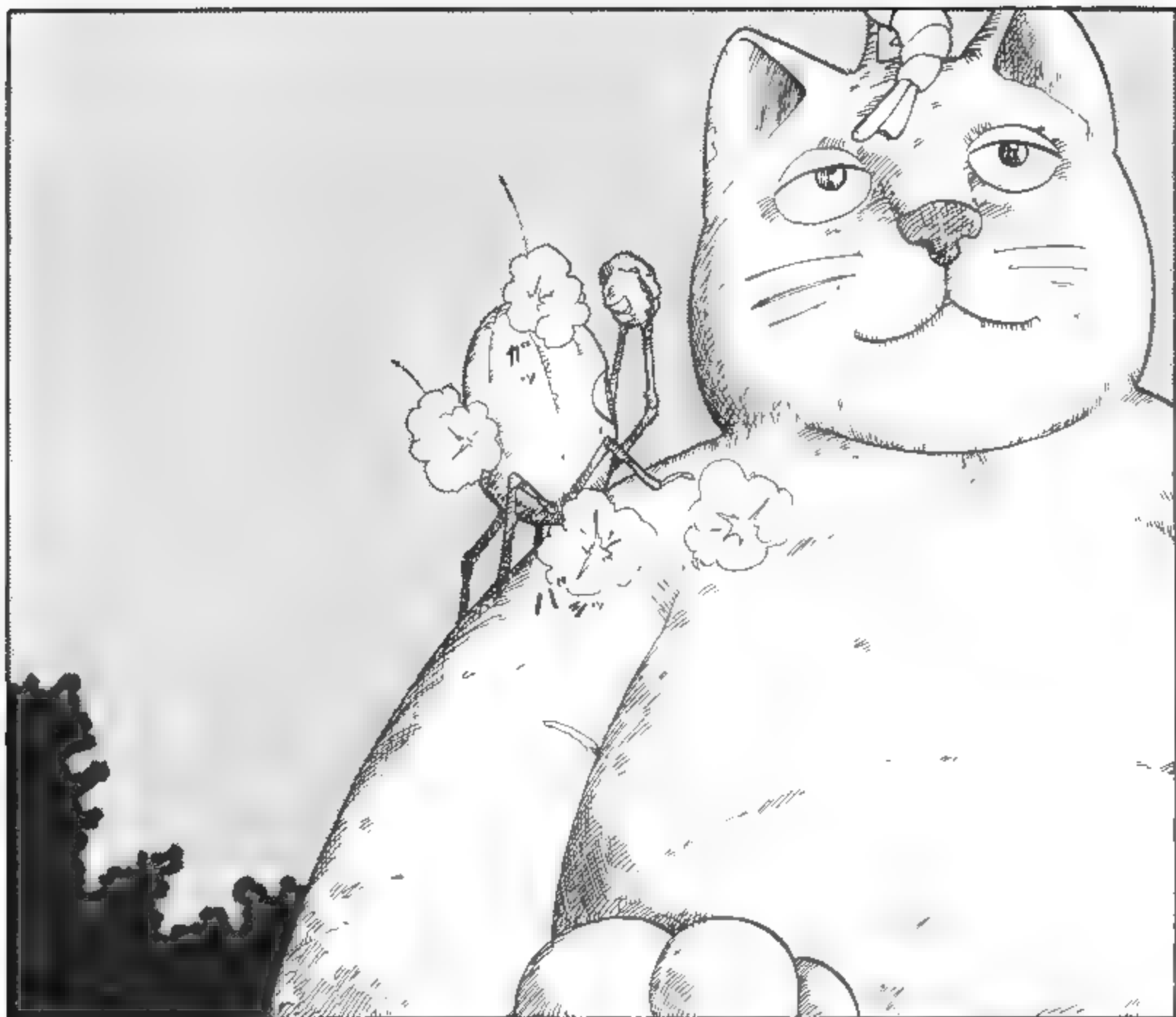












いえ……
ちよつと……



あいつはなっ
毎日のように
やって来て



神の館を
侮辱しているんだぞ

どうして……
エッグ・マンが……



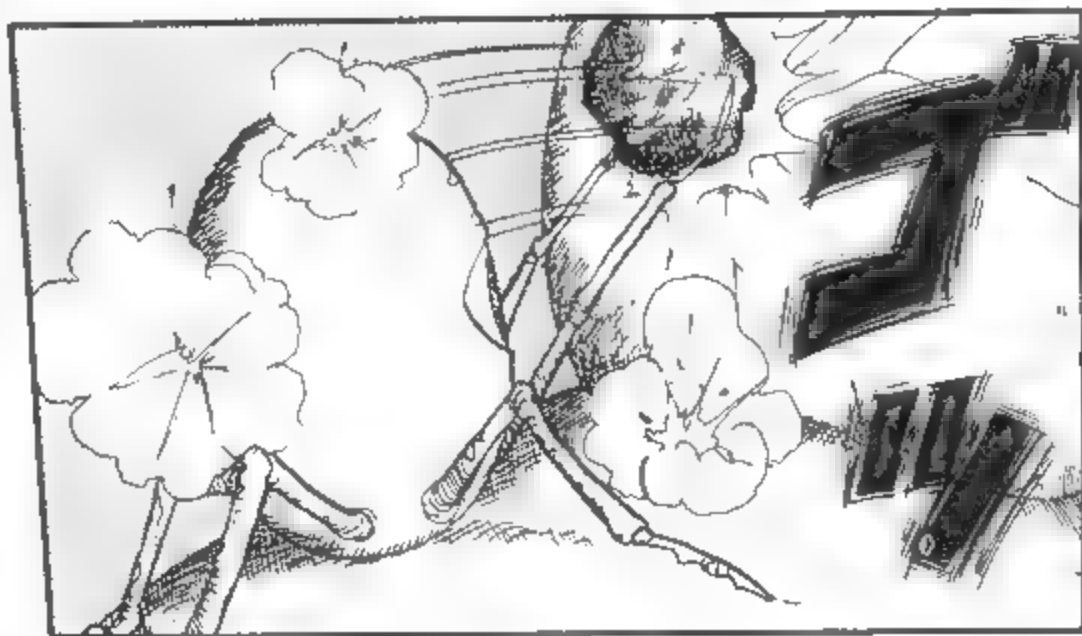
早く
うち落とせっ

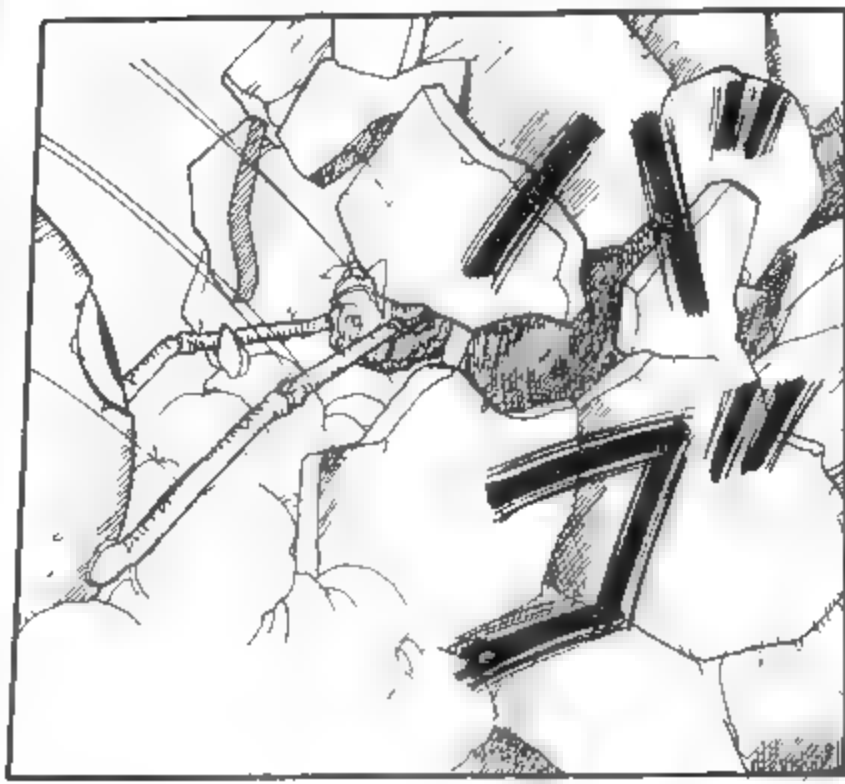
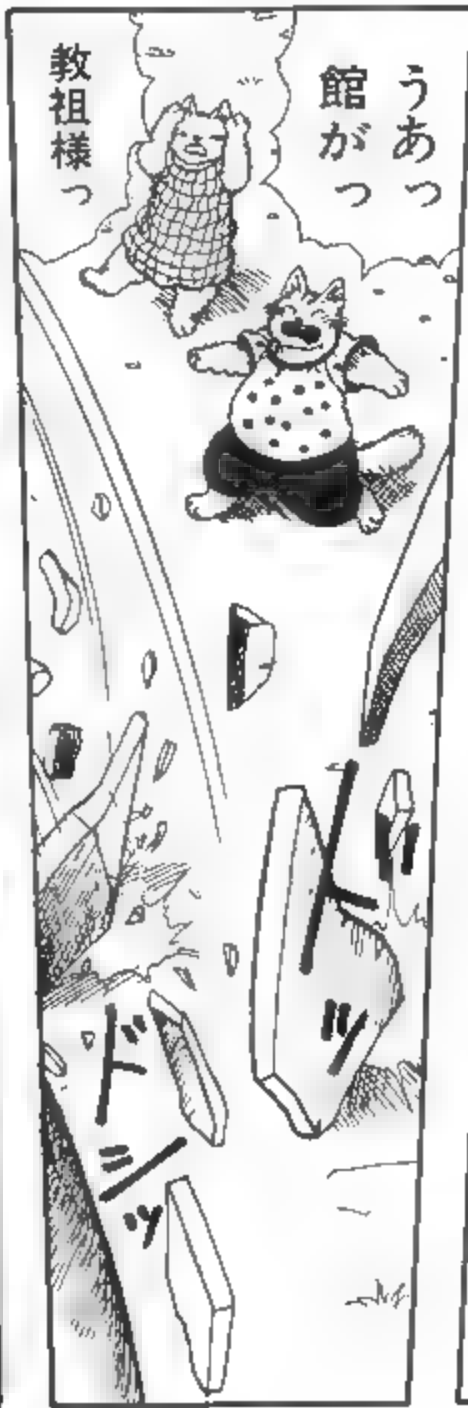


弾丸が
きかないんです

野郎
像をぶっこわす
気だぞっ

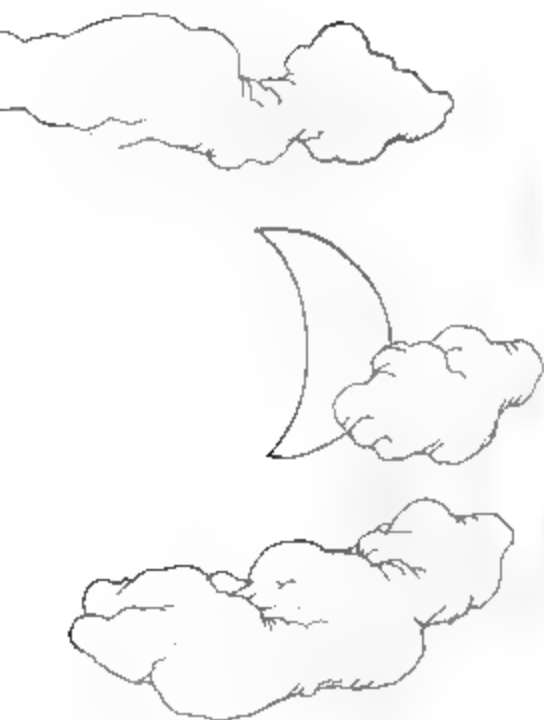
あの中には
教祖様がいるんだ











ねえ……今夜
あとをつけて
みない？



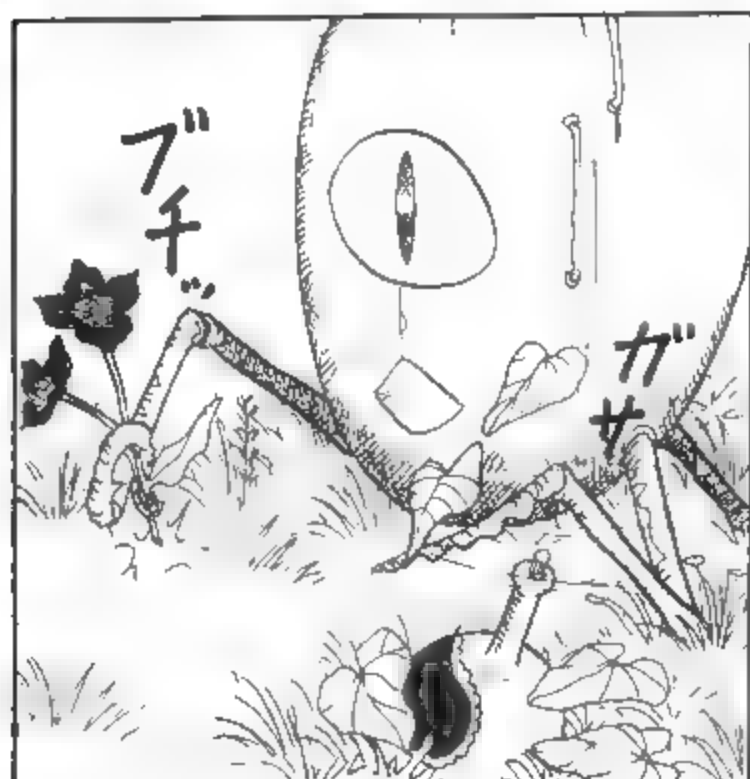
でも どうして
ニセモノだって
わかったのかしら

フーム……



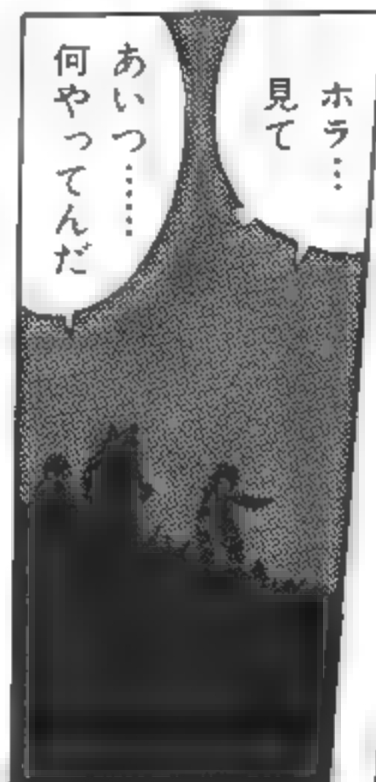
ずいぶん歩くなあ……

文太くん
この先に何か
あるの？



ブチッ

ガサ

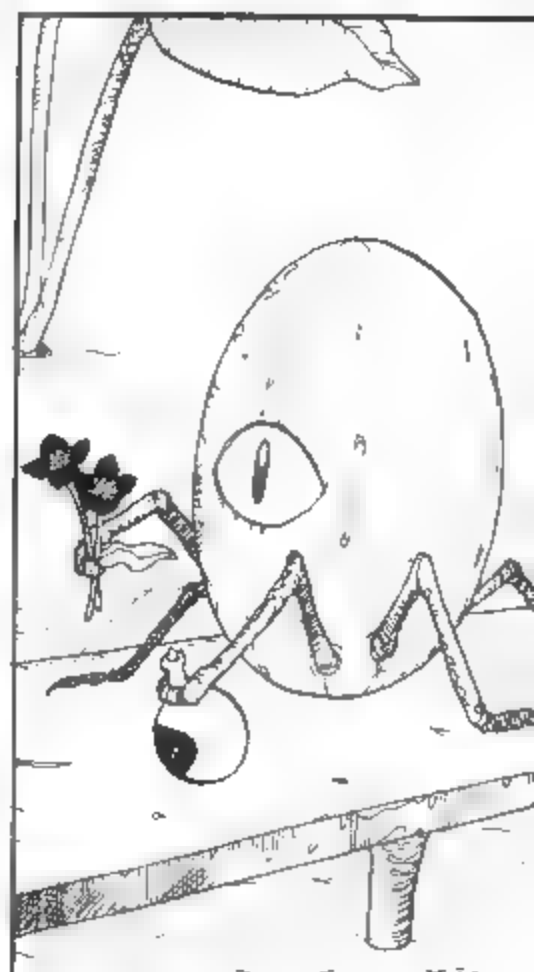
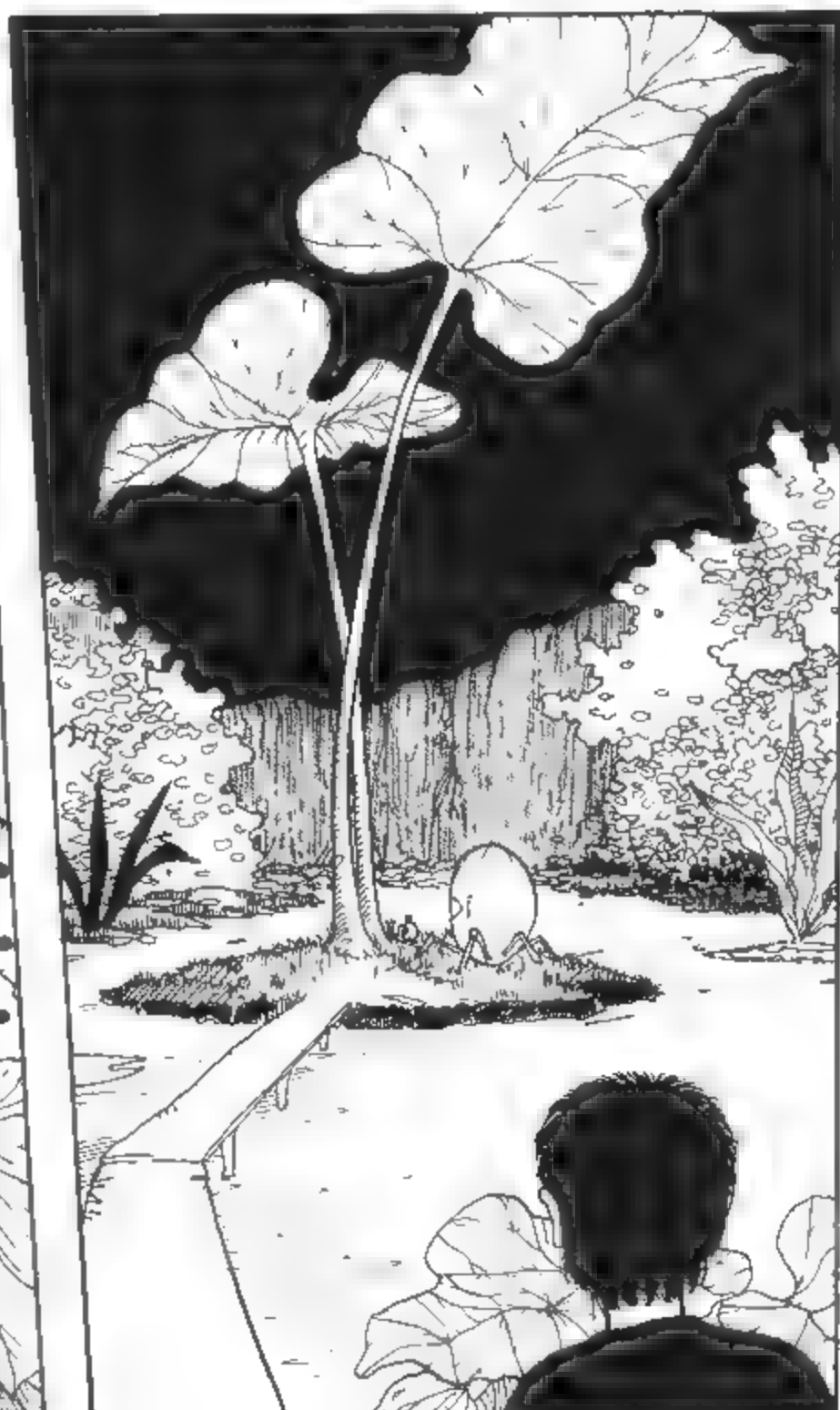
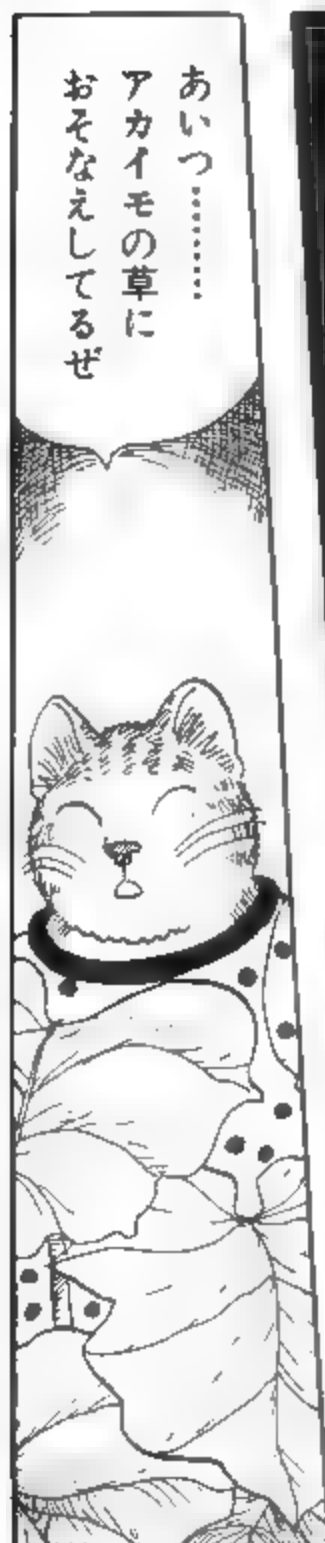


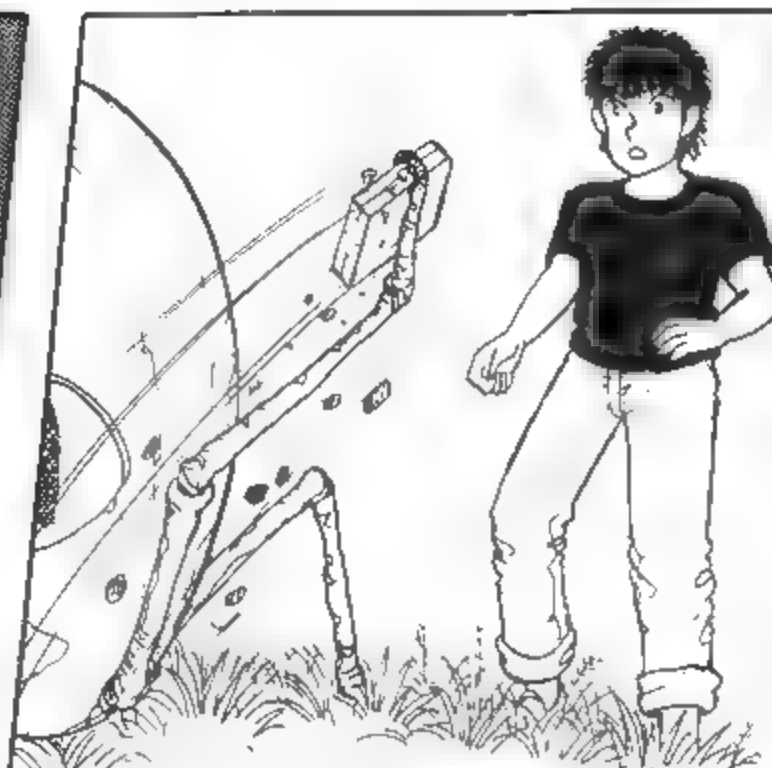
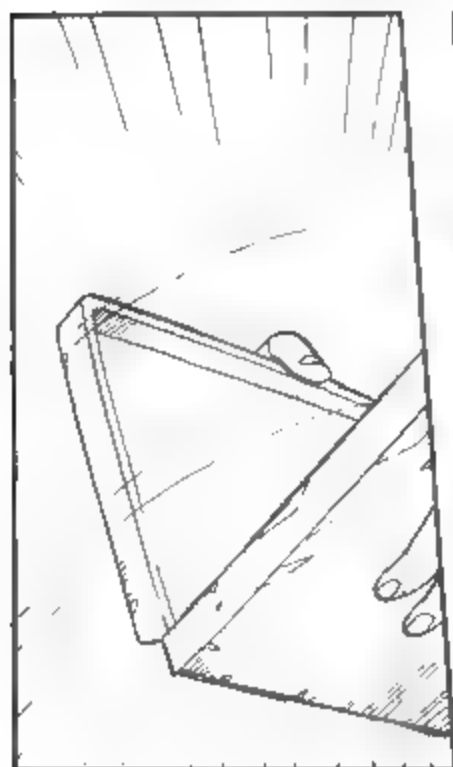
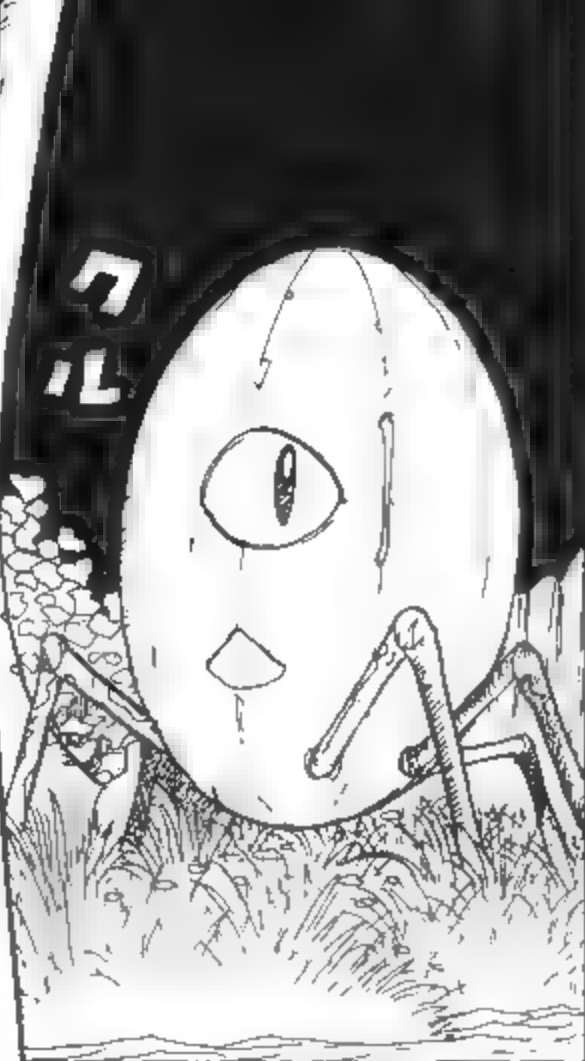
あいつ……
何やってんだ

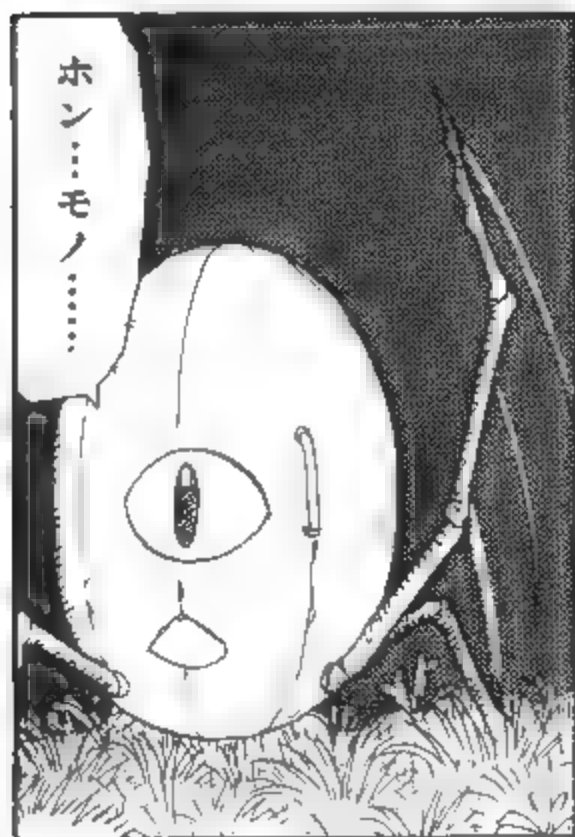
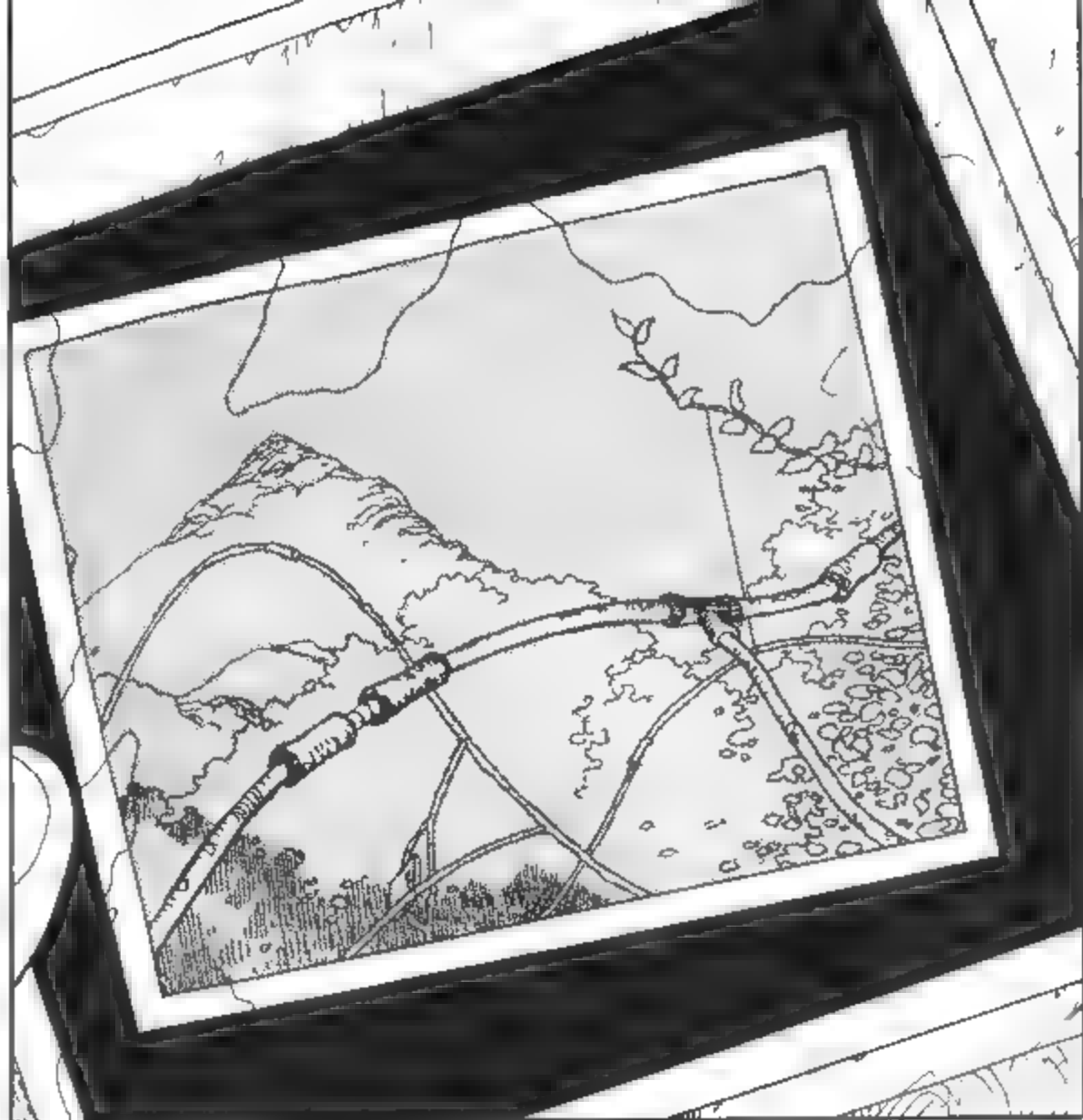
ホラ……
見て



そうだなあ……
古い貯水池があるよ









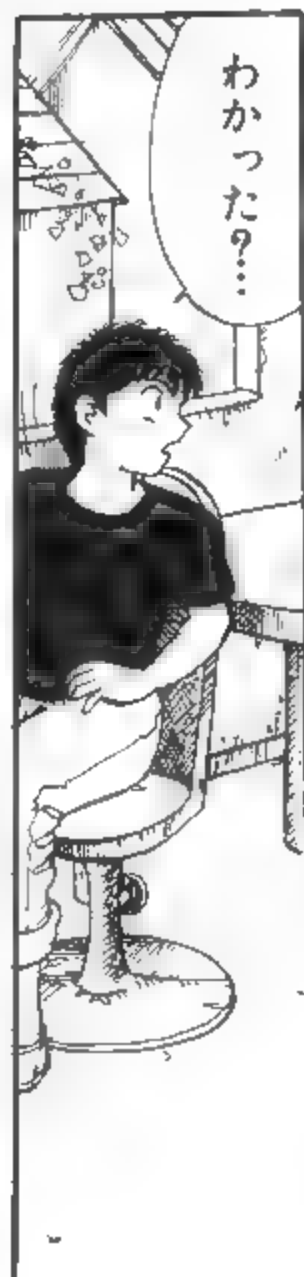
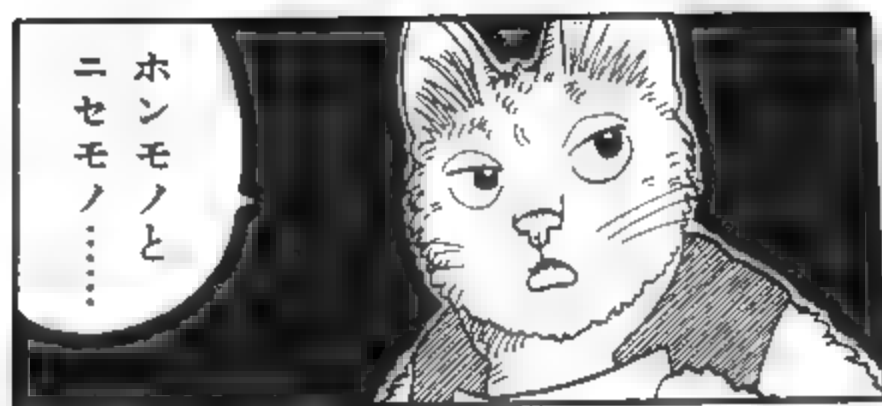


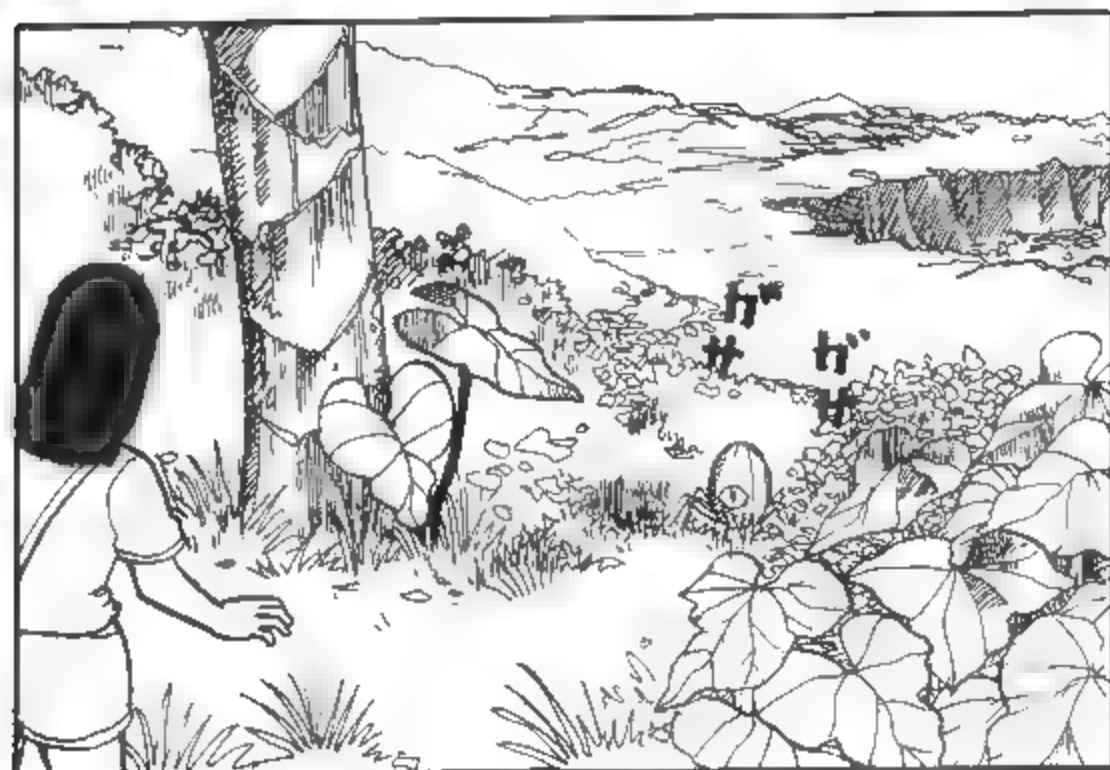
孢子











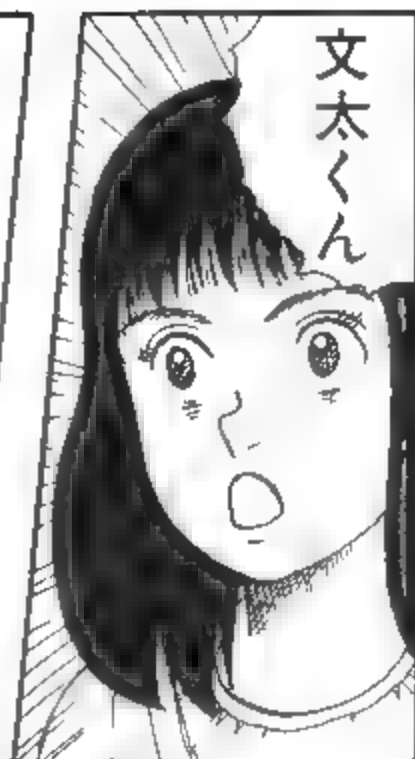












いったい
どうなされた
のですか



將軍がワシの家に
置いていった本を
見て……

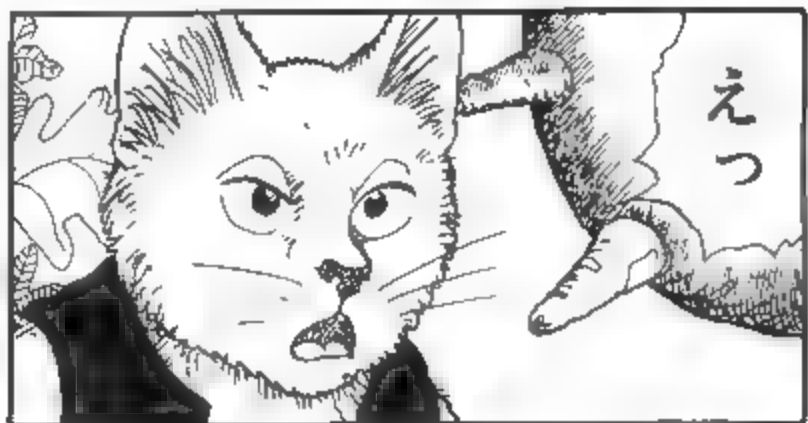
ワシが考えた設計が
ゴッホの絵そっくり
だと知ってな
……それで



10日ほど前に
自殺に来たんじゃ



えっ



いい所?



ありやつ

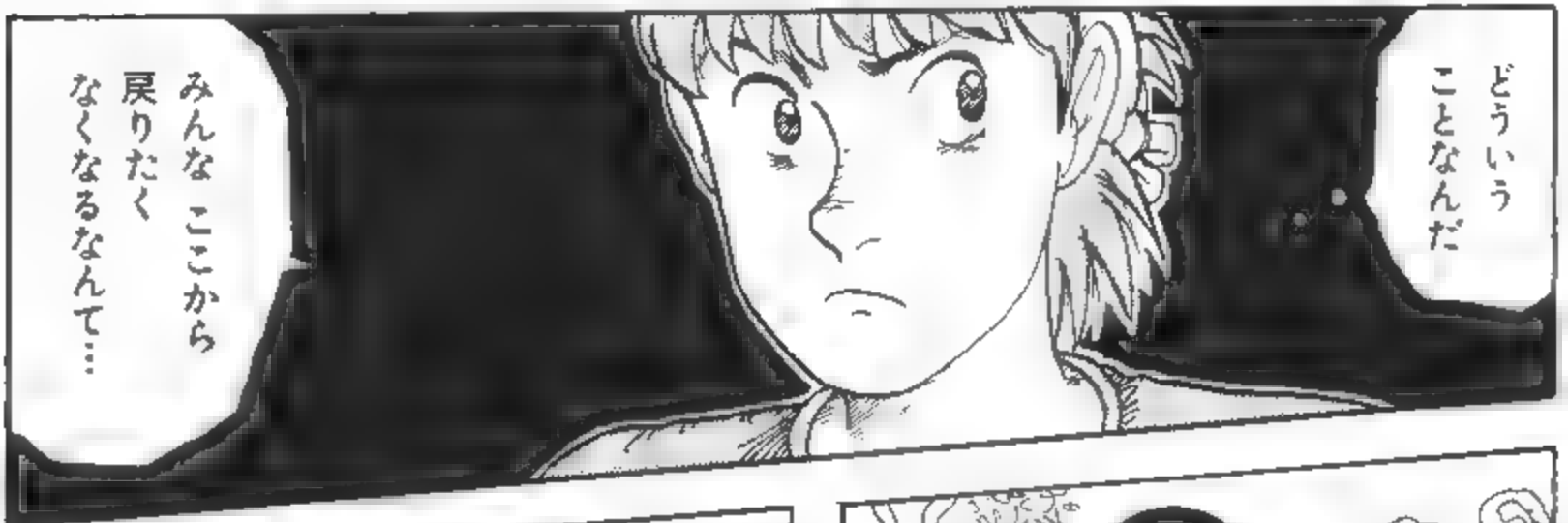


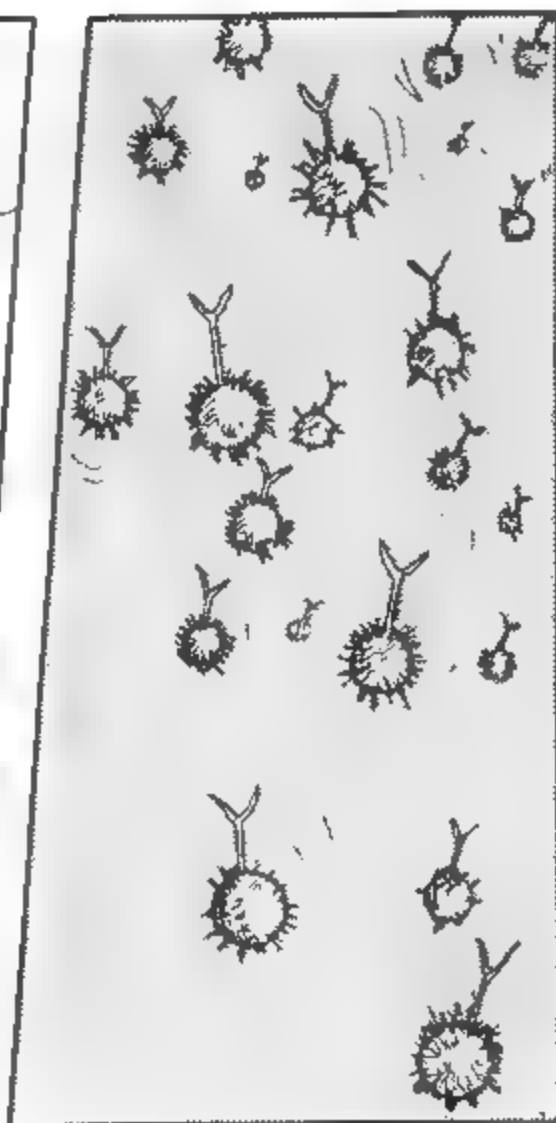
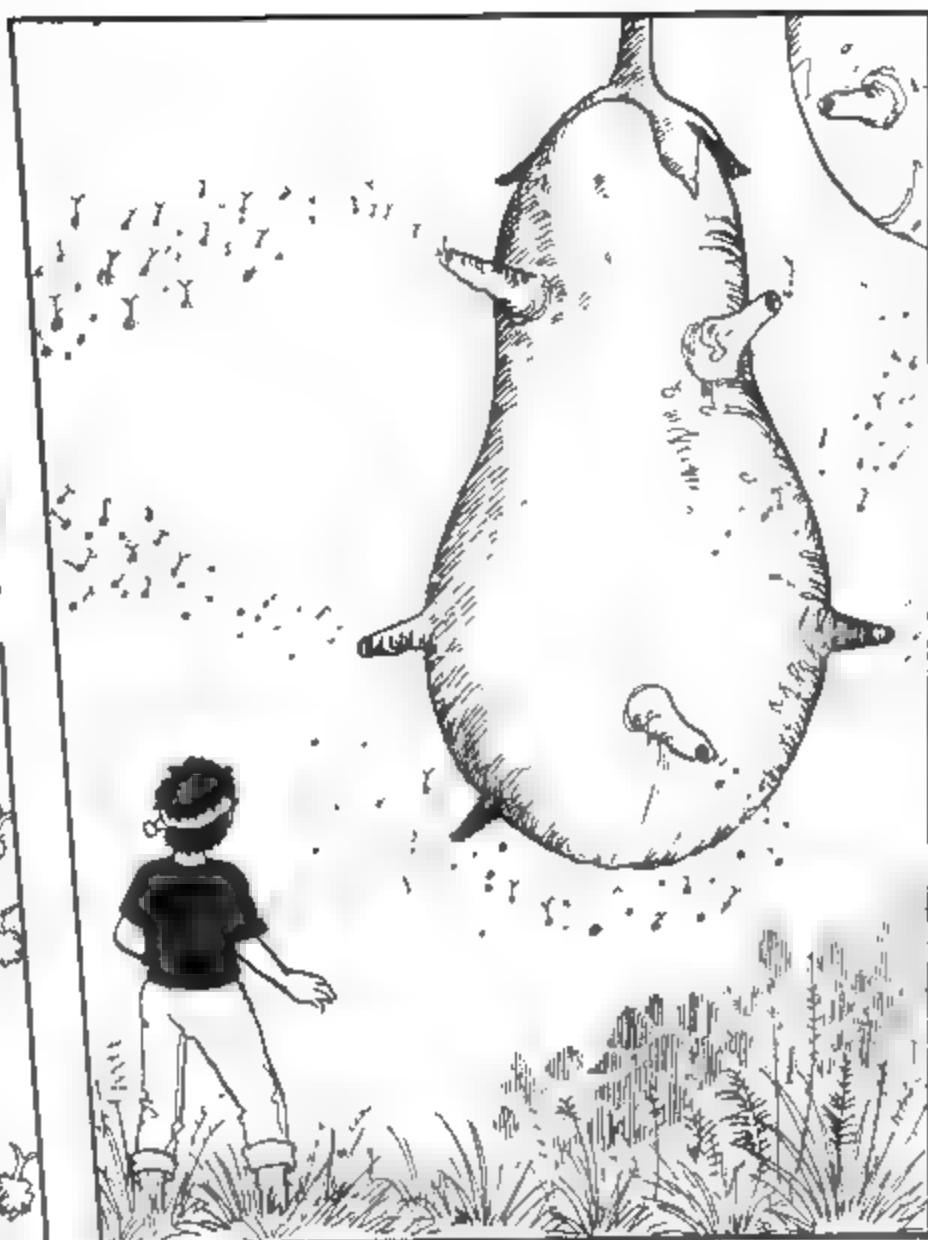
だがもう
死ぬなんてことは……

ここは実に
いい所じゃよ





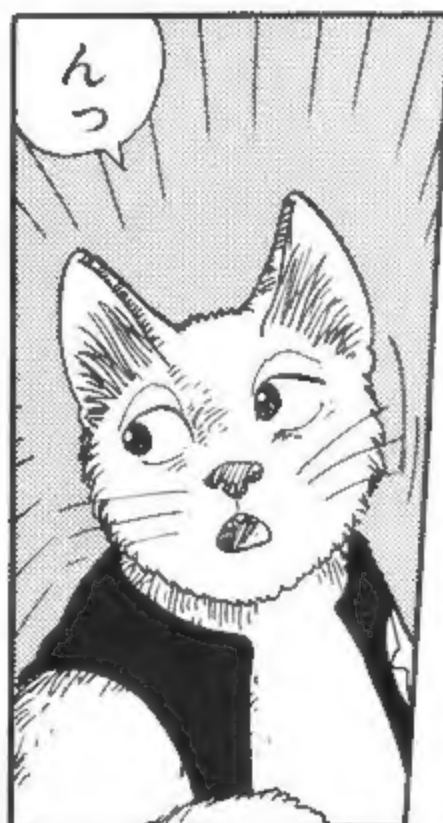












ひとつの山を
形づくっていた



SC DELUXE 21

コスモス楽園記①

昭和63年7月28日第1刷発行

平成元年5月10日第3刷発行

著者

ますむら・ひろし

©HIROSHI MASUMURA

発行者

高橋克章

発行所

株式会社スコラ

〒107 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル115B
TEL 03-478-0711

造本・装幀

羽良多平吉

印刷・製本所

大日本印刷株式会社

カバー写真印字

OGY写植

Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、小社雑誌業務部にお送り下さい。

送料小社負担にてお取り替えいたします。

定価はカバーに表示してあります。

ISBN4-88275-021-X

